



TeamViewer 13 マニュアル

リモートコントロール

Rev 13.1-201803



目次

1	TeamViewerについて	5
1.1	ソフトウェアについて	5
1.2	本書について	5
2	基本	7
2.1	TeamViewerの仕組み	7
2.2	TeamViewerのメインウィンドウ	7
3	TeamViewerの接続の確立	12
4	リモートコントロール接続モード	13
4.1	リモートコントロールウィンドウのオプション	13
4.2	TeamViewerパネルのリモートコンピュータ用オプション	26
5	ファイル転送接続モード	28
5.1	ファイル転送接続モードのオプション	28
5.2	ドラッグ&ドロップによるファイルの転送	31
5.3	Windowsコンテキストメニューによるファイルの転送	31
6	VPN接続モード	33
6.1	TeamViewer VPNの使用例	33
6.2	TeamViewer VPNの使用条件	33
6.3	VPNダイアログボックスのオプション	34



7	その他の接続オプション	35
7.1	IPアドレスを使用したLAN接続の確立	35
7.2	Windowsユーザーアカウントを使用したリモートコンピュータでの認証	36
7.3	Windowsのショートカットによる接続の確立	37
7.4	パスワードなしでコンピュータに接続	38
8	[コンピュータ&パートナー] – パートナーの管理	40
8.1	TeamViewerアカウント	42
8.2	[コンピュータ&パートナー]オプション	46
8.3	サポート案件	63
8.4	組み込みのシステム正常性チェック	66
9	マルチメディア機能	69
9.1	[セッションリスト]内のオプション	69
9.2	パートナーへのWebカメラ動画の送信	69
9.3	VoIPまたは電話会議を使用したパートナーとの会話	70
9.4	TeamViewerセッションでのパートナーとのチャット	72
9.5	TeamViewerセッションでのファイルの共有	72
9.6	TeamViewerセッション中の画面への描画	74
9.7	音声と動画の送信	76
9.8	TeamViewerセッションの記録	76
10	その他の機能	79
10.1	アクセス権限 – TeamViewerセッションでの操作の制限	79
10.2	リモートコンピュータでのTeamViewerの更新	85
10.3	リモートコンピュータに関する情報の表示	85
10.4	現在の接続に関する情報の表示	86
10.5	ライセンスの使用に関する情報	87
10.6	リモートコントロールセッションの引き渡し	88
10.7	リモート印刷	89
10.8	ネットワーク内のパートナーとデバイス	90
10.9	信頼されているデバイス	92



11 TeamViewerモジュール	94
11.1 TeamViewerフルバージョン	94
11.2 TeamViewer QuickSupportモジュール	94
11.3 TeamViewer QuickJoinモジュール	97
11.4 TeamViewer Hostモジュール	97
11.5 TeamViewer Portable	98
11.6 TeamViewer Manager	98
11.7 TeamViewer MSIパッケージ	98
11.8 TeamViewer Management Console	99
11.9 モバイルデバイスでのTeamViewer	100
11.10 カスタマイズ可能なモジュール	100
12 インストールと設定	101
12.1 TeamViewerフルバージョンのインストール	101
12.2 WindowsシステムサービスとしてのTeamViewer	102
12.3 ターミナルサーバーでのTeamViewerの使用	104
12.4 TeamViewerライセンスの有効化	105
13 オプション	107
13.1 [全般]カテゴリ	107
13.2 [セキュリティ]カテゴリ	110
13.3 [リモートコントロール]カテゴリ	113
13.4 [会議]カテゴリ	116
13.5 [コンピュータ&パートナー]カテゴリ	116
13.6 [音声会議]カテゴリ	118
13.7 [動画]カテゴリ	119
13.8 [カスタム招待]カテゴリ	120
13.9 [詳細]カテゴリ	122
13.10 TeamViewerの設定のポリシー	128



1 TeamViewerについて

1.1 ソフトウェアについて

TeamViewerは、直感的な操作で高速かつセキュアにリモートコントロールや会議を実施できるアプリケーションです。TeamViewerは、All-In-Oneソリューションとして以下を実行できます。

- 同僚、友人、顧客に簡単にリモートサポートを提供する。
- オペレーティングシステムが異なるコンピュータ間で接続を確立する。TeamViewerはWindows、macOS、Linux、Google Chrome OSで動作します。
- Windowsサーバーおよびワークステーションを管理する。TeamViewerをWindowsシステムサービスとして実行できます。これにより、Windowsにログインする前にコンピュータにアクセスできるようになります。
- Android、iOS、Windows Phone 10 Mobile、またはBlackBerryを実行するモバイルデバイスからWindows、Mac、またはLinuxデバイスに接続します。
- 会議、プレゼンテーション、またはチーム作業のためにデスクトップを共有する。
- 外出時に自宅のコンピュータに接続してドキュメントの操作、電子メールのチェック、画像のダウンロードや編集を行う。
- 外出時に職場のコンピュータに接続する(出張での移動時などに重要な情報が必要な場合など)。
- AndroidやiOSデバイスに接続してそれらのサポートを提供する。
- 組み込み型システム正常性チェックと、リモートモニタリングおよび資産管理用ソフトのITbrain™により、システムをモニタリングする。

TeamViewerは、特別な設定なしにファイアウォールやプロキシを越えて通信できます。

1.2 本書について

本書では、TeamViewerを使用してコンピュータをリモート操作する方法を説明します。



別途指定がないかぎり、ここに記載される機能は、常にMicrosoft Windows向けのTeamViewerのフルバージョンについての説明です。

本書の説明は、TeamViewerのフルバージョンがコンピュータにインストール済みであることを前提としています。TeamViewerのインストールに関するサポートが必要な場合は、[セクション「12 "インストールと設定"」の101ページ](#)にお読みください。

TeamViewerの会議機能については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を弊社のWebサイトからダウンロードして参照してください。

macOSおよびLinux対応のTeamViewerの機能はWindows対応バージョンとほとんど同じですが、まだmacOSとLinuxには使用できない機能もあります。試用版を活用していただき、各種機能をご確認ください。何かご質問などがございましたら弊社サポートチームにお問い合わせください。

macOS、iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。Linux®は、米国およびその他の国々で登録されたLinus Torvaldsの登録商標です。Androidは、Google Inc.の商標です。Windows、Microsoft、Outlookは、米国およびその他の国々で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。簡略にするために、本書ではオペレーティングシステムMicrosoft® Windows® XP、Microsoft® Windows® Vista、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows® 8、およびMicrosoft® Windows® 10を単に「Windows」と呼んでいます。

対応しているすべてのオペレーティングシステムは、弊社のコミュニティ

<https://community.teamviewer.com/t5/Knowledge-Base/Which-operating-systems-are-supported/tap/24141>を参照して下さい。



2 基本

2.1 TeamViewerの仕組み

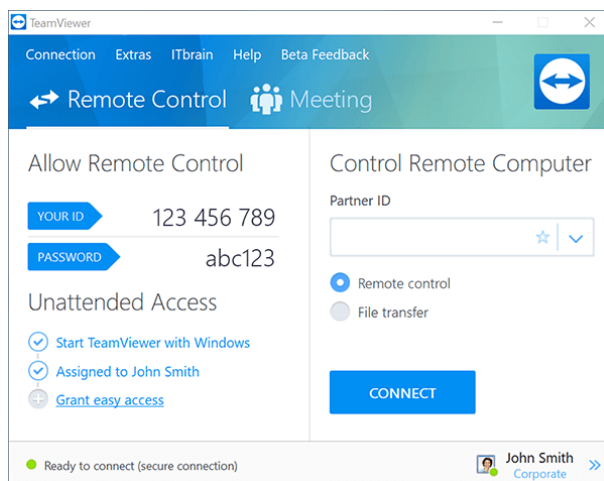
TeamViewerの接続を携帯電話に置き換えて考えると、TeamViewer IDはすべてのTeamViewerクライアントが個別にアクセスできる電話番号になります。

TeamViewerを実行するTeamViewerコンピュータおよびモバイルデバイスは、一意のIDによって識別されます。このIDはTeamViewerの初回起動時にハードウェア特性に基づいて自動的に生成され、それ以降は変更されません。

TeamViewer接続はすべて暗号化されるため、第三者によるアクセスから保護されます。TeamViewerでの接続、セキュリティ、データ保護の技術的な詳細については、弊社Webサイトの「セキュリティ保護方針」(<https://www.teamviewer.com/security/>)を参照してください。

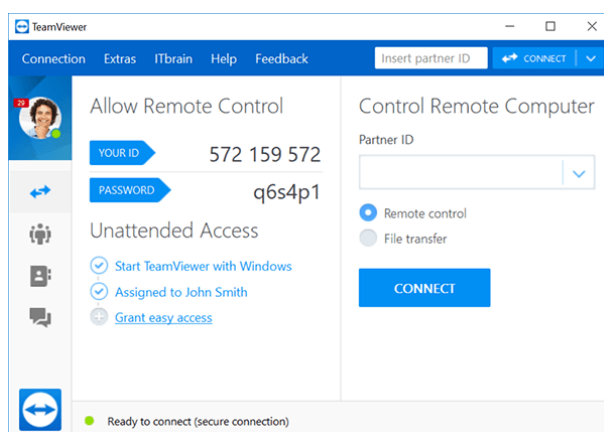
2.2 TeamViewerのメインウィンドウ

TeamViewerのメインウィンドウは、[リモートコントロール]タブと[会議]タブで構成されます。



TeamViewerのメインウィンドウ

ヒント: [その他 | オプション] で [新しいユーザーインターフェースの使用 (プレビュー)] を有効にして、新しいシングルウィンドウのユーザーインターフェースを試してください。



TeamViewerの単一ウィンドウインターフェース。

2.2.1 [リモートコントロール]タブ

[リモートコントロール]タブは、以下の2つのエリアで構成されます。

遠隔操作を受ける許可

このエリアには、TeamViewer IDと仮のパスワードが表示されます。この情報をパートナーと共有すると、そのパートナーはこちら側のコンピュータに接続できます。

[パスワード]フィールド内の🔄アイコンをクリックすると、コンテキストメニューが表示され、そこからランダムパスワードの変更やクリップボードへのコピー (Windowsのコピー&ペースト機能) を行うことができます。また、ここで個人的なパスワードを定義することもできます。



注: **[無人アクセス]**ダイアログウィンドウ内で、TeamViewerが自動的にWindows(システムサービス)とともに起動するように設定し、アカウントにデバイスを割り当てて個人用のパスワードを選択することができます。この設定を行うと、いつでもTeamViewerを介してコンピュータにアクセスできるようになります。

リモートコンピュータの操作

コンピュータを遠隔操作するには、**[パートナーID]**コンボボックスにパートナーのIDを入力します。また、以下の接続モードを使用できます。

- **[リモートコントロール]**: パートナーのコンピュータを操作したり、一緒に1台のコンピュータで作業したりできます。
- **[ファイル転送]**: パートナーのコンピュータと相互にファイルを転送できます。
- **[VPN]**: パートナーとの仮想プライベートネットワークを構築できます。

2.2.2 [会議]タブ

TeamViewerを会議やプレゼンテーションに使用する方法については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を参照してください。

2.2.3 TeamViewerのメインウィンドウのメニューバー

メニューバーはTeamViewerのメインウィンドウの上端に表示され、**[接続]**、**[その他]**、**[ヘルプ]**の各メニュー項目で構成されます。

接続

[接続]メニューでは、以下のオプションを使用できます。

- パートナーをTeamViewerセッションに招待する場合は、**[パートナーを招待]**をクリックします。
- TeamViewerをWindowsと一緒に(システムサービスとして)自動的に起動するように設定する場合は、**[無人アクセスのセットアップ]**をクリックします。
- TeamViewer Management Consoleを開くには、**[Management Consoleを開く...]**をクリックします。
- TeamViewerを終了する場合は、**[TeamViewerの終了]**をクリックします。

ツール

[その他]メニューでは、以下のオプションを使用できます。



- 各種設定 (セクション「13」の107ページ)にアクセスする場合は、**[オプション]**をクリックします。
- 記録したTeamViewerセッション(セクション「9.8」の76ページ)を再生またはビデオに変換するには、**[記録セッションの再生または変換...]**をクリックします。
- TeamViewerを他のユーザーに推奨する場合は、**[パートナーに紹介]**をクリックします。
- TeamViewerで作成されたログファイルにアクセスする場合 (特に、TeamViewerのサポートチームから分析用に提出を求められた場合)は、**[ログファイルを開く...]**をクリックします。
- このコンピュータでライセンスキーを有効にする場合は、**[ライセンスを有効にする]**(セクション「12.4」の105ページ)をクリックします。
- ライセンスの更新オプションを表示するには、**[ライセンス更新のチェック]**をクリックします。

ヘルプ

[ヘルプ]メニューでは、以下のオプションを使用できます。

- TeamViewerに関するサポートが必要な場合、**[TeamViewerのWebヘルプ]**をクリックしてサポートWebサイトにアクセスできます。
- Teamviewer Community Webサイトを開くには、**[TeamViewer Community]**をクリックします。
- TeamViewerのWebサイトを表示する場合は、**[TeamViewerのWebサイト]**をクリックします。
- TeamViewerの概要を表示するには、**[機能...]**をクリックします。
- TeamViewerに関するフィードバックを送信する場合は、**[フィードバック]**をクリックします。
- 使用しているTeamViewerが最新バージョンかどうかを確認する場合は、**[新しいバージョンの確認]**をクリックします。
- TeamViewerのバージョンやライセンスの情報を確認する場合は、**[バージョン情報]**をクリックします。



2.2.4 TeamViewerのメインウィンドウのステータスバー

ステータスバーはTeamViewerのメインウィンドウの下端に表示されます。ステータスバーは、接続ステータスを示すステータスライトと[コンピュータ&パートナー]([セクション「8」の40ページ](#))にアクセスするためのボタンで構成されます。

ステータスライトは接続状況に応じて、以下の3つの色に変化します。

- **緑**: 接続準備が完了しています。TeamViewerからの安全な接続を確立するか、着信接続要求を受け入れることができます。
- **黄**: 認証中です。TeamViewerセッションを確立するための認証プロセスが開始されました。パートナーまたはこちらからパスワードを入力する必要があります。
- **赤**: 接続が中断されたか、または接続を確立できませんでした。



3 TeamViewerの接続の確立

このセクションでは、リモートコントロールセッションを確立するための簡単な手順を紹介します。VPNセッションまたはファイル転送のために接続を確立する場合も、同じ手順を実行します。接続の確立のためのオプションおよびその他の機能についての詳細は、セクション「7 "その他の接続オプション"」の35ページ、セクション「7.3 "Windowsのショートカットによる接続の確立"」の37ページおよびセクション「10 "その他の機能"」の79ページを参照してください。

有効化後は、以下の手順でパートナーに接続できます。

1. TeamViewerを開きます。
2. [リモートコントロール]タブをクリックします。
3. パートナーにTeamViewerフルバージョンまたはTeamViewer QuickSupport(セクション「11.2」の94ページ)を起動するように依頼します。
4. パートナーにTeamViewer IDとパスワードを通知してもらいます。
5. パートナーのIDを[パートナーID]コンボボックスに入力します。
6. [リモートコントロール]オプションボタンをクリックします。
7. [パートナーに接続]ボタンをクリックします。
➡ [TeamViewerの認証]ダイアログボックスが開きます。
8. リモートコンピュータのパスワードを入力します。
9. [ログオン]をクリックします。
10. これでパートナーのコンピュータとの接続は完了です。

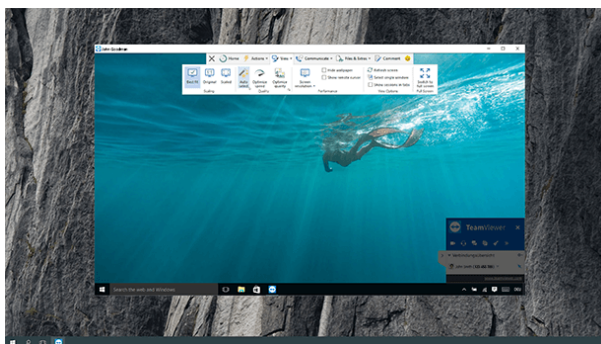


4 リモートコントロール接続モード

リモートコントロール接続モードでは、リモートコンピュータを操作できます。

このセクションでは、リモートコントロール接続モードで使用するツールについて説明します。パートナーのコンピュータを直接使用する場合と同じように操作できます。このモードでは、外出時/出張時に自分のコンピュータを操作することもできます。



リモートコントロールセッション セクション「3」の12ページを開始すると、リモートコントロールウィンドウが表示されます。



TeamViewerのリモートコントロールウィンドウ

4.1 リモートコントロールウィンドウのオプション

ウィンドウのタイトルバーには、開いているリモートコントロールセッションすべてがタブで表示されます。各セッションごとに、パートナーの表示名、TeamViewer IDまたはその両方が表示されます。

注：ツールバーの  ボタンを使用して、リモートコントロールウィンドウを全画面モードで表示できます。 ボタンを使用してツールバーを最小化できます。

その下に、以下のようなメニューボタンで構成されるツールバーが表示されます。



終了

現在の接続を終了します。



起動

リモートデバイスに関する技術情報ならびに現在のリモートコントロールセッションに関する情報が含まれているダッシュボードビューを開きます。

全般情報

プロセス

リモートデバイス上で実行中のプロセスの数を表示します。

リンクをクリックすると、リモートデバイス上のTask Managerが開いて、実行中のプロセスを即時に操作できるようになります。

パフォーマンス

現在のCPUおよびRAMの使用量ならびに現在使用されているディスク領域を表示します。

リモートデバイスに高い作業負荷がかかっているためにグラフが赤で色付けされている場合、Task ManagerおよびDisc Cleanupに直接アクセスして考えられる問題を迅速に解決することができます。

ディスクの正常性 新規

使用しているハードドライブの正常性状態とタイプに関する情報が表示されます。これには、名前、状態、シリアル番号が含まれます。カラーコードにより、ハードドライブのステータスをすばやく評価することができます。

セキュリティ

リモートユーザーと現在のセッションに関する情報を表示します。Windows Updateが使用できる場合、この情報はここにも表示されます。

ステータスインジケータの色が赤の場合、ウイルス対策またはファイアウォール保護が正しく機能していないか、まったく有効化されていません。リンクをクリックすると、リモートデバイス上のAction Centerが開いて、ウイルス対策およびファイアウォールのセットアップを即時に操作できるようになります。

セッション

リモートユーザーと現在のセッションに関する情報を表示します。



全般情報

デバイス改善済み

リモートデバイスを識別するための情報(たとえば、メーカー、モデル、オペレーティングシステム、またはデバイス名)を提供します。

システム環境

リモートデバイスが配置されているシステム環境(たとえば、ネットワーク、ドメインなど)に関する情報を提供します。

リンクをクリックすると、リモートデバイス上のネットワークおよび共有センターが開いて、ネットワーク設定を即時に操作できるようになります。

デバイスの管理

アカウント割り当て

リモートデバイスが割り当てられているTeamViewerアカウントを表示します。ステータスインジケータに、アカウントの割り当てが存在するかどうかが表示されます。

リンクをクリックすると、リモートデバイスのTeamviewerオプションが開いて、アカウント割り当ての設定を変更することができます。

Wake-on-LAN

Wake-On-LANがリモートデバイスに対して有効化されているかどうかを表示します。ステータスインジケータが赤の場合、Wake-On-LANはリモートデバイスに対して使用できません。

リンクをクリックすると、Wake-On-LANコンフィグレーションが開いて、リモートデバイス用のWake-On-LANのセットアップを操作することができます。

無人アクセス

無人アクセスがデバイスに対して有効化されているかどうかを表示します。

リンクをクリックすると、コンフィグレーションダイアログが開いて、リモートデバイスに対する無人アクセスを有効または無効にすることができます。

セッションの終了

現在の接続を終了します。

注: 表示される情報は、使用するオペレーティングシステムによって異なる場合があります。



操作

セッション

セッションの終了 現在の接続を終了します。

- **セッションの終了とリモートコンピュータのロック:** 現在のセッションを終了し、リモートコンピュータをロックします。

メモを残す リモートデスクトップに付箋を作成します。この機能は、TeamViewerのフルバージョン、TeamViewer Host、またはTeamViewer QuickSupportへの接続に使用できます。

注: メモは接続が終了した後も表示されます。

QuickSteps

リモートデバイスでよく使用されるタスクまたはアクションを1回のクリックで実行します。

Windowsオプション

ロック **今すぐロック:** リモートコンピュータをロックします。これにより、ユーザーアカウントの切り替えまたは同じセッションへの再サインインが可能になります。

[セッション終了時にロック]: セッション終了後またはセッション中止後にリモートコンピュータを自動的にロックします。

注: リモートコンピュータがロックされている場合、または接続が確立されている間にサインインしたユーザーがいない場合、**[セッション終了時にロック]**オプションが自動的に有効になります。

リモートコンピュータのサインアウト: 現在のWindowsユーザーアカウントをリモートコンピュータでログオフします。これで、任意のWindowsユーザーアカウントに再ログインできます。



Windowsオプション

再起動 **[再起動]**: リモートコンピュータを再起動します。

動

注: リモートコンピュータを再起動するとすぐに、ダイアログボックスが自動的に表示されます。ここでTeamViewerの接続を再び確立することができます。

[セーフモードで再起動]: ネットワークドライバを使用してリモートコンピュータをセーフモードで再起動します。

リモート相互作用

Ctrl+Alt+Delの送信 CTRL+ALT+DELキーコマンドをリモートコンピュータに送信します。

キーコンビネーションの送信 キーの組み合わせ(ALT+TABなど)をリモートコンピュータに直接送信します。この場合、ローカルではコマンドは実行されません。

リモート入力を無効にする リモートコンピュータ上のマウスとキーボードによる入力を無効にします。

注: リモートコンピュータでCTRL+ALT+DELを押して、この操作を元に戻します。

ブラックスクリーンを表示 リモートコンピュータのモニターをブラックスクリーンにします。

注: リモートコンピュータでCTRL+ALT+DELを押して、この操作を元に戻します。

注: ブラックスクリーンを確実に表示するために、ドライバをインストールすることができます。リモートコンピュータのディスプレイを無効にしている場合は、**[ブラックスクリーンを表示]**ダイアログボックスが表示されます。ドライバをインストールする場合は、**[続行]**ボタンをクリックします。

参加者


追加の参加者を招待... **[追加の参加者の招待]**ダイアログボックスを開きます([セクション「10.6」の88ページ](#))。



セッションリストウィジェットを開きます([セクション「10.6」の88ページ](#))。



情報

リモートシステム情報...	リモートコンピュータの[システム情報]ダイアログボックスを開きます(セクション「10.6」の88ページ)。
リモート更新...	リモートコンピュータのTeamViewerの最新バージョンの有無を確認し、必要に応じて更新をインストールします(セクション「10.2」の85ページ)。
	[接続情報]ダイアログボックスを開きます(セクション「10.4」の86ページ)。



ショートカット

リモートコンピュータがWindows 8オペレーティングシステムで稼働している場合、Windows 8用のコマンドを実行できます。

- **[スタート]**: Windows 8のスタート画面を開きます。
- **[アプリコマンド]**: Windows 8のアプリバーを開きます。
- **[チャーム]**: Windows 8のチャームバーを開きます。
- **アプリの切り替え**: Windows 8アプリオーバビューを開きます。
- **スナップ**: Windowsストアアプリを右の画面の端にドッキングします。
- **メニューの移動**: Windows 8 Startビューを次の画面に移動します。このコマンドは、リモートコンピュータに複数のモニターがある場合のみ使用できます。



ビュー

最適化

最適 リモートコンピュータの画面の方がローカルコンピュータの画面よりも解像度が高い場合は、リモートコンピュータの画面を縮小して転送します。

オプション リモートコンピュータで設定された解像度で画面を転送します。リモートコンピュータの画面の方が解像度が高い場合は、スクロールバーを使用して画面を移動できます。



最適化


拡大 リモートコンピュータの画面を拡大して転送します。このプロセスでは、[リモートコントロール]画面のサイズは、リモート先端末の解像度を基準に拡大または縮小することができます。

画質

自動 使用可能な帯域幅に応じて画質と転送速度を最適化します。

速度の最適化 画質を低下させることで接続速度を最適化します。また、画質をリモートコントロールに最適なレベルまで低下させます。

画質の最適化 接続速度を低下させることで画質を最適化します。

 カスタム設定に基づいて画質と転送速度を最適化します。

モニタ



パートナーが複数のモニターを使用している場合、すべてのモニター画面を単一ウィンドウに同時に表示します。



パートナーの使用可能なモニタを表示します。





モニタ

個々のタブとしてモニタ
オプション[タブで接続を表示]を有効にすると、開いているリモートコントロールウィンドウにモニターが新しいタブとして表示されます。
タブで新しい接続を開くオプションを無効にしている場合(セクション「13.3」の113ページ)、モニターは個別のセッションウィンドウに表示されます。

パフォーマンス

画面解像度
リモートコンピュータの画面解像度を変更します。解像度を低くすると、データの転送量が少なくなるため、パフォーマンスが向上します。

壁紙を非表示
リモートコンピュータの壁紙を非表示にします。これにより接続速度が向上します。

リモートカーソルを表示
パートナーのマウスポインタを表示します。これを有効化すると、リモートコンピュータ上のマウスポインタの動きを確認できます。



表示オプション

画面を更新 自動更新機能が動作しない場合に、画面を更新します。

単一ウィンドウを選択 パートナーの画面内の1つの特定のウィンドウのみを表示します。これを行うには、表示するウィンドウ内を十字カーソルでクリックします。

デスクトップ全体を表示 リモートコンピュータの画面全体を表示します。

セッションをタブで表示 有効の場合、すべてのリモートコントロールセッションが1つのウィンドウに表示されます。各セッションはウィンドウ内にタブとして表示されます。



全画面

全画面に切り替える
ローカルコンピュータに全画面モードでリモートコンピュータの画面を表示します。
リモートコンピュータの画面の方が解像度が低いときに**[最適]**オプションを選択した場合は、それに応じて画面が拡大されます。



通信

通信機能に関する詳細は、[セクション「9」の69ページ](#)を参照してください。

コンピュータでの音声

コンピュータでの音声
有効にした場合、リモートコンピュータからのサウンドがローカルコンピュータに転送されます([セクション「9.7」の76ページ](#))。

コントロール

パートナーと役割を交代
リモートコントロールセッションの方向が入れ替わり、パートナーがこちらのコンピュータを操作できるようになります。

電話会議

インターネットを使用した電話
音声伝送のオプションを選択：
コンピュータのマイクとスピーカーを使用して接続パートナーと会話します (Voice over IP)。

- **インターネット電話を開始:** インターネットを使用した電話を開始するか、該当する設定を開始します。

電話による通話

従来の電話会議を開始するか、電話会議に参加します。

- **電話の詳細:** 従来の電話会議の設定を開始します。

詳細は、[セクション「9.3.2 "電話"」の71ページ](#)を参照してください。



チャットとビデオ

チャット パートナーとテキストによる通信を行うためのウィジェットを開きます。

ト 詳細は、[セクション「9.4 "TeamViewerセッションでのパートナーとのチャット"」の72ページ](#)を参照してください。

動画 Webカメラ送信用のウィジェットを開きます。

詳細は、[セクション「9.2 "パートナーへのWebカメラ動画の送信"」の69ページ](#)を参照してください。

ホワイトボード

ホワイトボード リモート画面に思い通りに描画または書き込みできるウィジェットを開きます。

詳細は、[セクション「9.6 "TeamViewerセッション中の画面への描画"」の74ページ](#)を参照してください。



ファイルおよびその他

印刷

リモート印刷の有効化 ローカルコンピュータでのリモートコンピュータからの印刷を有効にします([セクション「10.7」の89ページ](#))。



VPN

VPN 接続しているコンピュータ間で仮想プライベートネットワークを構築します。

の起 動

注: このオプションを使用できるのは、お互いのコンピュータにTeamViewer VPNドライバがインストールされている場合のみです。TeamViewer VPNに関する詳細は、[セクション「6」の33ページ](#)を参照してください。

以下のオプションから選択できます。

- **[開始]:** VPN接続を開始します。
- **[停止]:** VPN接続を終了します。
- **[ステータス...]:** ステータスウィンドウを開き、VPNのIPアドレスを表示します。

画面の記録

**スクリーン
ショットの作
成...** リモートコントロールウィンドウで現在表示されている内容をスクリーンショットとして保存
します。
これを行うには、**[スクリーンショットの作成...]**をクリックします。ダイアログボックスが表示
されたら、スクリーンショットを保存するか、クリップボードにコピーするかを選択します。

**セッションの
記録を開
始** 現在のリモートコントロールセッションを動画として記録します([セクション「9.8」の76
ページ](#))。

以下のオプションから選択できます。

- **[開始]:** 記録を開始します。
- **[一時停止]:** 記録を一時停止します。
- **停止と保存:** 記録を終了します。

ファイルの転送

**ファイル転送
を開く** **[ファイル転送]**ウィンドウが開き、ローカルコンピュータとリモートコンピュータとの間でファ
イルを転送できます([セクション「5」の28ページ](#))。



ファイルの転送

ファイルボックスを使用した共有 ウィジェットが開き、リモートコントロールセッションでパートナーとファイルを共有できます(セクション「9.5」の72ページ)。また、クラウドストレージから直接、ファイルにアクセスすることができます。

- **コンピュータ...**: リモートコントロールセッションで、パートナーとコンピュータのファイルを共有します。
- **ドロップボックス、Googleドライブ、OneDrive、ボックス...**: リモートコントロールセッションで、リンクされたクラウドストレージプロバイダのファイルをパートナーと共有します。



次のモニター

リモートコンピュータで複数のモニターが有効な場合、ドロップダウンメニューから目的のモニターを選択して複数のモニターを個別のウィンドウにタブで表示することができます。また、すべてのモニターを1つのウィンドウに表示することもできます。また、すべてのモニターを単一ウィンドウに表示することもできます。または、**[表示|モニター]**で同じ機能にアクセスできます。



コメント

リモートコントロールセッション中にコメントを書き込みます。ボタンをクリックして、テキストフィールドにコメントを入力します。[コメント]ウィンドウの内容は、セッションの終了までバッファリングされます。セッションの終了後、すべてのコメントを見直して保存できます。

すべてのコメントは、接続ごとにTeamViewer Management Consoleに表示されます。

注: このボタンは、設定で接続ロギングを有効にしている場合のみ表示されます。

注: この機能を使用するには、TeamViewerアカウントにログインして会社プロフィールのメンバーになる必要があります。



リモート更新

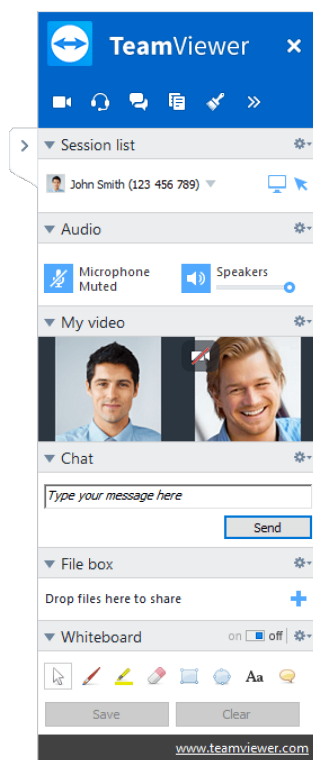
リモートコンピュータ上のTeamViewerを更新します。自動更新に設定している設定内容に応じて、メインバージョン内の適切な更新がインストールされるか、新しいメインバージョンがインストールされます。この機能は、**[操作]**ボタンを使用して呼び出すこともできます(セクション「10.2」の85ページ)。

このボタンは、リモートコンピュータにインストールされているTeamViewerのバージョンが、自分のコンピュータ上のTeamViewerのバージョンよりも古い場合のみ表示されます。





4.2 TeamViewerパネルのリモートコンピュータ用オプション

パートナー側 (リモートコンピュータ) で、すべての接続において画面の右下に小さなコントロールウィンドウが表示されます。



リモートコントロールパネル

TeamViewerパネル自体には、以下の特長があります。








- 画面上の任意の場所に移動できます。したがって、画面の重要な部分が隠れてしまうことはありません。
- 個々のウィジェットをパネルから切り離すことができます。ウィジェットをパネルからドラッグして、サイズと位置を個別に調整します。あるいは、アイコンをクリックして、個々のウィジェットをTeamViewerパネルから切り離します。
- パネルの左側にあるアイコンを使用すると、パネルを画面の端に最小化できます。

注：マルチメディア機能 (セクション「9」の69ページ) を開始したときにも、画面に同じウィンドウが表示されます。

4.2.1 メニューバーのオプション

メニューバーはパネルの上端にあります。各アイコンをクリックすると、それに対応したさまざまな機能呼び出すことができます。



アイコン/機能	説明
 すべての接続の 終了	有効なリモートコントロールセッションをすべて終了します。
 動画	[マイビデオ]ウィジェットを開きます (セクション「9.2」の69ページ)。
 音声	[音声]ウィジェットを開きます (セクション「9.3」の70ページ)。
 チャット	[チャット]ウィジェットを開きます (セクション「9.4」の72ページ)。
 ファイルボックス	[ファイルボックス]ウィジェットを開きます (セクション「9.5」の72ページ)。
 ホワイトボード	[ホワイトボード]ウィジェットを開きます (セクション「9.6」の74ページ)。
 機能	アイコンのコンテキストメニューで、 参加者 ウィジェットを開くことができます (セクション「9.1」の69ページ)。



5 ファイル転送接続モード

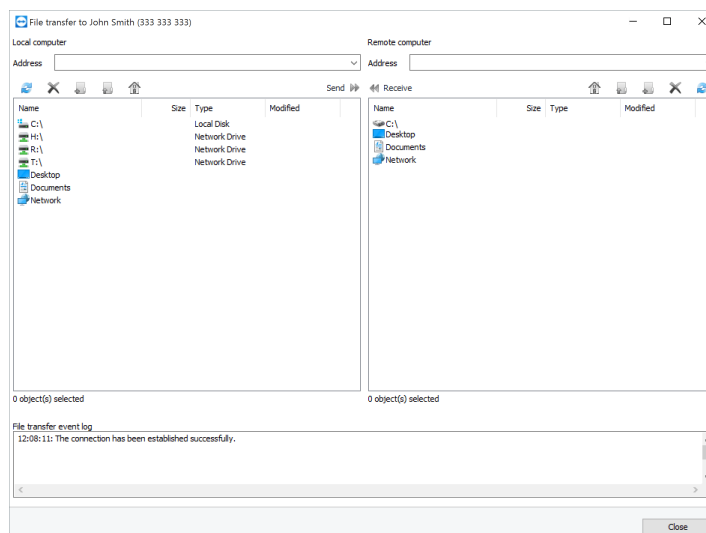
このセクションでは、ファイルおよびフォルダの送受信方法について説明しています。

5.1 ファイル転送接続モードのオプション

5.1.1 ファイル転送ウィンドウの説明

[ファイル転送]ウィンドウでは、パートナーのコンピュータと相互にファイルを送受信できます。ファイル転送ウィンドウは、以下の2つの方法で開くことができます。

- [リモートコントロール]タブで、[ファイル転送]オプションボタンを選択してから接続を開始します。
- ライブリモートコントロールセッション中に、[リモートコントロール]ウィンドウのツールバーで[ファイルおよびその他|ファイル転送を開く]をクリックします。



【ファイル転送】ウィンドウでは、リモートコンピュータと相互にファイルを送受信できます。

5.1.2 ファイル転送ウィンドウのオプション

ファイル転送ウィンドウには、こちらのファイルシステムが左側に表示され、パートナーのファイルシステムが右側に表示されます。各ボタンを使用して、以下の操作を実行できます。

ア 説明
イ
コ
ン/



ファイルリストを**更新 (F5)**:
現在のフォルダを更新します。



選択したオブジェクトを**削除 (DEL)**:
選択したファイルおよびフォルダを削除します。この操作は元に戻せません。

注意: ファイルを削除すると、そのファイルは完全に削除されるため、ごみ箱から復元することはできません。



新規フォルダの作成 (ショートカット: CTRL+SHIFT+N):
選択したディレクトリに新しいフォルダを作成します。



親フォルダに移動 (BACKSPACE):
現在のフォルダの親フォルダに切り替えます。



ア 説明 イ コ ン/

ドライブに移動 (CTRL+BACKSPACE):

Windowsに割り当てられたドライブの一覧を表示します。また、ここから[マイドキュメント]や[デスクトップ]などのWindows固有のフォルダにもアクセスできます。



送信 (ショートカット: F11):

選択したファイルおよびフォルダをリモートコンピュータに送信します。複数のファイルを同時に送信することができます。これを行うには、複数のファイルを選択するためのWindowsのショートカットを使用します。



受信 (ショートカット: F11):

選択したファイルおよびフォルダをローカルコンピュータにロードします。複数のファイルを同時に送信することができます。これを行うには、複数のファイルを選択するためのWindowsのショートカットを使用します。

名前の変更:

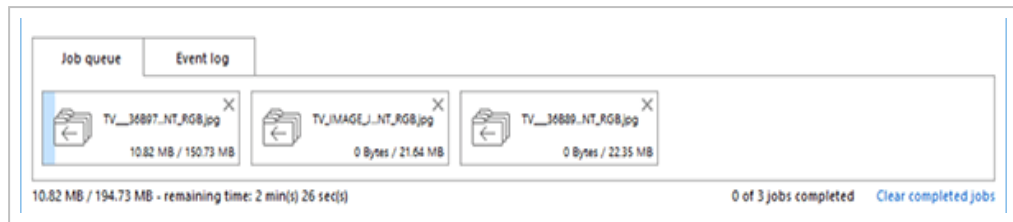
ファイル/フォルダの名前を変更するには、選択したファイル/フォルダをクリックします。これで名前を編集できます。

ヒント: ファイル転送ウィンドウでは、ドラッグ&ドロップ操作によりコンピュータ間でファイルとフォルダをやり取りすることもできます。これには、一方のコンピュータのファイルシステムエリアから他方のコンピュータのファイルシステムエリアにファイルまたはフォルダをドラッグします。

ヒント: TeamViewer 13以降では、Windowsフォルダ「Recent files」にアクセスして、このフォルダからリモートコンピュータにファイルを送信することもできます。アイコンをクリックし、「Recent files」のリストをダブルクリックして開きます。

ジョブ待ち行列 新規

ジョブ待ち行列で、リモートデバイスとの間で送受信されたファイルおよびジョブが次々に待ち行列に入られて処理されます。



[ファイルの転送]ウィンドウのジョブ待ち行列。

これにより、すでに処理中のファイルがある場合でも、転送する追加のファイルを検索することができます。以前のジョブが終了する前に、複数のファイル転送ジョブを開始できます。

ジョブ待ち行列に以下のオプションを使用できます。

- ジョブ待ち行列内でドラッグ&ドロップを使用して、ジョブの移動と再配置を行います。
- ジョブの上右隅のXをクリックして、ジョブをキャンセルします。
- [完了したジョブをクリア]をクリックして、ジョブ待ち行列をクリアします。

5.2 ドラッグ&ドロップによるファイルの転送

ローカルコンピュータとリモートコンピュータ間でファイルを転送する別の方法として、ドラッグ&ドロップがあります。ドラッグ&ドロップによってフォルダ間でファイルを転送できるだけでなく、アプリケーションなどにファイルをドラッグ&ドロップすることもできます。このようにして、たとえば、ファイルをEメールに貼付できます。

この形式のファイル転送は個別のモードとして実行する操作ではありません。これはリモートコントロール接続モードの機能の1つです。

ドラッグ&ドロップを使用してファイルをリモートコンピュータに転送するには、以下の手順を実行します。

1. セクション「3」の12ページの説明に従い、リモートコンピュータに接続します。
2. 転送するファイルを選択します。
3. ファイルをローカルコンピュータの画面からリモートコントロールウィンドウにドラッグします。

➡ ファイルがリモートコンピュータに転送されます。

ファイルをリモートコンピュータからローカルコンピュータに転送する場合も、上記と同じ手順を実行します。




5.3 Windowsコンテキストメニューによるファイルの転送

ローカルコンピュータとリモートコンピュータ間でファイルを転送するもう1つの方法として、Windowsのコンテキストメニューを使用して送信する方法があります。




この場合、TeamViewerでWindowsのコンテキストメニューを使用して、[コンピュータ&パートナー]リスト内のコンピュータまたはパートナーにファイルを送信できます。

Windowsのコンテキストメニューを使用してファイルを送信するには、以下の手順を実行します。

1. Windows Explorerでファイルを選択します。
2. ファイルを右クリックします。
 Windowsのコンテキストメニューが開きます。
3. **[送る| TeamViewer]**オプションを選択します。
 TeamViewerの**[1件のファイルを送信 ...]**ダイアログボックスが開きます。
4. ファイルの送信先となるコンピュータまたはパートナーを選択します。
5. **[OK]**ボタンをクリックします。
 コンピュータまたはパートナーがリクエストを承認する必要があります。
6. これで[コンピュータ&パートナー]リスト内のコンピュータまたはパートナーにファイルが送信されました。

ファイルは、コンピュータ上またはパートナーのデバイスのC:\Users\%username%\Downloadsにあるダウンロードフォルダに保存されます。

注：この機能は[コンピュータ&パートナー]リストから呼び出すこともできます。パートナーのコンテキストメニュー(右クリック)で  アイコンをクリックし、送信するファイルを選択します。

注：注：受信者の確認なしにファイルを送信または受信することはできません。



6 VPN接続モード

VPN接続モードでは、2台のTeamViewerコンピュータ間で仮想プライベートネットワーク(VPN)を構築できます。VPNを介して接続された2台のコンピュータは、共通のネットワーク内のコンピュータとして使用できます。これにより、こちらからパートナーのコンピュータのリソースにアクセスしたり、パートナーからこちらのコンピュータのリソースにアクセスしたりできるようになります。

6.1 TeamViewer VPNの使用例

- リモートコンピュータに接続されているプリンタにドキュメントを印刷します。
- リモートデータベースサーバーへのVPN接続を確立することで、リモートデータベースにアクセスするローカルコンピュータ上でアプリケーションを実行できます(ホームオフィスの場合など)。
- リモートコンピュータに接続されたデバイス(ハードドライブやUSBスティックなど)へのアクセスを外部の参加者に付与できます。

6.2 TeamViewer VPNの使用条件

[TeamViewer VPNの使用]オプションを使用して、TeamViewerを両側にインストールする必要があります(セクション「13.1」の107ページ)。つまり、TeamViewer VPNドライバを両方のコンピュータにインストールする必要があります。VPNドライバは後からインストールすることもできます(セクション「13.9」の122ページ)。TeamViewer自体のアンインストールまたは再インストールは必要ありません。

注： TeamViewerを使用してパートナーのコンピュータの遠隔操作やファイル転送を行う場合は、VPN接続は必要ありません。

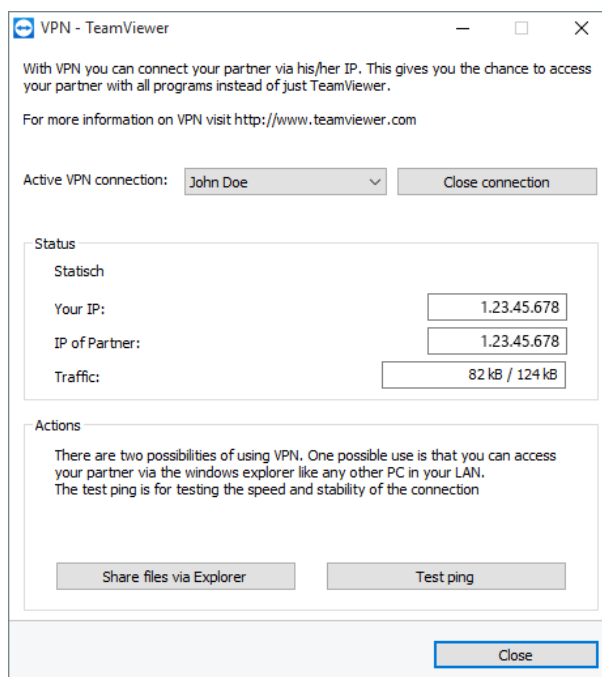
注： TeamViewer VPNを使用してローカルコンピュータをリモートコンピュータに接続すると、その2台のコンピュータのみが仮想プライベートネットワーク内でリンクされます。他のコンピュータは、いずれかのコンピュータにLAN接続されていても、このネットワークにはアクセスできません。



注: TeamViewer VPNドライバをまだインストールしていない場合、TeamViewerのメインウィンドウにVPNのオプションボタンは表示されません。

6.3 VPNダイアログボックスのオプション

セクション「3」の12ページに従い、VPNを介してリモートコンピュータに接続すると、[VPN-TeamViewer]ダイアログボックスが表示されます。



[VPN-TeamViewer]ダイアログボックス

この[VPN-TeamViewer]ダイアログボックスには、以下のオプションが用意されています。

- 複数の同時VPN接続の場合、**[有効なVPN接続]**ドロップダウンリストから必要な接続を選択できます。ダイアログボックスには、この接続の詳細と実行可能な操作が表示されます。
- **[接続終了]**ボタンをクリックすると、選択した接続が終了します。
- **[ステータス]**エリアには、両方のコンピュータに割り当てられたVPNのIPアドレスが表示されます。一度割り当てが完了すると、VPNのIPアドレスは変更されません。
- **[エクスプローラを開く]**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラが開きます。[エクスプローラでファイルを共有]ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラが開き、リモートファイルシステムにアクセスできるようになります。リモートコンピュータ上のフォルダをローカルネットワークを介して共有している場合、そのフォルダにアクセスできるようになり、必要に応じてファイルの削除、コピー、移動などの操作を実行できます。リモートコンピュータ上で自分の認証が必要になる場合があります。
- **[pingのテスト]**ボタンをクリックすると、リモートコンピュータにpingが送信されます。これにより、接続が正しく確立されているかどうかを確認できます。



7 その他の接続オプション

7.1 IPアドレスを使用したLAN接続の確立

7.1.1 LAN接続の有効化によるネットワーク接続

IPアドレス(または(コンピュータ名)を直接使用してローカルネットワーク接続を確立することもできます。これを行うには、着信LAN接続が承認されるようにTeamViewerを設定する必要があります。

着信LAN接続を承認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューバーで[その他|オプション]をクリックします。
➡ [TeamViewerのオプション]ダイアログが開きます。
2. [全般]カテゴリを選択します。
3. [ネットワーク設定]エリアの[受信LAN接続]で、[同意]オプションを選択します。

注: [同意のみ]オプションを選択することもできます。この場合、ローカルコンピュータへの接続がローカルネットワークのコンピュータに限定されます。メインウィンドウには、TeamViewer IDではなくIPアドレスが表示されます。

7.1.2 パートナーのIPアドレスを使用してパートナーに接続する方法

パートナーのIPアドレスを使用してパートナーに接続するには、セクション「3」の12ページの指示に従ってください。ただし、**パートナーID**ではなく、リモートデバイスの**IPアドレス**を入力する必要があります。ネットワークでDNS解決が使用される場合、コンピュータの名前を使用して同じ方法で接続できます。

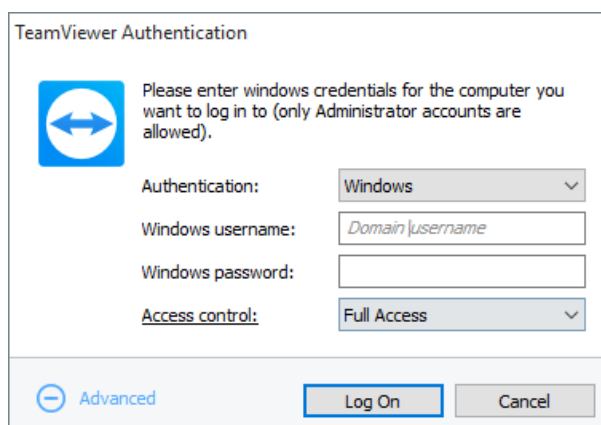
注: LAN接続にはTeamViewerサーバーは関与しません。したがって、公開鍵/秘密鍵の鍵交換を行わない通常の対称暗号化方式が使用されます。



7.2 Windowsユーザーアカウントを使用したリモートコンピュータでの認証

IDとパスワードを使用するTeamViewer認証の代わりに、Windowsのユーザー名とパスワードを使用してリモートコンピュータにログインすることもできます。

Windows認証はすべての接続モードに対して使用できます。



詳細な認証ダイアログボックス。

Windows認証を使用してリモートコントロールセッションに接続するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerを開きます。
2. パートナーにTeamViewerフルバージョンまたはTeamViewer QuickSupport(セクション「11.2」の94ページ)を起動するように依頼します。
3. パートナーにTeamViewer IDを通知してもらいます。
4. [リモートコントロール]タブの[リモートコンピュータの操作]エリアで、[リモートコントロール]オプションボタンを選択します。
5. パートナーのIDを[パートナーID]フィールドに入力します。
6. [パートナーに接続]ボタンをクリックします。
7. ➡ [TeamViewerの認証]ダイアログボックスが開きます。
7. + [詳細]をクリックします。
- ➡ ダイアログボックスに詳細設定が表示されます。
8. [認証]ドロップダウンリストから[Windows]を選択します。
9. リモートコンピュータのWindowsユーザーアカウントのWindowsユーザー名 およびWindowsパスワードを対応するフィールドに入力します。



10. **[ログオン]**をクリックします。
11. これでパートナーのコンピュータとの接続は完了です。

注： TeamViewer QuickSupportへの接続には、常にWindowsログイン情報を使用できます。

注： TeamViewer HostおよびTeamViewerフルバージョンでは、最初にリモートコンピュータのオプションの**[セキュリティ]**カテゴリで、この機能を有効化しておく必要があります([セクション「13.2」の110ページ](#))。

注： 安全なパスワードを使用してWindowsへのすべてのログインを保護してください。TeamViewerのパスワードの安全性を確認するには、[セクション「13.2」の110ページ](#)を参照してください。

7.3 Windowsのショートカットによる接続の確立


デスクトップ上または別のWindows Explorerフォルダ内にあるWindowsのショートカットを使用して、リモートコントロールセッションを確立できます。

ショートカットを作成するには、**[コンピュータ&パートナー]**リストから各コンピュータをドラッグ&ドロップします([セクション「8」の40ページ](#))。ショートカットはTeamViewerアカウントに紐付いています。つまり、リンクされたコンピュータが属するグループを共有しているTeamViewerアカウント、または自分のアカウントで使用できます。ショートカットを実行すると、パスワードを使用してリモートコントロールセッションが開始されます。

リモートコントロールセッションを確立するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerを開きます。
2. TeamViewerアカウント内で**コンピュータ&パートナー**リストにログインします([セクション「8.1.3」の44ページ](#))。

注： TeamViewerアカウントをアプリを搭載したデバイス上、またはブラウザで使用したことがない場合は、最初にログインしたときにアカウントの使用を認可する必要があります。詳細は、[セクション「10.9」の92ページ](#)を参照してください。

3. ショートカットを作成するコンピュータを選択します。
4. マウスボタンを押したまま、コンピュータをデスクトップまたはWindows Explorerフォルダにドラッグします(ドラッグ&ドロップ)。
5. ショートカットをダブルクリックしてリモートコントロールセッションを開始します。
 **[TeamViewerの認証]**ダイアログボックスが開きます。
6. このコンピュータのパスワードを入力します。
7. **[ログオン]**をクリックします。



➡ リモートコントロールウィンドウが開きます。

8. [コンピュータ&パートナー]リスト内のコンピュータに接続されます。

注: [コンピュータ&パートナー]リスト内のリンクされたコンピュータに個人的なパスワードを設定している場合、手順6と手順8は不要です。

7.4 パスワードなしでコンピュータに接続

この機能を有効にすると、アクセス用のパスワード設定する必要がありません。そのため、TeamViewerアカウントを使用して自分のコンピュータに接続する場合に、パスワードを入力する必要がなくなります。

注意: データ保護の理由の理由上リモートコンピュータ上のユーザーにこのアクセスに関する事前通知が必要なため、気付かれずにコンピュータにアクセス・操作することはできません。そのため、この方法は、自分に属しているコンピュータに対してのみ使用できます。

この機能の利用にはリモート先の端末をTeamViewerアカウントに割り当てる必要があります(セクション「8.2.8」の60ページ)。

TeamViewerフルバージョン内のオプションで、デバイスに対する簡易アクセスを有効にすることができます。

有効後は、コンピュータへのアクセスは、以下の場合にのみ可能です。

- パスワードなしの簡易アクセスは、TeamViewerアカウントでのみ可能です。
- その他の接続では、コンピュータのTeamViewer IDとパスワードが要求されます。
- TeamViewerのオプションでランダムパスワードまたは個人的なパスワードを無効にした場合、TeamViewerアカウントを使用してデバイスにアクセスできるのは自分のみとなります。

注: このモジュールは、TeamViewerアカウントを使用してのみアクセスできるため、非常に安全です。


注: デバイスが共有グループ内に登録されている場合、グループを使用するすべてのユーザーもそのデバイスに簡易アクセスすることができます。

コンピュータへの簡易アクセスを有効にするには、以下の手順に従います。

1. コンピュータでTeamViewerを起動します。
2. TeamViewerアカウント内でコンピュータ&パートナーリストにログインします(セクション「8.1.3」の44ページ)。



注: TeamViewerアカウントをアプリを搭載したデバイス上、またはブラウザで使用したことがない場合は、最初にログインしたときにアカウントの使用を認可する必要があります。詳細は、[セクション「10.9」の92ページ](#)を参照してください。


3. **オプション]**をクリックします。
4. **[セキュリティ]**タブを選択します。
 - デバイスがすでにアカウントに割り当てられている場合は、**[個人的なパスワード(無人アクセス用)]**の下で**[<自分のアカウント名>、<自分の会社>簡易アクセスを許可]**チェックボックスを選択します。
 - デバイスがアカウントに割り当てられていない場合は、**[設定...]**ボタンをクリックします。
 **[アカウントに割り当て]**ダイアログが開きます。
 1. **[割り当て]** ボタンをクリックします。
 2. **[パーソナルパスワード(無人アクセス用)]**で、チェックボックス**[<アカウント名>、<会社>に簡単なアクセスを許可]**を選択します。
5. **[OK]**ボタンをクリックします。
6. このデバイスに対して簡易アクセスが有効になりました。

注: この機能は各コンピュータに対して個別に有効にする必要があります。

有効化後は、以下の手順でパートナーに接続できます。

1. TeamViewerを開きます。
2. TeamViewerアカウント内でコンピュータ&パートナーリストにログインします([セクション「8.1.3」の44ページ](#))。

注: TeamViewerアカウントをアプリを搭載したデバイス上、またはブラウザで使用したことがない場合は、最初にログインしたときにアカウントの使用を認可する必要があります。詳細は、[セクション「10.9」の92ページ](#)を参照してください。

3. 簡易アクセスするコンピュータをダブルクリックします。
 リモートコントロールウィンドウが開きます。
4. 簡易アクセスにて接続が確立します。

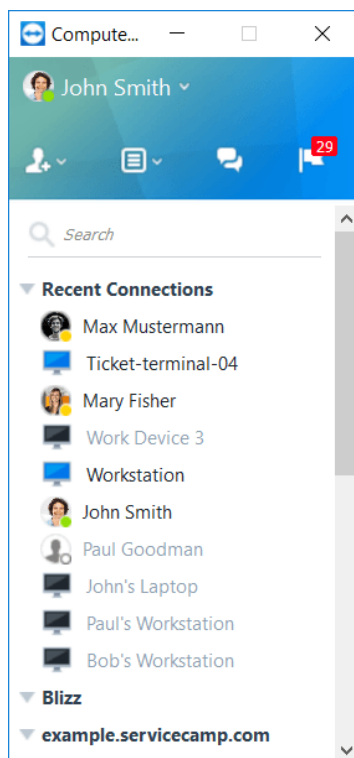


8 [コンピュータ&パートナー] – パートナーの管理

[コンピュータ&パートナー]では、TeamViewer接続パートナーのコンピュータとパートナーのデータを一元管理できます。

在席しているパートナー(コンピュータ)を一目で確認して、直接会議を開始できます。その他にも、[コンピュータ&パートナー]では、インスタントメッセージソフトのような便利な機能も使用できます。

[コンピュータ&パートナー]リストは、TeamViewerアカウントにリンクしています。つまり、パートナーの情報は特定のコンピュータに関連付けられているのではなく、中央の場所に格納されています。このため、TeamViewerを実行するどのコンピュータからでもパートナーにアクセスできます。



[コンピュータ&パートナー]では、オンライン状態であるコンピュータ(パートナー)を一目で確認できます。

さらに、[コンピュータ&パートナー]リストはコンピュータのリモートモニタリングや資産管理に使用でき、TeamViewer Management Consoleでの待機案件のコンポーネントでもあります。の詳細については、『TeamViewerマニュアル- Management Console』を参照してください。

[コンピュータ&パートナー]には、以下の利点があります。

- コンピュータとパートナーがオンラインであるかどうかを確認できます。
- 接続情報を入力しなくても素早く接続を確立できます。
- 世界中のどこからでもコンピュータとパートナーにアクセスし、その情報を管理できます。
- グループチャット、オフラインメッセージを使用して連絡先にメッセージを送信するか、または連絡先をブロック。
- コンピュータとパートナーをグループで管理し、独自のメモを追加できます。
- 個々のコンピュータ、パートナー、グループの接続設定を事前に定義できます。
- 独自の在席ステータスを設定できます。
- コンピュータのリモートモニタリングを行うことができます。
- サポート案件を使用してパートナーにダイレクトに接続できます。
- 最大10人でのビデオ通話。
- プロフィール画像を使用した個人的および専門的なプレゼンテーション。



注: コンピュータ&パートナーは、TeamViewerアカウントのコンポーネントです。これを使用できるようにするには、TeamViewerアカウントを登録する必要があります(セクション「8.1.1」の42ページ)。

8.1 TeamViewerアカウント

注: TeamViewerアカウントがなくても、TeamViewerを使用できます。

注: TeamViewerアカウントを使用しても追加料金は発生しません。TeamViewerアカウントは無料で作成して使用できます。

TeamViewerアカウントを使用すると、コンピュータとパートナーに関する情報を中央の場所に保存し、どこからでもコンピュータとパートナーを管理できます。




TeamViewerアカウントは、TeamViewerの以下の機能を使用する場合に必要です。

- TeamViewerクイック接続
- [コンピュータ&パートナー]リスト
- 会議の日程の設定と管理
- Webへのログイン


ヒント: TeamViewerアカウントを使用して、**TeamViewer IoT** (<https://www.teamviewer.com/iot/>)または**Blizz** (<https://www.blizz.com/>)などの他のTeamViewer製品にもアクセスできます。

8.1.1 TeamViewerアカウントの作成

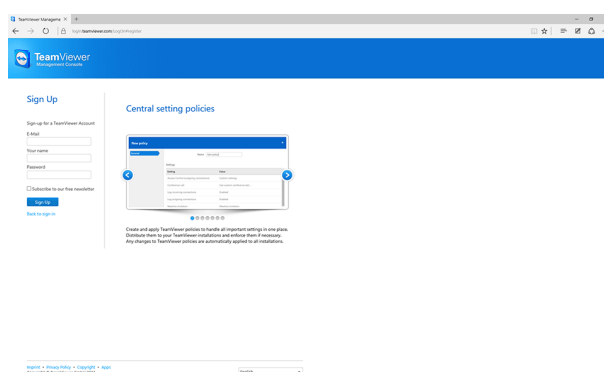
TeamViewerアカウントを作成するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerのメインウィンドウのステータスバーにある  **Computers & Contacts** >> [コンピュータ&パートナー]をクリックします。
 [コンピュータ&パートナー]ウィンドウが開きます。
2. [コンピュータ&パートナー]で[登録]ボタンをクリックします。
 ウィザードが起動し、そこでTeamViewerアカウントの作成処理を簡単な2つの手順で行うことができます。
3. [TeamViewerアカウントの作成 - ステップ2の1]ダイアログボックスで、**ユーザ名**、**電子メール**、**パスワード**を入力します。
4. 弊社のニュースレターを購読する場合は、**[無料のニュースレターを購読]**チェックボックスをオンにします。



5. **[次へ]**ボタンをクリックします。
 入力したメールアドレスに、アカウントの有効化用のリンクを収めた電子メールが届きます。
6. **[TeamViewerアカウントの作成-ステップ2の2]**で、このコンピュータへの永久アクセスを設定できます。これを行うには、**パソコン名**(識別用)と**パスワード**(このコンピュータへの接続に使用する任意のパスワード)を入力します。
7. このコンピュータでTeamViewerをシステムサービスとして設定する場合は、**[このコンピュータをリモートで操作する]**チェックボックスをオンにします。
8. **[次へ]**ボタンをクリックします。
9. **[完了]**ボタンをクリックします。
10. TeamViewerアカウントの作成を完了するには、TeamViewerチームから届いた電子メール内の**有効化用のリンク**をクリックします。
11. これでTeamViewerアカウントの設定は完了です。

メールアドレスやパスワードなどを後から変更する場合は、アカウント管理のオプションを使用します。このオプションでは、Premium/Corporateライセンスをアカウントにリンクすることもできます(セクション「13.5」の116ページ)。



Webサイトを利用したTeamViewerアカウントの作成

ヒント: TeamViewerアカウントは、弊社Webサイトでも作成できます。WebブラウザにURL: <http://login.teamviewer.com>を入力します。**[サインアップ]**リンクをクリックして新しいアカウントを作成します。

8.1.2 TeamViewerアカウントの管理

TeamViewerアカウントの設定は、WebブラウザまたはTeamViewerのオプションから直接管理することができます(セクション「13.5」の116ページ)。

アカウントの設定をWebブラウザで管理するには、以下の手順を実行します。

1. WebブラウザにURL: <https://login.teamviewer.com>を入力します。
2. TeamViewerアカウントのログイン情報を**[電子メール]**および**[パスワード]**フィールドに入力します。



3. **[ログオン]**をクリックします。

➡ TeamViewer Management Consoleおよびコンピュータ&パートナーのユーザーインターフェースがロードされます。

注: TeamViewerアカウントをアプリを搭載したデバイス上、またはブラウザで使用したことがない場合は、最初にログインしたときにアカウントの使用を認可する必要があります。詳細は、[セクション「10.9」の92ページ](#)を参照してください。

5. 右上隅にある**[プロフィールの編集]**リンクをクリックします。

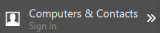
➡ ウィンドウが開き、アカウント設定が表示されます。

6. ここから自分のアカウント情報を変更することができます。

8.1.3 [コンピュータ&パートナー]でのTeamViewerアカウントのログインとログアウト

どのTeamViewerフルバージョンでも、TeamViewerアカウントを使用して[コンピュータ&パートナー]リストにログインすることができます。

TeamViewerアカウントを使用して[コンピュータ&パートナー]にログインするには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerのメインウィンドウのステータスバーにある  **[コンピュータ&パートナー]**をクリックします。

➡ **[コンピュータ&パートナー]**ウィンドウが開きます。

2. アカウント情報を**[メール]**および**[パスワード]**フィールドに入力します。

3. **[ログオン]**をクリックします。

注: TeamViewerアカウントをアプリを搭載したデバイス上、またはブラウザで使用したことがない場合は、最初にログインしたときにアカウントの使用を認可する必要があります。詳細は、[セクション「10.9」の92ページ](#)を参照してください。

4. これでログインは完了です。コンピュータとパートナーが表示されます。



どのTeamViewerからでもアカウントにログインできます。

簡単にログオンするためには、電子メールとパスワードを記憶してサインインしたままにするオプションがあります。ログイン画面の対応するチェックボックスを有効にしてください。

注意： 外部のコンピュータで、サインインしたまま処理を続けるオプションを決して有効にしないでください。また、外部のコンピュータでTeamViewerを使用した後、忘れずにログアウトしてください。

注： PremiumまたはCorporateライセンスを購入してアカウントにリンクすると、ログインしている間はこれらのライセンスはライセンスのないTeamViewerインストールに対しても有効です。

注： TeamViewerアカウントには2段階認証を設定できます。これにより、電子メールとパスワードに加えて、一時的なセキュリティコードを使用してアカウントが保護されます。2段階認証の詳細については、『TeamViewerマニュアル – Management Console』を参照してください。

[コンピュータ&パートナー]でTeamViewerアカウントをログアウトするには、以下の手順を実行します。

1. [コンピュータ&パートナー]の上部にある自分の表示名をクリックします。
➡ ドロップダウンメニューが表示されます。
2. [サインアウト]を選択します。
3. これでTeamViewerアカウントのログアウトは完了です。



8.2 [コンピュータ&パートナー]オプション

以下は[コンピュータ&パートナー]で実行可能な操作です。

操作 説明



アイコンのコンテキストメニューを使用して、次のオプションを実行できます。

- ・ リモートコンピュータを[コンピュータ&パートナー]リストに追加 ([セクション「8.2.4」の51ページ](#))
- ・ パートナーを[コンピュータ&パートナー]リストに追加 ([セクション「8.2.4」の51ページ](#))
- ・ グループの追加 ([セクション「8.2.2」の48ページ](#))
- ・ サポート案件の作成 ([セクション「8.3.1」の63ページ](#))
- ・ 周辺のパートナーおよびコンピュータを検索 ([セクション「10.8」の90ページ](#))



コンテキストメニューから、以下のTeamViewer機能を開くことができます。

- ・ **[Management Consoleを開く...]**: TeamViewer Management Consoleを開きます。Management Consoleはデフォルトのブラウザで開きます。自分のTeamViewerアカウントを使用して自動的にログインします。
- ・ **[待機案件を開く...]**: TeamViewer Management Consoleで待機案件を開きます([セクション「8.3」の63ページ](#))。



チャットウィンドウを開きます([セクション「8.2.7」の57ページ](#))。



通知を開きます([セクション「8.2.9」の62ページ](#))。



検索フィールドの入力内容に基づいて、[コンピュータ&パートナー]リストの検索を開始します。



操作 説明

アカウントのメニュー [コンピュータ&パートナー]の上部にある自分の表示名をクリックします。ドロップダウンリストが表示され、そこから在席ステータスを選択できます。また、現在のステータスはTeamViewerのトレイアイコンにグラフィカルに表示されます。

以下から選択できます。

- ・ オンライン
- ・ 取り込み中
- ・ 離席中
- ・ オフラインとして表示


注: アクティブでない状態が5分以上続くと、在席ステータスは自動的に**[離席中]**に設定されます。

また、**[プロフィールの編集...]**メニュー項目を使用してTeamViewerのアカウント管理オプションを呼び出すこともできます([セクション「13.5」の116ページ](#))。さらに、**[グループを開く]**または**[グループを閉じる]**オプションを使用すると、すべてのグループの展開/折り畳みを行うことができ、**[ログオフ]**を使用すると、アカウントからログオフすることができます。





[コンピュータ&パートナー]ウィンドウが十分に大きい場合は、[コンピュータ&パートナー]リストの下部に追加機能を表示することができます。

操作	説明
Add this computer	現在のコンピュータを[コンピュータ&パートナー]リストに追加します。を参照してください セクション「8.2.4」の51ページ 。
Add remote computer	新しいコンピュータを作成します。を参照してください セクション「8.2.4」の51ページ 。
Add contact	新しいパートナーを作成します。を参照してください セクション「8.2.4」の51ページ 。
Add new group	新しいグループを作成します。グループを使用すると、コンピュータとパートナーを任意の条件(クライアント、同僚、友人など)で分類できます。詳細については、 セクション(ページ)を参照してください セクション「8.2.2」の48ページ 。





操作	説明
 Kontakte und Geräte in der Umgebung	<p>同じネットワーク内でTeamViewerのパートナーおよびデバイスを検索します。これらのパートナーとデバイスを[コンピュータ&パートナー]リストに追加します。</p> <p>詳細は、セクション「10.8 "ネットワーク内のパートナーとデバイス"」の90ページを参照してください。</p>
最近のセッションから追加	最近のセッションからパートナーを[コンピュータ&パートナー]リストに追加します。これを行うには、名前をクリックします。

8.2.1 コンピュータ/パートナーのオンラインステータス

ステータス	説明
 オンライン	TeamViewerを使用してパートナーまたはコンピュータにアクセス可能であることを示します。
 取り込み中	パートナーまたはコンピュータはオンライン状態ですが、取り込み中であることを示します。
 離席中	パートナーまたはコンピュータはオンライン状態ですが、離席中であることを示します。
 オフライン	現在、TeamViewerを使用してパートナーまたはコンピュータにアクセスできないことを示します。

8.2.2 グループの追加

新しいグループを作成するには、以下の手順を実行します。

1.  ボタンをクリックします。
2. コンテキストメニューで、[新規グループの追加]オプションを選択します。
 [グループの追加]ダイアログが開きます。
3. [グループ名]フィールドに新しいグループの名前を入力します。
4. [OK]ボタンをクリックします。
5. 新しいグループが作成され、[コンピュータ&パートナー]に表示されます。



注: デフォルトでは、現在オンラインでないコンピュータとパートナーは個別の「オンライン」グループにリストされます。このオプションを無効化する方法については、セクション(セクション「13.5」の116ページ)を参照してください。




8.2.3 共有グループ

[コンピュータ&パートナー]リスト内のグループをリスト内の個々のパートナーと共有することができます。これにより、他のパートナーがグループ全体を素早く簡単に使用することができます。


共有グループに対して、ユーザーごとに異なる権限を割り当てることもできます。これにより、特定のユーザーのみがグループを変更できるようにしたり(プロパティの編集、パートナーの追加など)、グループを[コンピュータ&パートナー]リストに表示するだけで編集できないようにしたりすることができます。共有グループ内のコンピュータやパートナーへの接続は、権限とは無関係に常に可能です。

[共有グループ]リストからパートナーを削除すると、そのパートナーの[コンピュータ&パートナー]リストから共有グループが削除されます。

グループを共有するには、以下の手順を実行します。

1. [コンピュータ&パートナー]リストからグループを選択します。
2. グループのコンテキストメニュー(右クリック)で、**[共有]**オプションを選択します。
 **[共有グループ]**ダイアログボックスが開きます。
3. **[追加...]**ボタンをクリックします。
 **[ユーザーを追加]**ダイアログボックスが開きます。
4. グループを共有したいパートナーをリストから選択します。
5. **[OK]**ボタンをクリックします。
6. 必要に応じて権限を編集します。
7. **[OK]**ボタンをクリックします。
 パートナーはメッセージを受信し、これに同意する必要があります。
8. これでグループが共有されました。パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、パートナーはこのグループ内のコンピュータとパートナーに接続できます。

パートナーと共有しているグループのグループ名の横には、アイコンが表示されます。

パートナーから共有されているグループのグループ名の横には、アイコンが表示されます。

注: 1つまたは複数のグループを何人のパートナーとでも共有できます。



ヒント: パートナーのコンテキストメニュー(右クリック)の[共有]をクリックして、パートナーでどのグループが共有されているか確認できます。そのオプションで、パートナーで共有されているグループをさらに表示できます。

[共有グループ]ダイアログボックス

[共有グループ]ダイアログボックスには、個々のグループを共有しているパートナーが表示されます。さらに、以下のオプションを使用できます。

説明

追加...	このボタンをクリックして、選択したグループをパートナーと共有します。
削除	リストからパートナーを選択してこのボタンをクリックすると、このパートナーとのグループの共有が停止します。
権限	<p>パートナーに付与したい、共有グループに対する権限をドロップダウンリストから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [読み取り]: パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、このグループ内のコンピュータおよびパートナーに接続できます。パートナーはグループに変更を加えることはできません(パートナーの削除や名前の変更、パートナーの追加など)。• [読み取り書き込み]: パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、このグループ内のコンピュータおよびパートナーに接続できます。パートナーはグループに変更を加えることができます(パートナーの削除や名前の変更、パートナーの追加など)。• フルアクセス: パートナーの[コンピュータ&パートナー]リストに共有グループが表示され、パートナーはこのグループ内のコンピュータとパートナーに接続できます。パートナーはグループに変更を加えることができます(パートナーの削除や名前の変更、パートナーの追加など)。パートナーは共有グループを再共有して、パートナーとデバイスを共有グループから自分のグループに移動することができます。アカウントに割り当てられているデバイスは、社内で別の共有グループに移動することができます。

最近の接続 新規

グループ **最近の接続** 内に、最近接続が確立された10個のコンピュータまたはパートナーが表示されます。これには、リモートコントロール接続、プレゼンテーション、ファイル転送、VPNが含まれます。

これにより、[コンピュータ&連絡先]リスト全体を検索する必要なしに、当該デバイスまたはパートナーへの接続を繰り返すことができます。



以下のプロパティがこのグループに適用されます。

- このグループは常に[コンピュータ&連絡先]リストの一番上に表示されます。
- グループの名前の変更、共有、削除、無効化を行うことはできません。
- グループには、[コンピュータ&連絡先]リストにすでに追加されているコンピュータまたはパートナーのみが含まれます。
- コンピュータまたはパートナーが[コンピュータ&連絡先]リストから削除された場合、このグループに表示されなくなります。
- このグループのコンピュータまたはパートナーに接続する場合、正規の[コンピュータ&連絡先]リストのエントリと同じ機能が使用できます。詳細は、[セクション「8.2.6 "コンピュータまたはパートナーのコンテキストメニュー"」の55ページ](#)を参照してください。

8.2.4 コンピュータ/パートナーの追加

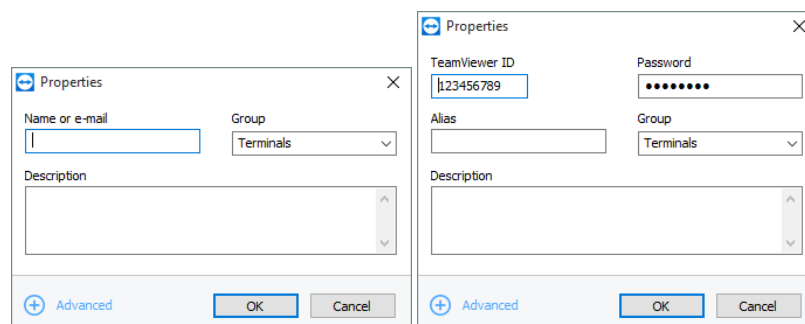
TeamViewer ID(コンピュータ)またはTeamViewerアカウント(パートナー)のいずれかを使用して、コンピュータまたはパートナーを追加できます。

パートナーには複数のコンピュータが含まれることがあります。これはパートナーが複数のTeamViewerモジュールにログインする場合です。パートナーの作成には、パートナーがどのコンピュータを使用しているも、そのパートナーに接続できるという利点もあります。

一方、TeamViewer IDは1台のコンピュータにのみ関連付けられます。そのコンピュータには接続できますが、そのコンピュータの利用者を確認することはできません。


以下の場合には、TeamViewer IDを使用して接続することをお勧めします。

- 相手がTeamViewerアカウントにログインしていない場合
- コンピュータが無人で稼働している場合(サーバーなど)
- 自分のコンピュータに接続する場合



TeamViewerアカウントおよびTeamViewer IDの両方を[コンピュータ&パートナー]に追加することができます。

新しいコンピュータ/パートナーを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 新しいコンピュータ/パートナーを追加するグループを選択します。
2.  ボタンをクリックします。



3. コンテキストメニューで、[リモートコンピュータを追加]または[パートナーの追加]オプションを選択します。

➡ [コンピュータの追加]/[パートナーの追加]ダイアログボックスが開きます。

4. 必要に応じて設定を行います。
5. [OK]ボタンをクリックします。
6. 新しいコンピュータ/パートナーが作成され、リストに表示されます。

[コンピュータの追加]/[パートナーの追加]ダイアログボックス

[コンピュータの追加]/[パートナーの追加]ダイアログボックスでは、[コンピュータ&パートナー]にコンピュータ/パートナーまたは新しいグループを追加するときに、関連する設定を行うことができます。また、このダイアログボックスでは、特定のコンピュータ、パートナー、またはグループの接続情報を保存することもできます。

以下を設定できます。

設定	説明
TeamViewer ID/名前または電子メール	このフィールドには、[コンピュータ&パートナー]に追加するパートナーのTeamViewer IDまたはアカウント名を入力します。
パスワード (TeamViewer IDの場合のみ)	TeamViewer IDを[コンピュータ&パートナー]に追加する場合、このフィールドにリモートコンピュータの個人的なパスワードを入力します。
エイリアス (TeamViewer IDの場合のみ)	このフィールドには、追加するコンピュータ/パートナーの表示名を入力します。
グループ	ドロップダウンリストからコンピュータ/パートナーの追加先のグループを選択します。
説明	コンピュータ/パートナーに関する追加情報を入力します。
詳細	このボタンをクリックすると、コンピュータ/パートナーへの接続に関連するパラメータを作成できます。

詳細プロパティ

[グループの追加]/[コンピュータの追加]/[パートナーの追加]の各ダイアログでは、詳細設定を使用して個々のコンピュータ/パートナーまたはグループ全体のパラメータを定義できます。[コンピュータ&パートナー]でいずれかのパートナーへの接続を確立すると、保存されているそのパートナーのパラメータがセッションに適用されます。




保存されているグループのパラメータは、そのグループ内のすべてのコンピュータ/パートナーに自動的に適用されます。

保存されているすべてのパラメータは、TeamViewerアカウントにリンクされます。これらのパラメータは、TeamViewerアカウントを使用してサインインしたすべてのTeamViewerで使用できます。

特定のコンピュータ、パートナー、グループの接続パラメータを保存するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerアカウントを使用して[コンピュータ&パートナー]にログインします([セクション「8.1.3」の44ページ](#))。

注： TeamViewerアカウントをアプリを搭載したデバイス上、またはブラウザで使用したことがない場合は、最初にログインしたときにアカウントの使用を認可する必要があります。詳細は、[セクション「10.9」の92ページ](#)を参照してください。

2. 目的のコンピュータ、パートナー、またはグループを右クリックします。
3. コンテキストメニューから**[プロパティ]**を選択します。
 **[プロパティ]**ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで**[詳細]**をクリックします。
5. 目的の**パラメータ**を入力します。
6. **[OK]**ボタンをクリックします。
7. これで、選択したコンピュータ、パートナー、またはグループへの接続の確立に関連したパラメータの作成は完了です。

以下のパラメータを定義できます。

パラメータ	説明	指定可能な値
リモート画面解像度	ドロップダウンリストから接続時のリモートコンピュータの画面解像度を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • 変更不可 • 最適
フルスクリーン	ドロップダウンリストから、接続時にリモートコンピュータの画面を全画面で表示するかどうかを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • ウィンドウ表示 • 全画面 • 最大化



パラメータ	説明	指定可能な値
最適化	ドロップダウンリストから接続時のリモートコンピュータの画面の表示方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • 最適 • 拡大 • 100%(原寸)
画質	ドロップダウンリストから接続時の画質を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • 自動 • 速度の最適化 • 画質の最適化 • カスタム設定
初期モニター	ドロップダウンリストから接続時に最初に送信するモニターを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • プライマリモニター • すべてのモニター • モニターX
認証モード	ドロップダウンリストから接続時のリモートコンピュータへのログオン方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • TeamViewer 認証 • Windows 認証
リモート入力	ドロップダウンリストから、接続時のパートナーによるリモートコンピュータの操作およびリモートコンピュータの画面の表示を許可するかどうかを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • (継承) • リモート入力を有効にする • リモート入力を無効にする • リモート入力の無効化とブラックスクリーンの表示



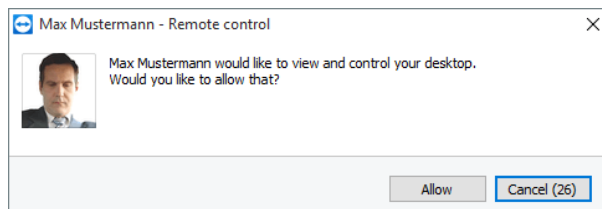
8.2.5 [コンピュータ&パートナー]からのクイック接続の確立-接続要求

確認のプロンプトを使用した接続では、パスワードなしで接続できます。その代わりに、TeamViewerは直接の接続リクエストを送信します。接続パートナーは、接続に同意するか、または拒否することができます。

接続要求を使用して接続を確立するには、以下の手順を実行します。

1. [コンピュータ&パートナー]でパートナーを選択します。
2. (右クリックして)コンテキストメニューから[リモートコントロール(確認のプロンプト)]または[プレゼンテーション(確認のプロンプト)]を選択します。

➡ 接続要求のダイアログボックスがパートナーのコンピュータに表示されます。パートナーは[許可]をクリックして、アクセスを承認できます。



会議への参加をダイアログで確認できます。

3. これで接続が確立されます。

注：また、この接続タイプを使用して、コンピュータへの接続を確立することもできます。

8.2.6 コンピュータまたはパートナーのコンテキストメニュー







コンピュータ/パートナーを右クリックすると、コンピュータまたはパートナーのコンテキストメニューにアクセスできます。

コンピュータまたはパートナーの種類によっては、使用できない機能があります。

コンテキストメニューでは、以下の機能が提供されます。

機能	説明
リモートコントロール(確認のプロンプト)	パスワードを要求せずにパートナーへの接続を開始します(セクション「8.2.5」の55ページ)。
プレゼンテーション(確認のプロンプト)	



機能	説明
リモートコントロール(パスワードを使用) ファイル転送 () VPN ()	コンピュータ/パートナーに応じた接続を確立します(<u>セクション「6」の33ページ</u>)。
ビデオ通話(確認のプロンプト)	パートナーとのビデオ会議を開始します(<u>セクション「9.2」の69ページ</u>)。
 メッセージを送信	チャットウィンドウを開きます(<u>セクション「8.2.7」の57ページ</u>)。
 ファイルを送信	Windowsダイアログボックスが開き、選択したパートナーにファイルを送信できます(<u>セクション「5.3」の31ページ</u>)。
 ファイルの転送	ファイル転送接続モードを使用して接続を確立します(<u>セクション「5」の28ページ</u> を参照してください)。
起動	Wake-on-LANを使用してコンピュータを起動します。この機能は、オフラインコンピュータに対してのみ有効で、この機能を使用するには最初に設定が必要です。詳細については、『TeamViewerマニュアル - Wake-on-LAN』を参照してください。
 詳細...	<ul style="list-style-type: none"> ・ [アカウントに割り当て...]: アカウントにコンピュータを割り当てます(<u>セクション「8.2.8」の60ページ</u>)。 ・ [削除]: コンピュータ/パートナーを完全に削除します。 ・ [共有]: [共有]ダイアログボックスを開きます(<u>セクション「8.2.3」の49ページ</u>)。 ・ [プロパティ]: [プロパティ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、[コンピュータ/パートナーの追加]ダイアログボックスと同じ機能を提供します(<u>セクション「8.2.4」の51ページ</u>)。
アラート	組み込み型システム正常性チェックの警告メッセージ (<u>セクション「8.4」の66ページ</u>)。



機能	説明
通知	TeamViewerアカウントに関係のあるメッセージおよびニュース(セクション「8.2.9」の62ページ)。

8.2.7 [コンピュータ&パートナー]上 チャット 機能

リスト内のコンピュータ/パートナーにメッセージを送信できます。コンピュータ/パートナーが現在オンラインでない場合は、コンピュータの場合はTeamViewerの起動後すぐに、パートナーの場合はTeamViewerアカウントへのログイン後すぐにメッセージが送信されます。


コンピュータ/パートナーがオンラインである場合は、即座にメッセージを受信し、リアルタイムのチャットを開始できます。

さらに、チャットウィンドウ内から多くの便利な機能をそのまま利用できます。


注: TeamViewerチャットは、エンドツーエンドで暗号化されています。

注: 最大25人の参加者がグループチャットに参加できます。

コンピュータ/パートナーにメッセージを送信するには、以下の手順を実行します。

1. 目的のコンピュータまたはパートナーのコンテキストメニューを開きます(コンピュータ/パートナーを右クリック)。
2.  アイコンをクリックします。
➡ **[チャット]**ダイアログボックスが開きます。
3. 下部の入力フィールドにメッセージを入力します。
4. キーボードのRETURNキーを有効にします。
➡ 入力したメッセージが上部に表示され、コンピュータ/パートナーに送信されます。
5. コンピュータ/パートナーがオンラインの場合は、パートナーはメッセージに直接返信することができます。パートナーにさらにメッセージを送ることもできます。




注: コンピュータにメッセージを送信するには、事前にこのコンピュータへの安全な接続を確立しておく必要があります。

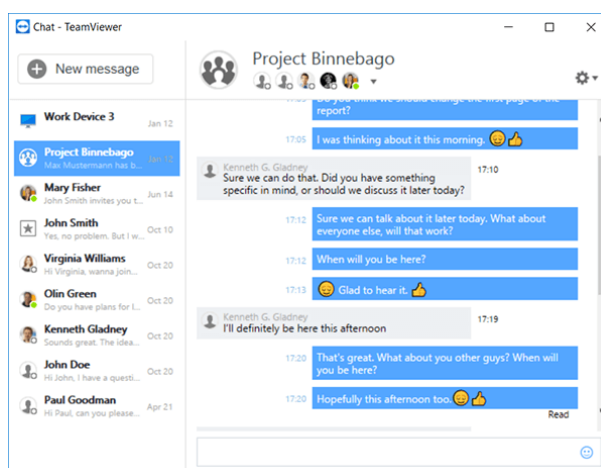
ヒント: または、[コンピュータ&連絡先]リストの  アイコンを使用してTeamViewerチャットを開くことができます。



ヒント: 新しいユーザーインターフェースを有効にした場合 (セクション「2.2」の7ページ)、メインウィンドウのナビゲーションでチャットを開くことができます。これを行うには、ナビゲーションで[チャット]を選択します。

グループチャットを開始するには、以下の手順に従います。

1. [コンピュータ&連絡先]リストの  アイコンをクリックします。
 [チャット]ダイアログボックスが開きます。
2. [新規メッセージ]ボタンをクリックします。
3. 目的のパートナー名を入力します。
 1. ドロップダウンリストから名前を選択します。
 2. RETURNを押すかパートナーをクリックして、選択を確定します。
4. テキストフィールド内をクリックしてメッセージを書き込みます。ENTERで入力を確認します。
 選択されたパートナーがメッセージを受信し、会話に参加することができます。



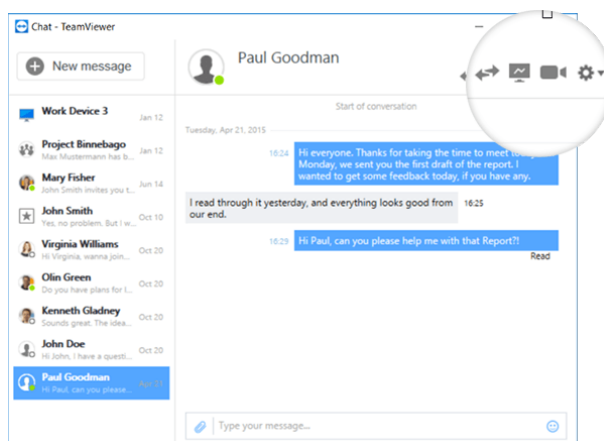
TeamViewerグループチャットの開始。

注: コンピュータ/パートナーがオフラインの場合、ダイアログボックスが閉じられても、そのパートナーに送信されたすべてのメッセージは再ログイン後に受信します。

注: 複数の参加者とのチャットは、パートナーとのみ可能です。





チャットウィンドウ内で行可能な操作

チャットウィンドウには、コンピュータおよびパートナーとの、またはグループ内のすべてのチャットが表示されます。チャットを選択して、チャットパートナーにメッセージを送信します。






チャットウィンドウからTeamViewer接続を開始できます。

チャットウィンドウ内では、チャット相手と使用できるとの対話用のその他のチャット機能呼び出すことができます。グループチャットの場合、コンピュータやパートナーとのチャットよりも機能に制限があります。

メニュー	説明
 新しいメッセージ	<p>ボタンをクリックしてコンピュータまたは連絡先にメッセージを送信します。その後、受信者の名前を入力します。ENTERで入力を確認します。</p>
 リモートコントロール(確認のプロンプト)	<p>アイコンをクリックすると、チャットパートナーへのリモートコントロールセッションが確立されます。参加者がリクエストを承認するする必要があります。</p>
 プレゼンテーション(確認のプロンプト)	<p>アイコンをクリックすると、チャットパートナーとのオンライン会議が開始されます。自分の画面の内容が公開されます。参加者がリクエストを承認するする必要があります。</p>
 ビデオ通話(確認のプロンプト)	<p>アイコンをクリックすると、チャットパートナーとのビデオ通話が開始されます。参加者がリクエストを承認するする必要があります。</p>



メニュー	説明
	<p>シンボルをクリックすると、現在のチャットに使用できる追加オプションを呼び出すことができます。</p> <p>以下のオプションから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [参加者を追加...]: 他のコンピュータまたはパートナーをグループチャットに招待します。参加者がリクエストを承認する必要があります。 • [会話の名前を変更...]: グループチャットの名前を変更します。このオプションは、グループチャットでのみ使用できます。 • [会話を削除...]: 現在のチャット内容を削除します。チャット内容がチャットウィンドウから削除され、チャット履歴は削除されます。 • [チャット履歴を削除...]: 現在のチャット履歴を削除します。チャットパートナー側のチャット履歴には適用されません。 • 通知の表示: この会話内でメッセージに対するポップアップ通知を受け取るためのオプションを有効にします。
 <p>ファイルを送信</p>	<p>アイコンをクリックしてファイルをチャットパートナーに送信します。参加者がリクエストを承認する必要があります。</p> <p>ファイルは、コンピュータ上またはパートナーのデバイスの C:\Users\%username%\Downloadsにあるダウンロードフォルダに保存されます。</p>
 <p>絵文字</p>	<p>アイコンをクリックして、絵文字の選択を開始します。絵文字をクリックして、テキストフィールドに挿入します。</p>

8.2.8 コンピュータをTeamViewerアカウントに割り当て

一部のTeamViewer機能では、作業中のコンピュータが自分に属していることを保証する必要があります。そのため、次の機能を使用するには、コンピュータを自分のTeamViewerアカウントに割り当てる必要があります。

- 組み込みのシステム正常性チェックによるモニタリング ([セクション「8.4」の66ページ](#))。
- Wake-on-LAN ([『TeamViewerマニュアル- Wake-on-LAN』を参照](#))
- ITbrainによるリモートモニタリングと資産管理
- パスワードなしの簡易アクセス ([セクション「7.4」の38ページ](#))。
- TeamViewerの設定のポリシー ([セクション「13.10」の128ページ](#))。

コンピュータを割り当てるには、2通りの方法があります。ローカルでTeamViewerのオプションを使用する方法と、リモートで[コンピュータ&パートナー]リストを使用する方法です。



ローカルでコンピュータをTeamViewerアカウントに割り当て

ローカルでコンピュータのTeamViewerオプションにより、たとえばWake-on-LANを使用して起動したいコンピュータをTeamViewerアカウントに割り当てます。この方法では、[コンピュータ&パートナー]リスト内にな
いアカウントにコンピュータを割り当てることもできます。

コンピュータをTeamViewerアカウントに割り当てるには、次の手順に従います。

1. TeamViewerを開きます。
2. メニューバーで[その他|オプション]をクリックします。
➡ [TeamViewerのオプション]ダイアログが開きます。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [アカウント割り当て]で、[アカウントに割り当て...]ボタンをクリックします。
➡ [アカウントに割り当て]ダイアログボックスが開きます。
5. TeamViewerアカウントの電子メールアドレスを[電子メール]テキストフィールドに入力します。
6. TeamViewerアカウントのパスワードを[パスワード]テキストフィールドに入力します。
7. [割り当て] ボタンをクリックします。
➡ コンピュータが[コンピュータ&パートナー]リストに含まれていない場合は、これに追加されます。
8. コンピュータがTeamViewerアカウントに割り当てられます。

リモートでコンピュータをTeamViewerアカウントに割り当て

コンテキストメニューを使用して、たとえばWake-on-LANを使用して起動したい[コンピュータ&パートナー]
リスト内のコンピュータをTeamViewerアカウントに割り当てます。割り当てるコンピュータは、[コンピュータ&
パートナー]リスト内にあり、無人アクセス用に構成されている必要があります。この方法により、そのコン
ピュータに物理的にアクセスする必要がなくなります。

リモートコンピュータをTeamViewerアカウントに割り当てるには、次の手順に従います。

1. [コンピュータ&パートナー]リストで割り当てるコンピュータを選択します。
2. コンテキストメニュー(右クリック)で、[今すぐ割り当て]ボタンをクリックします。
➡ [アカウントに割り当て]ダイアログボックスが開きます。
3. [パスワード]テキストフィールドで、コンピュータへの無人アクセス用の個人的なパスワードを入力し
ます。
4. [割り当て] ボタンをクリックします。
5. コンピュータがTeamViewerアカウントに割り当てられます。



8.2.9 通知

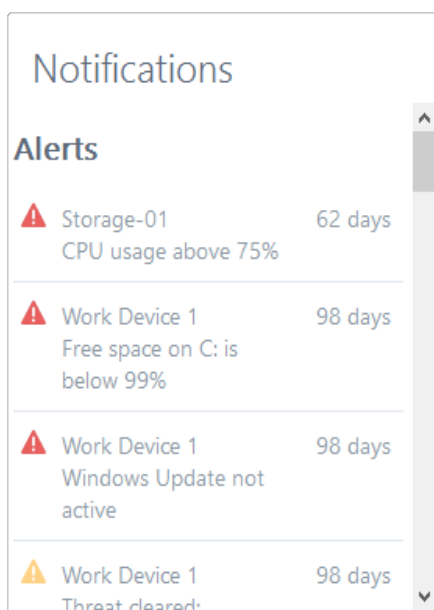
すべてのメッセージおよびニュースがまとめて収集され、[コンピュータ&パートナー]リスト内の通知に表示されます。

通知はTeamViewerアカウントにリンクされているため、TeamViewerアカウントでログインすればどこからでも確認できます。


➡ [コンピュータ&パートナー]リストの  アイコンを使用して通知を開始します。

通知は次のイベントに対して表示されます。

- 新たに作成されたサポート案件
- 自分に割り当てられたサポート案件
- [コンピュータ&パートナー]リストに対する新しいパートナー認証のリクエスト要求
- TeamViewerでの組み込み型のシステム正常性チェックのアラートメッセージ
- 現在のITbrain警告通知。の詳細については、『TeamViewerマニュアル- Management Console』を参照してください。
- パートナーがグループを共有したい場合



[コンピュータ&パートナー]リスト内の[通知]ダイアログ

各通知の行の最後にある  アイコンをクリックすると、コンテキストメニューが開きます。

これには自分の[コンピュータ&パートナー]リスト内でも開くことのできるすべての機能が含まれます。

- アラートでは、アラートの原因となるをトリガしたコンピュータのコンテキストメニューを開くことができます。
- 待機案件では、サポート案件のコンテキストメニューを開くことができます。



- ・ パートナーでは、パートナー認証のリクエストを処理できます。
- ・ グループでは、**[共有グループ]**のリクエストを処理できます。



8.3 サポート 案件

サポート案件を使用してチーム内での自動的なカスタマーサポートをアレンジできます。各サポート案件には次の情報が含まれます。サポート案件を要求した人の名前と電子メール、問題の説明、リモートセッションを開始するためのセッションコードおよびサポート案件をリクエストした人との会議またはチャットボックス。サポート案件は待機案件のコンポーネントです。待機案件の詳細については、『*TeamViewer マニュアル— Management Console*』を参照してください。

サポート案件は通常、顧客がサポートを必要とする場合に作成します。作成後、接続パートナー(顧客)に招待メールを送信できます。[コンピュータ&パートナー]リストでこの機能を使用すると、TeamViewer IDとパスワードを入力せずに、パートナーに接続したり[コンピュータ&パートナー]リストの他の機能を開いたりすることができます。

8.3.1 サポート 案件の作成

サポート案件を作成するには、次の手順に従います。

1. TeamViewerアカウント内でコンピュータ&パートナーリストにログインします([セクション「8.1.3」の44ページ](#))。
2. サポート案件を追加するグループを選択します。
3.  ボタンをクリックします。
4. コンテキストメニューで、**[セッションコードを作成]**オプションを選択します。
 サポート案件のプロパティを含むポップアップが開きます。
5. サポート案件の名前を入力します。
6. サポート案件のメールアドレスを入力します(通常はリクエストを行った人のメールアドレス)。
7. 説明を入力します。
8. これでサポート案件が作成されました。

注: 別の方法として、グループのコンテキストメニュー(右クリック)からサポート案件を作成することもできます。

作成したサポート案件はデフォルトで自分に割り当てられます。ただし、サポート案件を別の担当者に割り当てることもできます。これにより、顧客からのリクエストを受け、サポート案件を[コンピュータ&パートナー]リスト内のパートナーに割り当てることができます。サポート案件は、サポート案件が配置されているグループを共有しているパートナーにのみ割り当てることができます。



使用例: この手順の簡単な例を説明するために、サポート案件用に新規グループを作成します。このグループを顧客からリクエストを受けるパートナーと共有します。このグループ内に顧客のリクエストからすべてのサポート案件を作成します。個々のサポート案件をパートナーに割り当てます。その後、各パートナーは顧客とのチャットや、顧客とのリモートコントロールセッションのセットアップにより、顧客のリクエストに個別に対応できます。

サポート案件をパートナーに割り当てるには、次の手順に従います。

1. サポート案件のコンテキストメニュー(右クリック)を開きます。
2. 名前の下<アカウント名>[に割り当て済み]にマウスを移動します。
3. アイコンをクリックします。

[担当者]ダイアログボックスが開きます。

4. **[アカウント]**ドロップダウンリストからサポート案件を割り当てるパートナーを選択します。
5. **[割り当て]** ボタンをクリックします。

サポート案件を割り当てられたパートナーが通知を受信し、サポート案件のアイコンが変更されます。

6. これでサポート案件がパートナーに割り当てられました。

ヒント: TeamViewer Management Console (<https://login.teamviewer.com>)でカスタムQuickSupportまたはホストモジュールを設定して、モジュールの開始と同時にサポート案件を自動的に作成することができます。詳細は、<https://www.teamviewer.com/support/documents/>の『TeamViewerマニュアル – Management Console』を参照してください。

8.3.2 サポート案件での作業

サポート案件が自分に割り当てられると、顧客をセッションに招待できるようになります。顧客は、フォーラムのリンク<https://get.teamviewer.com/v13/s12345678>を使用してセッションに接続できます。

サポート案件を使用して別の人をセッションに招待するには、次の手順に従います。

1. サポート案件のコンテキストメニュー(右クリック)を開きます。
2. **[招待...]**ボタンをクリックします。

[パートナーを招待]ダイアログが開きます。




3. 必要に応じてメッセージテキストを調整します。
4. 招待メッセージを送信します。
 - 標準の電子メールプログラムでメッセージを送信するには、**[電子メールとして開く]**ボタンをクリックします。



- ・メッセージをクリップボードにコピーして他のチャンネル経由で配布するには、**[クリップボードにコピー]**ボタンをクリックします。
- ・招待メッセージからセッションリンクをコピーし、それを接続パートナーに転送します。


5. サポート案件を使用してセッションに招待する必要があります。

顧客がセッションリンクをクリックしてセッションに接続するとすぐに、サポート案件のアイコン記号が緑で表示され、通知ポップアップが画面の右下に表示されます。これでサポート案件を処理できるようになります。サポート案件のコンテキストメニュー(右クリック)から次のオプションを使用できます。

- ・パートナーのコンピュータ上で直接問題を解決するために、接続パートナーに対するリモートコントロールセッションを作成します。
これを行うには、**[リモートコントロール(確認のプロンプト)]**ボタンをクリックします。
- ・会議を開始し、接続パートナーに状況を説明できます。
これを行うには、**[プレゼンテーション(確認のプロンプト)]**ボタンをクリックします。
- ・簡単な問題を迅速に解決できるようにする場合は、接続パートナーとチャット機能でリクエストに対応することもできます。
これを行うには、 アイコンをクリックします。
- ・接続パートナーに、マニュアルやよくある質問をまとめた説明書などのファイルを送信します。
これを行うには、 アイコンをクリックします。
- ・接続パートナーに、マニュアルやよくある質問をまとめた説明書などのファイルを送信します。
これを行うには、 アイコンをクリックします。

セッションの終了後にサポート案件を終了します。問題が解決され、追加のセッションが必要ない場合は、セッションが終了後にサポート案件を終了します。

サポート案件を終了するには、以下の手順に従います。





1. サポート案件のコンテキストメニュー(右クリック)を開きます。
2. **[終了]**リンクをクリックします。
 [コンピュータ&パートナー]リストからサポート案件が消えます。
3. これでサポート案件が終了しました。その後は使用できなくなります。

8.3.3 サポート案件のステータス

サポート案件のステータスは案件の左横にあるアイコンによって示されます。

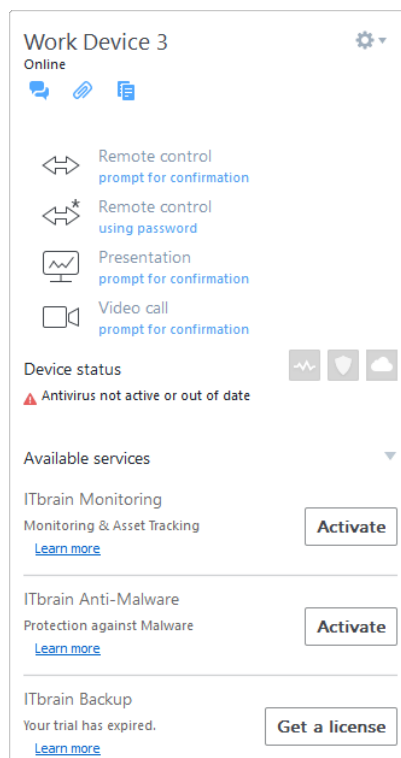


ア 説明
イ
コ
ン/

-
-  サポート案件は自分に割り当てられています。接続パートナーがセッションに接続するまでお待ちください。
-
-  サポート案件はパートナーに割り当てられています。パートナーがこの案件を処理できます。パートナーは、接続パートナーがセッションに接続するまで待ちます。
-
-  サポート案件はパートナーに割り当てられています。パートナーがこの案件を処理できます。接続パートナーがセッションに接続しました。
-
-  サポート案件は自分に割り当てられており、接続パートナーはセッションに接続済みです。サポート案件のコンテキストメニューから上記オプションのいずれかを選択してください。

8.4 組み込みのシステム正常性チェック

またTeamViewerは、リモートモニタリングを介してデバイスの重要なソフトウェアやハードウェアのプロパティをリモートでチェックできる機能も備えています。



コンピュータのコンテキストメニューでリモートモニタリングのすべてのアラートメッセージを確認できます。

TeamViewerは組み込み型システム正常性チェックを提供しており、個人使用のお客様またはTeamViewer 8以降のライセンスを所有するお客様は無償でお使いいただけます。[コンピュータ&パートナー]リストでは、これらのチェックのうちの4つを使用できます。

- **ディスク空き容量:** ハードディスクの空き容量が10%を下回った場合にアラートします。
- **Windows Update:** Windows Updateが無効になっている場合にアラートします。
- **ウイルス対策ソフトウェア:** ウィルス対策ソフトウェアがインストールされていないか有効期限が切れている場合にアラートします。
- **Windowsファイアウォール:** Windowsファイアウォールが無効になっている場合にアラートします。

リモートモニタリングを使用してコンピュータをチェックするには、このコンピュータのオプションで組み込みのシステムチェックを有効にする必要があります。セクション「8.2.8」の60ページの説明に従って、このコンピュータもTeamViewerアカウントに割り当てられている必要があります。

組み込みのシステムチェックを有効にするには、次の手順に従います。

1. TeamViewerを開きます。
2. メニューバーで[その他|オプション]をクリックします。
➡ [TeamViewerのオプション]ダイアログが開きます。
3. [詳細]カテゴリを選択します。
4. [詳細な全般設定]で、[組み込みのシステム正常性チェック]の欄にチェックを入れます。



- これでこのコンピュータに対して組み込みのシステム正常性チェックが有効になり、正常性を確認できるようになります。


8.4.1 アラートメッセージ


各チェック後、アラートメッセージは通知だけでなく、監視対象のコンピュータのコンテキストメニューにも表示されます。


監視対象のコンピュータのステータスは、アイコンの違いによって区別されます。

ア 説明

イ
コ
ン/

 監視対象のコンピュータは問題なく動作しており、システムチェックでアラートメッセージは生成されませんでした。

 監視対象のコンピュータで1つ以上のアラートメッセージが生成されました。これらはコンピュータのコンテキストメニューに表示されます。

 監視対象のコンピュータで1つ以上のアラートメッセージが生成されましたが、これらはすでに確認済みです。これは、自分またはコンピュータを共有している1人のパートナーが、監視対象のコンピュータのコンテキストメニューでアラートメッセージを確認したことを意味します。

問題を確認して不具合を修正できた場合は、アラートメッセージをクリックした後、**[確認]**オプションを選択してください。これで、**[今すぐチェック]**オプションを使用して、前述のコンピュータですべてが問題なく機能しているかどうかをチェックできます。

組み込み型システム正常性チェックおよびITbrainによる拡張オプションの詳細については、『TeamViewer マニュアル— Management Console』を参照してください。






9 マルチメディア機能

VoiP、マイビデオ、チャット、電話会議、ファイルボックスなど、リモートコントロールセッションで使用できるマルチメディア機能の概要を説明します。

9.1 [セッションリスト]内のオプション

[セッションリスト]ウィジェットでは、接続参加者のTeamViewer IDおよび名前が表示され、以下の機能を使用できます。

機能	説明
 パートナーと役割を交代	リモートコントロールセッションの方向が入れ替わり、パートナーがこちらのコンピュータを操作できるようになります。(接続の開始者がすでに方向を変更済みである場合にだけ使用可能です。)
 リモート入力を有効にする	リモートコンピュータ上のキーボードとマウスによる入力を許可または禁止します。
 その他のオプション	ここで詳細な接続情報を表示できます(セクション「10.4」の86ページ)。また、接続を終了することもできます。追加のオプションとして、[チャットメッセージを送信]を選択して[チャット]ウィジェットを開くこともできます。

9.2 パートナーへのWebカメラ動画の送信

TeamViewerのビデオ会議を使用して、[コンピュータ&パートナー]リストからパートナーとのビデオ通話を開始します。ビデオ通話は事前の接続なしに使用できますが、オンライン会議やリモートコントロールセッ



ションで呼び出すこともできます。

注: TeamViewerによるビデオ会議はエンドツーエンドで暗号化されます。

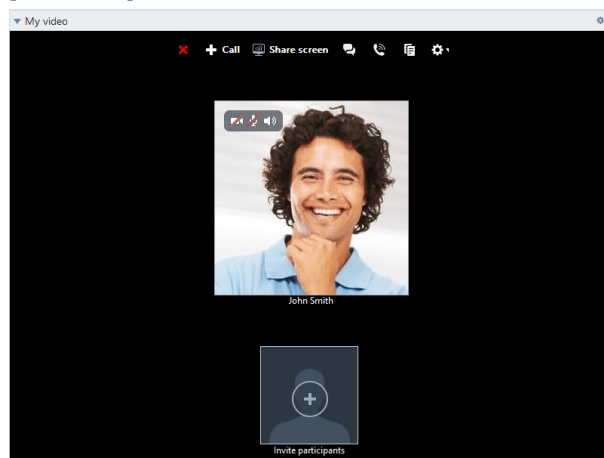
9.2.1 動画をパートナーに送信する方法


パートナーが音声だけでなく映像も必要とする場合は、Webカメラを使用して動画を送信できます。以下に、動画をパートナーに送信する手順を示します。

動画をパートナーに送信するには、以下の手順を実行します。


1. 実行中のセッション中に、[リモートコントロール]ウィンドウで、[通信|ビデオ]をクリックします。

➡ [マイビデオ]ウィジェットが開きます。




2. プロフィール画像にマウスを移動して、アイコンをクリックします。

➡ Webカメラ動画が送信されます。

3. Webカメラ動画の送信を停止するには、アイコンをクリックします。

動画オプション

動画のオプションを使用すると、カメラの設定を変更できます。これを行うには、ウィジェットの見出しにあるアイコンをクリックします。

送信する動画のサイズを変更するか、[動画設定]を選択して詳細な動画のオプションを表示します。

➡ 動画のオプションが表示されます ([セクション「13.7」の119ページ](#))。

9.3 VoIPまたは電話会議を使用したパートナーとの会話

リモートコントロールセッションで接続パートナーと会話するには、音声ウィジェットを使用します。VoIPと電話会議のどちらを使用するかを選択します。




9.3.1 VoIP

Voice over IP (VoIP)では、電話は必要なく、マウスを数回クリックするだけでパートナーと生で話ができます。この場合、ヘッドセットの使用をお勧めします。

音声をパートナーに送信するには、以下の手順を実行します。

1. 実行中のセッション中に、[リモートコントロール]ウィンドウで、**[通信]**をクリックします。
2. 電話会議グループでインターネットを使用した電話を選択します。
3. **[インターネット電話]**ボタンをクリックして、音声の伝送を開始します。
 - スピーカとマイクの音量を調整するには、**[マイクのミュート]**の隣にある矢印をクリックします。
4. マイクを無効にするには、**[マイクのミュート]**をクリックします。

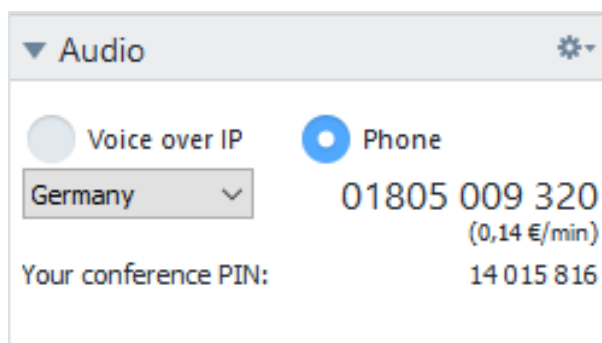
音声オプション

➡ 音声のオプションにアクセスするには、ウィジェットの見出しにある  アイコンをクリックし、**[音声設定]**オプションを選択します(セクション「13.6」の118ページ)。

ヒント: または、[リモートコントロール]ウィンドウでのセッション中に、**[通信 | インターネット電話を開始]**の隣にある矢印をクリックした後、**[音声設定]**をクリックします。

9.3.2 電話

参加者がヘッドセットを所持していない場合、VoIPの代わりに電話会議を開催することができます。



[電話会議]ウィジェット

電話会議を開始するには、以下の手順を実行します。

1. 実行中のセッション中に、[リモートコントロール]ウィンドウで、**[通信]**をクリックします。
2. 電話会議グループで電話オプションを選択します。
3. 電話の詳細をクリックします。
4. 場所(国)を選択します。

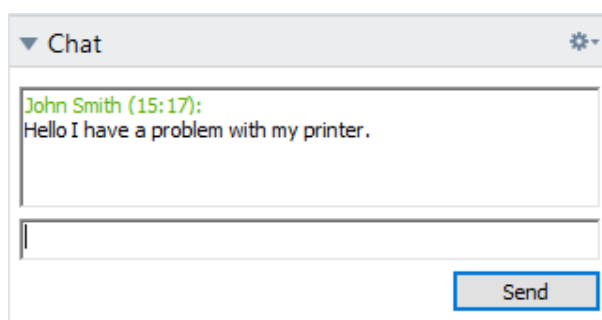


5. 会議用のPINを生成するには、**[こちらで検索してください]**リンクをクリックします。
6. PINの上に表示されるサービス番号に電話します。
➡ 電話のキーパッドを使用して会議用のPINを入力するように求められます。
7. **会議PIN**を入力します。
8. 同じPINを使用して電話会議に参加しているすべての参加者に即座に接続されます。

オーガナイザとして、自分の電話会議データを指定することができます。これは、**[電話会議の設定]**ダイアログでテキストフィールドに目的のデータを入力するだけで簡単に行うことができます。


9.4 TeamViewerセッションでのパートナーとのチャット

[チャット]ウィジェットでは、セッション中にテキストを使用してパートナーと対話できます。



[チャット]ウィジェット

- ➡ チャットを開始するには、セッション中に**[通信|チャット]**をクリックします。

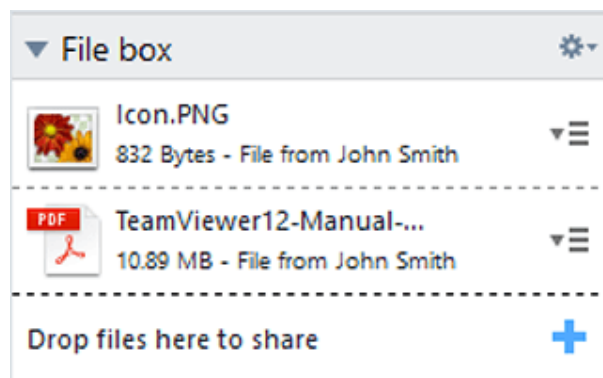
開かれるウィンドウで直接チャットするか、チャットウィジェットを開きます。ウィジェットの見出しにある  アイコンをクリックすると、チャットをテキストファイル形式で保存できます。

このウィジェットの機能は、インスタントメッセージプログラムと非常に似ています。


9.5 TeamViewerセッションでのファイルの共有

セッションの参加者は、**[ファイルボックス]**ウィジェットを介して相互にファイルを共有できます。

- ➡ ファイルボックスを(セッション中に)開くには、[リモートコントロール]ウィンドウで、**[ファイルおよびその他|ファイルボックスを使用して共有]**をクリックします。



[ファイルボックス]ウィジェット

ファイルを共有するには、目的のファイルをウィジェット内にドラッグ&ドロップするか、アイコンをクリックし、Windowsの[ファイルを開く]ダイアログボックスを使用してファイルを選択します。

ファイルを共有したら、そのファイルの横にある▼≡アイコンをクリックしてコンテキストメニューから目的のオプションを選択することで、そのファイルまたはそのファイルを格納するフォルダを開くことができます。リモートコンピュータでは、共有ファイルがウィジェットに表示され、▼≡アイコンをクリックしてそのファイルをダウンロードすることができます。

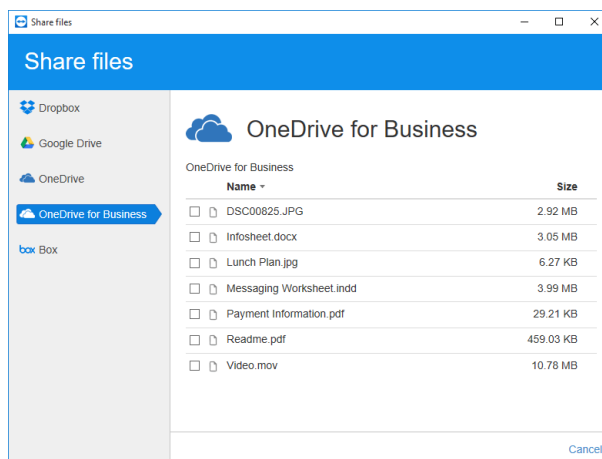
ウィジェットから共有ファイルを削除するには、コンテキストメニューの[ファイルボックスからの削除]オプションを選択します。

ヒント: ウィジェット内でファイルをダブルクリックすると、[開く]または[名前を付けて保存...]オプションにアクセスできます。

9.5.1 クラウドストレージからのファイル転送

[ファイルボックス]ウィジェットを使用して、デバイスからのファイルに加えて、さまざまなクラウドサービスからのファイルも接続パートナーと共有することができます。

たとえば、この機能を使用して同じデータを会議の参加者と繰り返し共有することができ、毎回ファイルボックスに再読み込みの必要がなくなります。



クラウドストレージサービスにあるファイルを接続パートナーと共有

次のクラウドストレージサービスが組み込まれています。

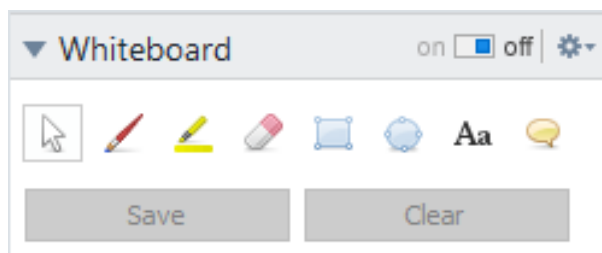
- Dropbox
- Google Drive
- OneDrive/OneDrive for Business
- Box

クラウドストレージサービスのファイルをファイルボックスで共有するには、以下の手順に従います。

1. [リモートコントロール]ウィンドウで、[ファイルおよびその他]をクリックします。
2. [ファイルボックスを使用して共有]のドロップダウンリストから、[ドロップボックス、Googleドライブ、OneDrive、ボックス...]オプションを選択します。
➡ [ファイルの共有]ダイアログが開きます。
3. クラウドストレージを選択します。
4. [ファイルを選択...]をクリックします。
5. ファイルボックス経由で共有するファイルを選択します。必要に応じて、クラウドストレージアカウントをTeamViewerに接続します。
6. [共有]ボタンをクリックします。
➡ ファイルがファイルボックスに表示されます。
7. これでクラウドメモリ(クラウドストレージサービス)にあるファイルが共有されました。

9.6 TeamViewerセッション中の画面への描画






このウィジェットは、会議の参加者全員に描画ボックスを表示します。ウィジェットは、リモートコントロールセッションのすべての参加者に描画ボックスを表示します。描画ボックスのツールを使用して、必要に応じて画面に図やテキストを書き込むことができます。






ホワイトボードウィジェットを開くには、[リモートコントロール]ウィンドウで、実行中のセッション中に[通信]ホワイトボードをクリックします。それから、ツールを選択してリモートコントロールウィンドウ内に描画します。接続パートナーも同様に画面に描画できます。

[保存]ボタンを使用して、描画内容をスクリーンショットとして保存できます。[消去]ボタンをクリックすると、すべての描画内容が消去されます。

以下のツールを使用できます。

ツール	説明
on <input type="checkbox"/> off 有効化/ 無効化	以前のすべての描画内容の表示/非表示、および参加者による描画の許可/禁止を切り替えることができます。
 コントロール モード	描画モードを一時停止し、コンピュータを手動で操作できます。デスクトップを右クリックしても同じ設定を実行できます。
 ペン	フリーハンドで描画できます。ペンの色とサイズを選択できます。
 マーカー	テキストを強調表示できます。ペンの色とサイズを選択できます。
 消しゴム	描画を部分的に消去できます。アイコンを右クリックすると、消しゴムのサイズを調整できます。
 長方形	四角形を描画できます。アイコンを右クリックすると、枠線と内部の色および枠線の太さを指定できます。CTRLキーを押しながら描画すると、正方形を描画できます。SHIFTキーを押しながら描画すると、長方形を描画できます。CTRL+SHIFTキーを押しながら描画すると、同心四角形を描画できます。



ツール	説明
 楕円	楕円を描画できます。アイコンを右クリックすると、枠線と内部の色および枠線の太さを指定できます。CTRLキーを押しながら描画すると、円を描画できます。SHIFTキーを押しながら描画すると、楕円を描画できます。CTRL+SHIFTキーを押しながら描画すると、同心円を描画できます。
 テキスト	テキストを書き込むことができます。アイコンを右クリックすると、フォントのサイズ、色、種類を指定できます。
 スピーチ バブル	吹き出しを描画できます。吹き出しを作成する場所をクリックします。テキストを入力してからもう一度クリックすると、吹き出しの向きを設定できます。アイコンを右クリックすると、フォントのサイズ、色、種類を指定できます。

9.7 音声と動画の送信

TeamViewerを使用して、リモートコンピュータからローカルコンピュータに動画と音声を送信できます。

TeamViewerは高速に動く画像がリモートコンピュータにいつ表示されるかを認識し、それに応じて動画送信を最適化します。たとえば、リモートコンピュータで動画が再生されている場合、その動画を自分のコンピュータにリアルタイムで表示することもできます。

音声送信により、たとえば、リモートコンピュータで再生されているシステム音声や音楽を自分のコンピュータで聴くことができます。

現在のセッション中に[リモートコントロール]ウィンドウで[通信|コンピュータサウンド]オプションを無効にしてコンピュータサウンドの伝送を停止するか、設定でデフォルトでオフにすることができます(セクション「13.3」の113ページ)。

動画送信の最適化は、設定で無効にすることができます(セクション「13.3」の113ページ)。

注：可能な最高品質の送信を実現するには、ローカルネットワークまたは高帯域幅の接続にする必要があります。

9.8 TeamViewerセッションの記録

リモートコントロールセッションを記録し、動画ファイルとして保存することができます。このファイルは、TeamViewer独自のTVSファイル形式で保存されます。

画面コンテンツとリモートコンピュータの音声、およびWebカメラ動画とVoIPが記録されます。

注：すべてのセッションを自動的に記録するには、メインウィンドウの[その他|オプション]で[リモートコントロール|リモートコントロールセッションの自動記録]を選択します。これにより手動で記録を開始する必要がなくなります。[詳細]カテゴリのオプションでセッションを記録するディレクトリを指定します。



注：リモートコンピュータのWebカメラ動画とVoIPを記録できるようにするには、個々の接続パートナーが許可する必要があります。

セッションを記録するには、以下の手順を実行します。

1. [リモートコントロール]ウィンドウで、セッション中に**[ファイルおよびその他 | セッションの記録を開始]**をクリックして記録を開始します。

➡ メニューバーの右隣に、点滅する記録アイコンが表示されます。

2. 記録を停止します。以下のオプションから選択します。
 - [記録]アイコンをクリックした後で、**[停止 & 保存]**をクリックします。
 - **[ファイル&その他 | 記録の停止]**をクリックします。
 - セッションを終了します。

➡ 宛先フォルダを選択していなかった場合は、ダイアログボックスが開き、ファイルの保存先を指定するように求められます。

ヒント：TeamViewer Management Console (<https://login.teamviewer.com>)で、TeamViewerセッションがデフォルトで記録されるよう、TeamViewerポリシーをセットアップすることができます。これは、TeamViewer Management ConsoleでTeamViewerポリシーが割り当てられているすべてのデバイスに適用されます。詳細は、<https://www.teamviewer.com/support/documents/>の『TeamViewerマニュアル—Management Console』を参照してください。

記録したセッションを再生するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerのメインウィンドウのメニューバーで、**[その他 | 記録セッションの再生または変換...]**をクリックします。

2. 目的のファイルを選択します。

➡ **[開く]**ダイアログボックスが開きます。

3. **[開く]**ボタンをクリックします。

➡ ビデオクリップがTeamViewerで再生されます。通常の動画ファイルの再生と同様のオプションを使用できます。



ヒント：Windowsエクスプローラでファイルをダブルクリックして再生します。この場合、TeamViewerが自動的に起動し、記録されたセッションが再生されます。

記録したTeamViewerセッションのAVIへの変換

記録したTeamViewerセッションを編集する場合は、AVI動画形式に変換することができます。



記録したセッションを変換するには、以下の手順を実行します。

1. 上記の記録したセッションを再生する手順を実行します。
2. **[記録セッション]**ウィンドウで、 アイコンをクリックします。
 **[開く]**ダイアログボックスが開きます。
3. 必要に応じて設定を行います。設定を行うには、ドロップダウンリストと**[設定...]**または**[参照...]**ボタンを使用します。
4. **[変換の開始]**ボタンをクリックします。
5. 選択した動画が変換されます。



10 その他の機能

10.1 アクセス権限 – TeamViewerセッションでの操作の制限

注：注：本項はIT担当者または管理者のみを対象とします。それ以外の読者はこのセクションを読む必要はありません。

10.1.1 アクセスコントロール機能

アクセスコントロールにより、TeamViewerセッションで参加者が実行できる操作を制限することができます。

自分のコンピュータまたは他のコンピュータへのリモートコントロール接続(リモートコントロール、ファイル転送、VPN)のルールを定義できます。

- **自分のコンピュータに対する操作** (自分のコンピュータに接続する他のパートナーの操作): 着信アクセスコントロールでは、自分のコンピュータに接続するパートナーの実行可能な操作を制限できます。したがって、自分のコンピュータに対して他のパートナーが実行できる操作を制限できます。たとえば、TeamViewerを操作するオプションを無効化できるため、パートナーは設定などを変更できません。着信アクセスコントロールの設定は、後述の発信アクセスコントロールと同等の機能です。
- **相手のコンピュータに対する操作** (リモートコンピュータに接続する自分の操作): 発信アクセスコントロールでは、接続を確立したときに実行可能な自分の操作を制限できます。リモートコンピュータに接続する自分の操作: 発信アクセスコントロールでは、接続を確立したときに実行可能な自分の操作を制限できます。

現在のセッションのデフォルトのアクセスモードは、**[その他|オプション]の[詳細]カテゴリ(セクション「13.9」の122ページ)**から設定できます。あるいは、接続を設定するときにデフォルト以外のモードを選択することができます。

注：以降では、発信リモートコントロールセッションでのアクセスコントロールの設定方法について説明します。通常、ファイル転送とVPNのアクセス制限も同じですが、オプションの数が少なくなります。



注：着信接続時のアクセスを制限する方法については、[セクション「13.9」の122ページ](#)。



発信接続に対しては、TeamViewerには以下のアクセスモードが用意されています。

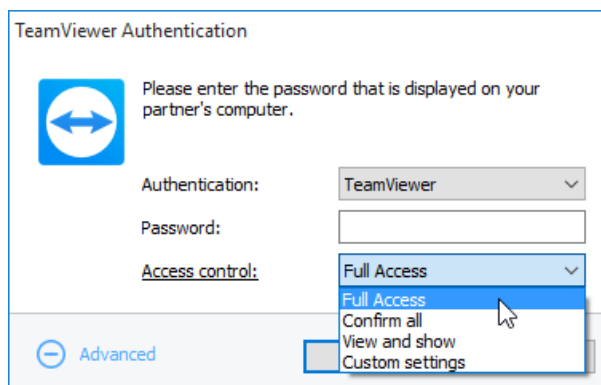
- **[フルアクセス]**: パートナーの確認なしにリモートコンピュータを操作できます。
- **[すべての確認]**: パートナーがTeamViewerのすべての操作を承認する必要があります。したがって、たとえば、パートナーの確認後に最初はデスクトップしか表示されず、以降のリモートデスクトップの操作には、さらに確認が必要になります。
- **[表示]**: パートナーによる確認後にリモートコンピュータが表示され、リモートコンピュータ上でマウスポインタを移動できます。ただし、このモードではリモートコントロールを行うことはできません。
- **[カスタム設定]**: このモードでは設定を個別にカスタマイズすることができます([セクション「10.1.2」の81ページ](#))。
- **[発信のリモートコントロールセッションの拒否]**: 自分のコンピュータから発信リモートコントロール接続を確立することができません。

アクセスコントロールの使用例

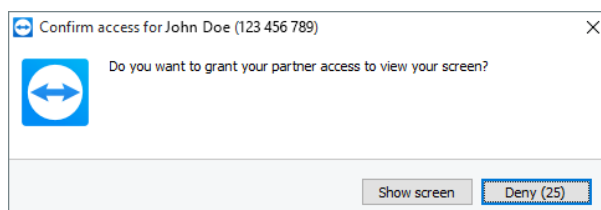
- アクセス制限は柔軟に行います。強固な信頼関係を築いている顧客や、自宅のコンピュータに対しては、フルアクセスを設定します。規律の厳しい顧客に対しては、顧客のコンピュータを操作する前に顧客の確認を求めます。
- Windows管理者は目的の設定を行い、これをロックします。これはスタッフのアクセスを制限する必要のあるコールセンターやサポートセンターに適した設定です。

現在のリモートコントロールセッションにのみ適用されるアクセスモードを設定するには、以下の手順を実行します。

1. の手順1～5を実行します[セクション「3」の12ページ](#)。
2. [認証]ダイアログボックスで、[詳細]の横にある  アイコンをクリックします。
 認証ダイアログボックスが展開され、その他のオプションが表示されます。
3. [アクセスコントロール]ドロップダウンリストから、この接続に対する目的のアクセスコントロールモードを選択します。
4. [ログオン]をクリックします。
5. 接続が確立されます。



認証ダイアログボックスで、現在のセッションのアクセスモードを選択します。



【すべての確認】モードでは、パートナーが許可した操作のみ実行できます。

注：接続の確立時にアクセスコントロールオプションを選択しなかった場合、TeamViewerのオプションのデフォルト設定(セクション「13.9」の122ページ)が使用されます。

10.1.2 アクセスコントロールモードの詳細オプション

セクション「10.1.1」の79ページに記載されるアクセスモードには、それぞれ設定の組み合わせに特徴があります。このセクションでは、各モードの設定について説明します。

現在のリモートコントロールセッションにのみ適用されるアクセスモードを設定するには、以下の手順を実行します。

1. 手順1～5を実行しますセクション「3」の12ページ。
2. [認証]ダイアログボックスで、[詳細]の横にある \oplus アイコンをクリックします。
➡ 認証ダイアログボックスが展開され、その他のオプションが表示されます。
3. [アクセスコントロール]ドロップダウンリストから、この接続に対する目的のアクセスコントロールモードを選択します。
4. [ログオン]をクリックします。
5. 接続が確立されます。

アクセスモードの設定の概要

このセクションでは、[カスタム設定]モードの選択時に指定できる設定について説明します。



以下の設定は、アクセスコントロールによって管理されます。

設定	説明	指定可能な値
リモート画面の接続と表示	リモートコントロールセッションのリモート画面を即座に表示するか、要求の確認後にのみ表示するかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> 許可 確認後 ブロック
リモートコンピュータの操作	リモートコンピュータを操作できるかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> 許可 確認後 ブロック
ファイルの転送	ファイル転送を許可するかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> 許可 確認後 ブロック
VPN接続の確立	VPN接続を確立する権限を与えるかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> 許可 確認後 ブロック



設定	説明	指定可能な値
リモートキーボードとマウスをロック	リモートコンピュータ上の入力をブロックできるかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none">許可確認後ブロックセッション開始ごと
リモートTeamViewerの操作	リモートTeamViewerを操作できるかどうかを指定します (TeamViewerの設定の変更など)。	<ul style="list-style-type: none">許可確認後ブロック
ファイルボックスを使用したファイル転送	[ファイルボックス]ウィジェットを使用したファイルの共有を許可するかどうかを指定します。	<ul style="list-style-type: none">許可ブロック
マイプリンタへの印刷	リモートコンピュータからローカルプリンタに印刷できるかどうかを設定します(セクション「10.7」の89ページ)。	<ul style="list-style-type: none">許可確認後ブロック



アクセスモードとセキュリティ設定の依存関係

発信アクセスコントロールを使用すると、リモートコンピュータへの接続後に使用できるオプションを設定できるため、管理者はスタッフ用の設定を行うことができます。

また、オプション画面の[セキュリティ]カテゴリで着信アクセスコントロールを設定することもできます。

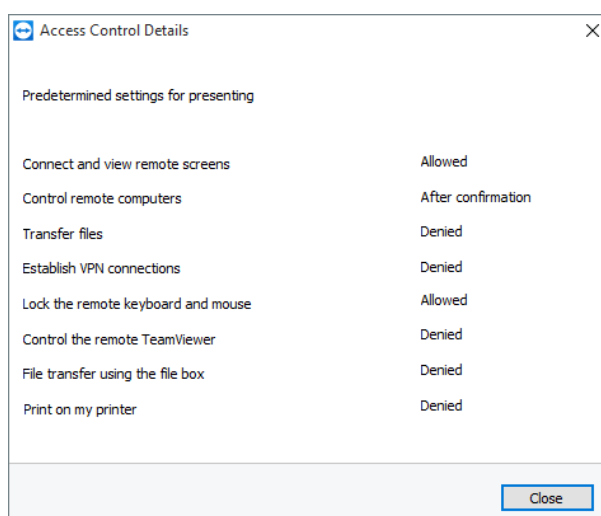
例: TeamViewerの設定により、常にスタッフのコンピュータ上の操作(ファイル転送やリモートコントロールなど)の確認をスタッフに要求します。これを行うには、[アクセスコントロール][着信]を[すべての確認]に設定します。

ローカルの発信アクセスコントロールとリモートの着信アクセスコントロールが異なる場合は、最も制約の多い権限が適用されます。

使用例

- こちらは[フルアクセス]を選択していますが、パートナーは着信接続に[すべての確認]を選択しています。この場合、すべてのアクションを最初に確認する必要があります。
- こちらは発信接続に[表示]を選択しており、パートナーは着信接続に[フルアクセス]を選択しています。この場合、パートナーの画面の表示のみが可能になります。

注: 発信側と着信側でアクセス権限が異なる場合は、ダイアログボックスによって通知されます。



接続の確立後、ローカルコンピュータの発信アクセスコントロールとリモートコンピュータの着信アクセスコントロールとの相違点がダイアログボックスに表示されます。

注: TeamViewerQuickSupportモジュールにはアクセス権は定義できません。




10.2 リモートコンピュータでのTeamViewerの更新

注：この機能を使用するには、パートナーのコンピュータのTeamViewerをWindowsと一緒に(システムサービスとして)自動的に起動するように設定する必要があります([セクション「12.2」の102ページ](#))。

リモート更新機能を使用すると、リモートコンピュータのTeamViewerを更新することができます。この機能は、特に無人で稼働するコンピュータ(サーバーなど)のTeamViewerを更新する場合に便利です。

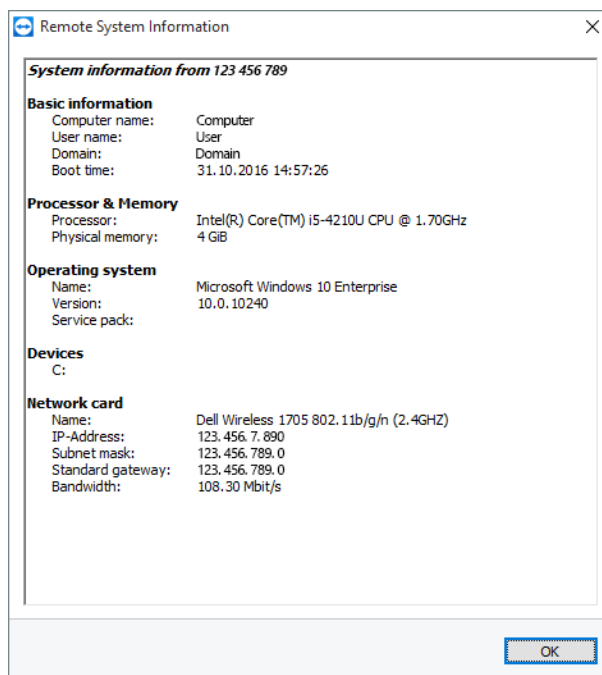
リモート更新を実行するには、以下の手順を実行します。

1. リモートコントロールセッションを開始します([セクション「3」の12ページ](#))。
2. [リモートコントロール]ウィンドウで、セッション中に[操作|リモート更新]をクリックします。
 リモートコンピュータで[TeamViewerの更新]ダイアログボックスが開きます。
3. ダイアログボックスの指示に従います。

注：リモート更新後、TeamViewer接続は終了します。ただし、リモートコンピュータに自動的に再接続されます。

10.3 リモートコンピュータに関する情報の表示

リモートコンピュータのシステム情報を表示することができます。



[リモートシステム情報]ダイアログボックス(テキスト全体を選択してクリップボードにコピーできます)。

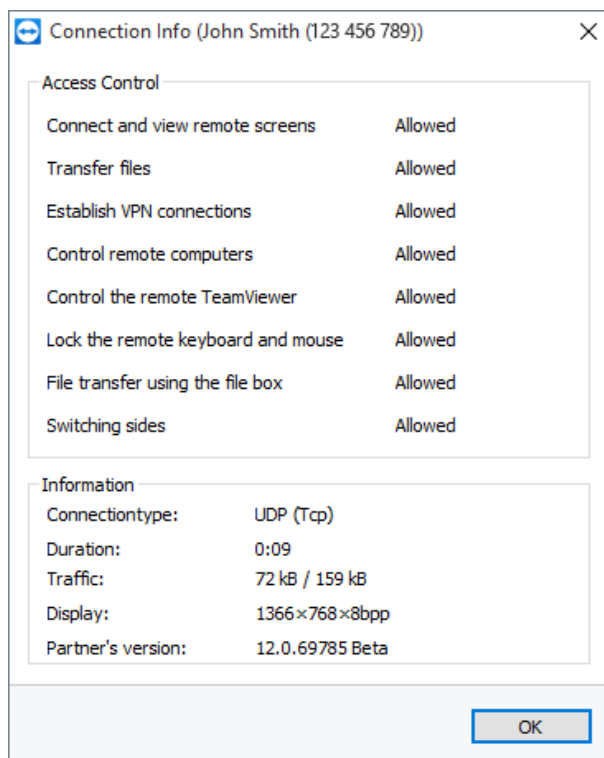
(セッション中に)[リモートシステム情報]ダイアログボックスを開くには、リモートコントロールウィンドウで[その他|リモートシステム情報...]をクリックします。

以下の情報が表示されます。

- パソコン名
- ユーザー名
- ドメイン
- 起動時間
- プロセッサ
- 物理メモリー
- 名前
- バージョン
- サービスパック
- デバイス
- ネットワークカード

10.4 現在の接続に関する情報の表示

[接続情報]ダイアログボックスには、現在の接続に関する情報が表示されます。



[接続情報]ダイアログボックスには、現在のセッションに関する情報が表示されます。

➡ (セッション中に)このダイアログボックスを開くには、リモートコントロールウィンドウで**[その他|接続情報...]**をクリックします。

以下の情報が表示されます。

アクセスコントロール

- **[アクセスコントロール]**エリアには、現在の接続に対して有効なアクセスコントロールの設定が表示されます(セクション「10」の79ページ)。

情報

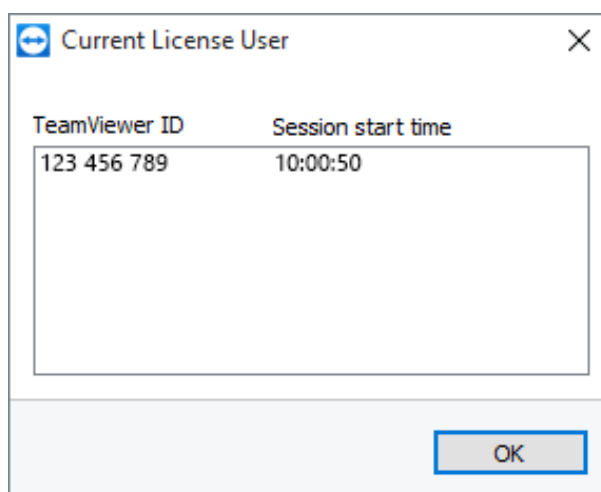
- **[接続タイプ]**: 現在使用されているTeamViewerセッションのプロトコルが表示されます。
- **[時間]**: セッションの経過時間が表示されます。
- **[トラフィック]**: 現在のセッションのデータ転送量(アップロード/ダウンロード)が表示されます。
- **[ディスプレイ]**: リモートコンピュータの画面解像度と色深度に関する情報が表示されます。
- **[パートナーのバージョン]**: リモートコンピュータにインストールされているTeamViewerのバージョンが表示されます。

10.5 ライセンスの使用に関する情報

複数チャンネルのライセンスを購入している場合、このダイアログボックスにはライセンスで現在使用されているチャンネルの概要が表示されます。このダイアログボックスには、有効なTeamViewerセッションの現



現在のTeamViewer IDおよびセッションの開始時間が表示されます。



このダイアログボックスには、セッションの現在のIDが表示されます。

[チャンネルのユーザー]ダイアログボックスは、セッションを開始する前にチャンネルが使用可能であるかどうかを確認する場合に特に便利です。

[チャンネルのユーザー]ダイアログボックスを開くには、メインメニューから**[ヘルプ]****[バージョン情報]****[チャンネル使用]**を選択します。

10.6 リモートコントロールセッションの引き渡し

[追加の参加者を招待する...]機能を使用して、パートナーをリモートコントロールセッションに参加するよう招待することができます。

これにより、手助けが必要な場合にエキスパートやスペシャリストにリモートコントロールセッションに参加してもらい、助言を求めることができます。また、招待した参加者にリモートコントロールセッションを完全に引き渡すこともできます。

追加の参加者をリモートコントロールセッションに招待するには、以下の手順を実行します。

1. **[リモートコントロール]**ウィンドウで、セッション中に**[操作]****[追加のパートナーを招待...]**をクリックします。
➡ **[追加の参加者の招待]**ダイアログボックスが開きます。
2. パートナーリストから、参加を招待するパートナーを選択します。
➡ パートナーは招待状を受信し、それを確認する必要があります。
3. パートナーが招待状に同意すると、**[セッションリスト]**ウィジェットに追加の参加者として表示されます。
4. これで両方の参加者が同じ権限でリモートコンピュータを操作できるようになりました。



注：参加者は、権限がTeamViewer設定ポリシーで制約されていない場合、リモートセッションにのみ参加できます。

セッションの開始者として、セッションから退会して参加者にセッションを引き渡すことができます。これを行うには、リモートコントロールウィンドウで✕アイコンをクリックします。次にダイアログボックスで[セッションからの退会]ボタンをクリックします。

すべての参加者に対してセッションを終了したい場合は、リモートコントロールウィンドウで✕アイコンをクリックします。次にダイアログボックスで[セッションの終了]ボタンをクリックします。

注：この機能を使用するには、TeamViewerアカウントにログインしている必要があります([セクション「8.1.3」の44ページ](#))。

注：参加者の最大数はライセンスタイプで制限されています。



10.7 リモート印刷

[リモート印刷]機能を使用して、リモートコンピュータにあるドキュメントを手元にあるプリンタで直接印刷できます。これにより、ファイルを転送しなくても、リモートコンピュータにあるドキュメントを自分のプリンタで印刷できます。ローカルコンピュータで使用している同じプリンタ(ネットワークプリンタを含む)に、リモートコンピュータからアクセスできます。

注：リモート印刷機能は、WindowsとmacOS間の接続にのみ使用できます。

注：この機能は、PostScriptまたはEMFをサポートするすべてのプリンタに使用可能です。詳細はプリンタメーカーのWebサイトをチェックしてください。

リモート印刷機能を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. [リモートコントロール]ウィンドウで、セッション中に[ファイルおよびその他|リモート印刷を有効化]をクリックします。
 [TeamViewerリモート印刷]ダイアログボックスが開きます。
2. [続行]ボタンをクリックします。
 リモートコンピュータで、TeamViewer印刷ドライバがインストールされます。これは1回行うだけで済みます。
3. これでリモート印刷が正常に有効化されました。ローカルコンピュータで使用可能なすべてのプリンタを、リモートコンピュータでも使用できます。



TeamViewerリモート印刷を有効にすると、ローカルコンピュータで使用可能なプリンタを、リモートコンピュータの印刷ダイアログボックスとコントロールパネルで選択できるようになります。TeamViewerリモート印刷プリンタは、**TeamViewer経由**と記されます。

印刷ジョブを実行するには、以下の手順に従います。

1. 印刷したいリモートコンピュータ上のドキュメントを開きます。
2. **[印刷]**ダイアログボックスを開きます。
3. 末尾に**TeamViewer経由**が付いたプリンタを選択します。
4. 印刷ジョブを開始します。
5. ローカルコンピュータの選択したプリンタにドキュメントが出力されます。

注： TeamViewer印刷は**[詳細設定]**でアンインストールできます ([セクション「13.9」の122ページ](#))。

注： Windows 7以降では、TeamViewer印刷プリンタはコントロールパネルで1つのプリンタとしてグループ化されます。その他すべてのTeamViewerプリンタは、コンテキストメニューからアクセスできます。

10.8 ネットワーク内のパートナーとデバイス

同じネットワーク内でTeamViewerのパートナーおよびデバイスを検索します。同じネットワーク内のパートナーやデバイスを[コンピュータ&パートナー]リストにすばやく簡単に追加することができます。パートナーのメールアドレスやデバイスのTeamViewer ID取得する必要はありません。

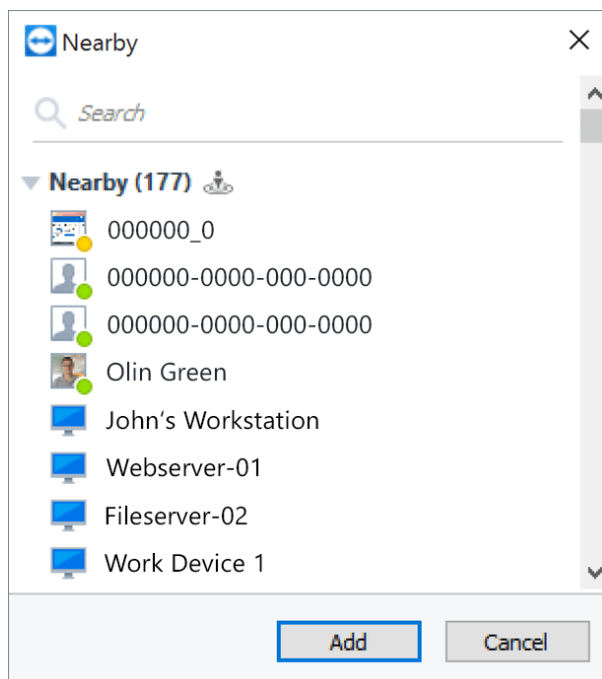
同様に、ネットワーク内の各パートナーおよび各デバイスに対して、機能呼び出してTeamViewerで認識された接続を確立することもできます(ファイル転送など)。

使用例： 同僚を[コンピュータ&パートナー]リストに追加したいが、アカウントの詳細がわからないという場合があります。このような場合は、TeamViewerでパートナーを検索して、[コンピュータ&パートナー]リストに追加します。

注： TeamViewer 10 (またはそれ以降)を使用するパートナーおよびデバイスのみが表示されます。

10.8.1 パートナーまたはデバイスの検索

TeamViewerフルバージョンを使用して、TeamViewerがインストールされた同じネットワーク上の別のデバイスを検索します。自分のTeamViewerアカウントを使用してTeamViewerフルバージョンにログインしている人がいる場合、その人を検索することもできます。



[環境内]ダイアログには、同一ネットワーク内のコンピュータとパートナーが表示されます。


[パートナー]には、次の情報が表示されます。

- **プロフィール画像**: パートナーがTeamViewerアカウントにプロフィール画像を使用している場合、プロフィール画像が表示されます。
- **オンラインステータス**: パートナーがオンラインか、取り込み中か、離席中かを確認します。
- **ユーザー名**: TeamViewerアカウントの名前。

コンピュータの場合、次の情報のいずれかが表示されます。

- **表示名**: TeamViewerソフトウェアにログインしているTeamViewerアカウントがない場合は、表示名が表示されます。

周辺のパートナーやデバイスを検索するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerを開きます。
2. **[リモートコントロール]**タブをクリックします。
3. **[コンピューターリモートコントロール]**で、**[パートナーID]**コンボボックス内にある  アイコンをクリックします。
 - **[コンピュータ&パートナー]**リストにログインしていない場合は、TeamViewerアカウントでログインします。
4. ドロップダウンリストで、オプション**[周辺のパートナーおよびデバイスを表示]**を選択します。



➡ **[周辺]**ダイアログが開きます。

➡ **[環境内]**に、[コンピュータ&パートナー]リストに含まれていない、同じネットワーク内のすべてのパートナーとデバイスが表示されます。

5. ここで同一ネットワーク内のパートナーおよびデバイスを見つけることができます。コンテキストメニューを使用して、パートナーまたはデバイスとやりとりができます。

10.8.2 パートナーまたはデバイスの追加

コンテキストメニューからパートナーまたはデバイスを[コンピュータ&パートナー]リストに追加します。

さらに、パートナーおよびデバイスと追加の対話を実行することもできます。機能の詳細については、[セクション「8.2.6」の55ページ](#)してください。権限がないために機能が制限される場合があることに注意してください。

パートナーとデバイスを[コンピュータ&パートナー]リストに追加するには、以下の手順に従います。

1. **[周辺]**ダイアログを開きます([セクション「10.8」の90ページ](#))。
2. パートナーまたはデバイスを選択します。
3. **[追加]**を選択します。
4. パートナーまたはデバイスが[コンピュータ&パートナー]リストに追加されます。

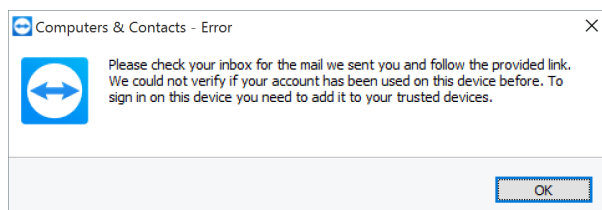
10.9 信頼されているデバイス

「信頼されているデバイス」とは、TeamViewerアカウントの未承認を防止するための特別なセキュリティレイヤーです。アカウントのセキュリティに対する予防措置として、初めてアカウントにサインインするすべての新しいデバイスを承認する必要があります。

注： TeamViewerアカウントに対して2要素認証を有効にしている場合、アカウントはすでに最高の保護を受けているため、信頼できるデバイスによる認証は必要ありません。

認証ダイアログ

初めてログインを試みると、以下のダイアログが開きます。



使用する前にデバイスを認証する必要があります。

注： ダイアログは使用するデバイス、アプリ、またはブラウザによって異なる場合があります。

- ➡ TeamViewerアカウントに対して使用したアドレスに、アカウントがすでに新しいデバイスで使用されていることを知らせるEメールが届きます。

使用の認証

各デバイス、アプリ、またはブラウザの使用を認証するには、Eメールにあるリンクをクリックします。

- ➡ TeamViewer Management Consoleに転送されます。TeamViewer Management Console内に確認が表示されます。
- ➡ 新しいデバイス、アプリ、またはブラウザが信頼できるデバイスに追加されました。デバイス、アプリ、またはブラウザの再認証の必要なしに、アカウントの認証情報でログインできます。

注： 「信頼できるデバイス」が展開される前に使用していたデバイス、アプリ、またはブラウザは認証する必要はありません。

注： 認証済みのブラウザのクッキーを削除した場合、次のログイン時にそれをもう一度認証する必要があります。ブラウザのincognitoモードを使用する場合、ログインするたびにそれを認証する必要があります。

注意： 6台以上のデバイスでTeamViewerアカウントを使用して、どのデバイスも認証せずにもっと速くログインしようすると、TeamViewerアカウントのパスワードがリセットされます。



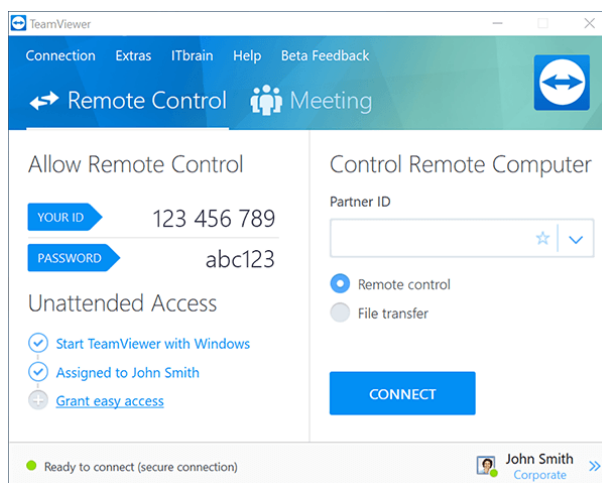
11 TeamViewerモジュール

Webサイトから入手可能なモジュールの概要を説明します。

モジュールのダウンロード、または入手可能なモジュールの概要については、<https://www.teamviewer.com/download/>を参照してください。

11.1 TeamViewerフルバージョン

このモジュールで、パートナーに接続して遠隔操作を行うことも遠隔操作を受けることも可能です。

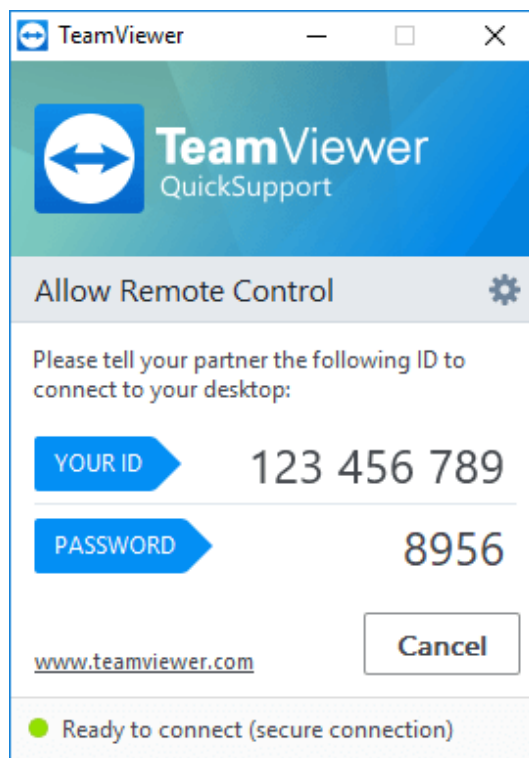


TeamViewerフルバージョンのメインウィンドウ

このモジュールの詳細は、セクション「2.2」の7ページを参照してください。

11.2 TeamViewer QuickSupportモジュール

TeamViewer QuickSupportは、単一の実行ファイル形式のアプリケーションです。このファイルの実行には、ソフトウェアのインストールやWindows/Mac OSの管理者権限は必要ありません。




QuickSupportのメインウィンドウ

このモジュールでは、着信のリモートコントロール接続を受け入れることはできますが、こちらから発信接続を確立することはできません。通常、このモジュールは顧客に提供します。

弊社のWebサイトで独自のウェルカムテキストやロゴ、その他の便利な機能を使用して、TeamViewer QuickJoinのカスタムモジュールを構築することができます(セクション「11.10」の100ページ)。

11.2.1 QuickSupportモジュールのオプション

[プロパティ]ダイアログボックスでは、TeamViewer QuickSupportの設定を行うことができます。このダイアログボックスにアクセスするには、モジュールの右上にある  アイコンをクリックします。[全般]カテゴリでは、以下のオプションを使用できます。

TeamViewerの重要な操作オプション

ロギングを有効にする TeamViewerはすべてのイベントとエラーをログファイルに記録します。

ログファイルを開く... ログファイルを含むフォルダを開くには、[ログファイルを開く...]ボタンをクリックします。フォルダを開くと、ログファイルが選択された状態で表示されます。

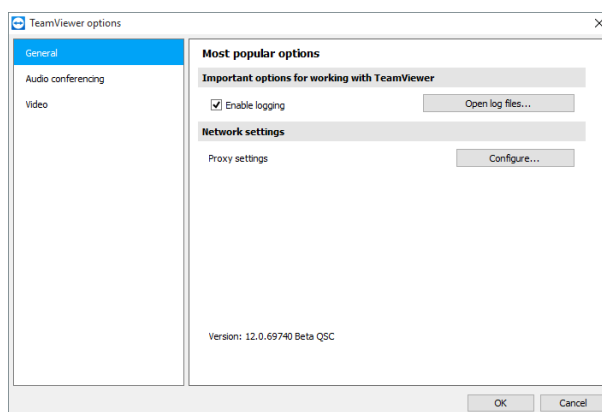


ネットワーク設定

プロキシを設定...

詳細は、[セクション「\[プロキシ設定\]ダイアログボックス」の109ページ](#)を参照してください。

[音声会議]および**[動画]**カテゴリのオプションについては、[セクション\(セクション「13.6」の118ページ\)](#)および[セクション\(セクション「13.7」の119ページ\)](#)に記載されています。



QuickSupportの[設定]ダイアログボックス

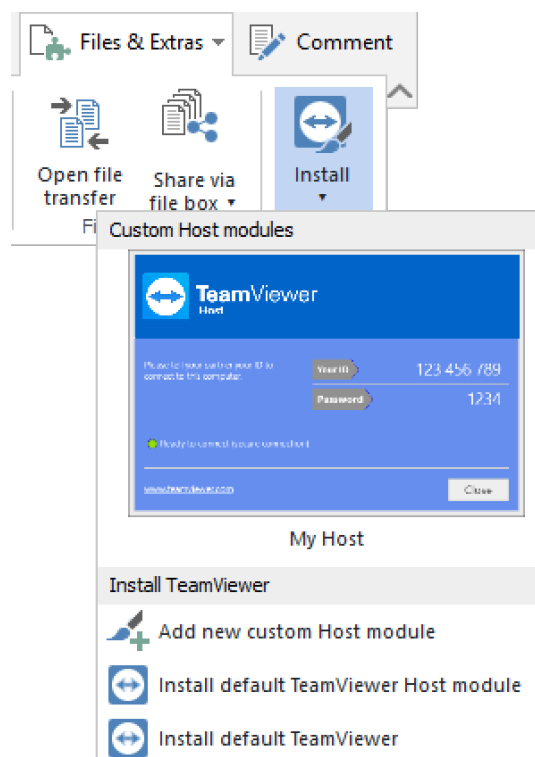
11.2.2 リモートインストール

QuickSupportモジュールへのリモートコントロールセッション中に、リモートデバイスに追加のTeamViewerモジュール(またはフルバージョン)をインストールできます。リモートコントロールセッションを繰り返す場合は、この新しいモジュールに接続できます。

以下のモジュールをインストールできます。

- 既存のカスタマイズされたTeamViewerホストモジュール
- 新規のカスタマイズされたTeamViewerホストモジュール
- 標準のTeamViewerホストモジュール
- TeamViewerフルバージョン

➡ リモートコンピュータにTeamViewerをインストールするには、リモートコントロールセッション中に**[ファイルおよびその他 | インストール]**をクリックします。



TeamViewerモジュールをリモートでインストールします。

11.3 TeamViewer QuickJoinモジュール

TeamViewer QuickJoinは、オンライン会議参加専用開発された単一の実行ファイル形式のアプリケーションです。

弊社のWebサイトで独自のウェルカムテキストやロゴ、その他の便利な機能を使用して、TeamViewer QuickJoinのカスタムモジュールを構築することができます。

このモジュールを会議やプレゼンテーションに使用する方法については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を参照してください。

11.4 TeamViewer Hostモジュール

TeamViewer Hostは、Windowsシステムサービスとしてインストールされます。TeamViewer Hostをインストールしたコンピュータは、システムの起動直後 (Windowsログイン前) にTeamViewerを使用して管理できます。発信接続は実行できません。

トレイアイコンを使用して設定を調整できます。これを行うには、トレイアイコンを右クリックして[オプション]を選択します。

通常、このモジュールは、常時リモート管理が必要なサーバーまたは無人で稼働するコンピュータにインストールします。



無人アクセスを行なう必要があるコンピュータやデバイスで、それに対して即時サポートを提供している場合、サポート案件を使用していつでもそのデバイスへの接続を確立できます([セクション「8.3」の63ページ](#))。

弊社のWebサイトでは、必要に応じて独自のロゴ、テキスト、およびユーザー定義カラーを追加して、TeamViewer Hostの外観をカスタマイズできます。TeamViewerのカスタムモジュールの詳細については、[セクション「11.10」の100ページ](#)してください。

注：トレイアイコンのコンテキストメニューから、TeamViewer Hostを[コンピュータ&パートナー]リストに直接追加することができます。

11.5 TeamViewer Portable

TeamViewer Portableは、通常、TeamViewerフルバージョンのすべての機能を実装しますが、インストールする必要がないため、あらゆるデータ記憶媒体(USBスティックやCDなど)から起動できます。設定の詳細については、ダウンロードパッケージを参照してください。TeamViewer Portableは、TeamViewer PremiumおよびTeamViewer Corporateライセンスに付属します。

注：「TeamViewerの設定」の「**TeamViewer Portableの設定のエクスポート**」についての情報を守ってください([セクション「13.9」の122ページ](#))。

11.6 TeamViewer Manager

TeamViewer Managerは、コンピュータ、パートナー、顧客を管理できるデータベースアプリケーションです([コンピュータ&パートナー]に似ています)。さらに、課金などに使用できる広範囲なセッション情報機能を備え、[コンピュータ&パートナー]と同期化することができます。TeamViewer Managerは、TeamViewer PremiumおよびTeamViewer Corporateライセンスに付属します。

詳細については、『TeamViewerマニュアル- Manager』を参照してください。

11.7 TeamViewer MSIパッケージ

TeamViewer MSIパッケージは、TeamViewerフルバージョンまたはTeamViewer Hostの代替となる特殊なインストールファイルです。アクティブディレクトリドメインでGroup Policy Object(GPO)を使用してTeamViewerを実装する場合に使用できます。設定の詳細については、ダウンロードパッケージを参照してください。TeamViewer MSIは、TeamViewer Corporateライセンスに付属します。



11.8 TeamViewer Management Console

注：この機能を使用できるようにするには、TeamViewerアカウントが必要です([セクション「8.1」の42ページ](#))。

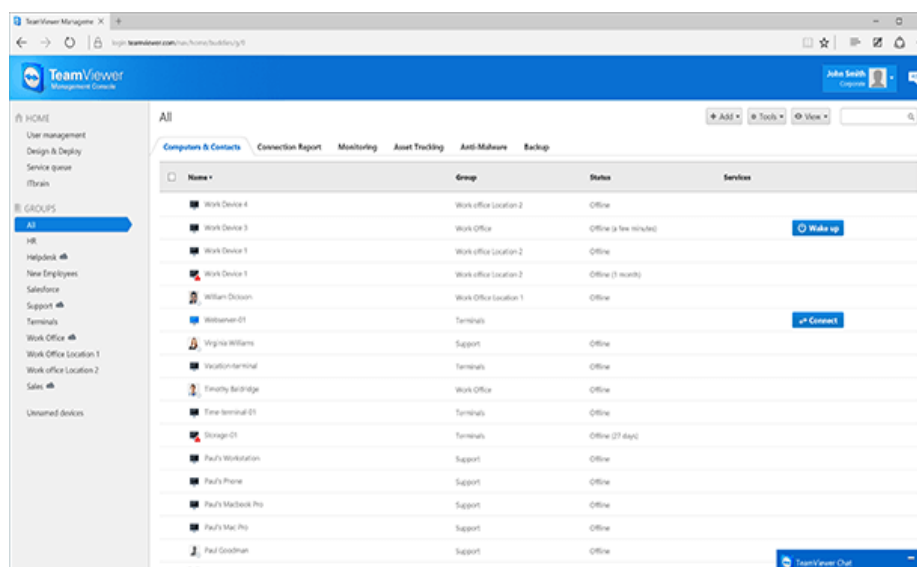
TeamViewer Management Consoleは、TeamViewerパートナーの管理、TeamViewerの接続ログのロギング、コンピュータのモニタリングと資産管理、および待機案件をの管理するための、直感的に使用できるWebベースの管理コンソールです。

Management Consoleを使用して、会社のTeamViewerユーザー全員の管理、新規アカウントの作成、権限とパスワードの管理、個々のパートナーとのグループの共有などを行うこともできます。さらに、ブラウザから直接接続を確立し、ログが記録された接続に対して請求を行うことができます。Management Consoleでは、QuickSupportおよびHost用のカスタムのモジュールを作成して保存することもできます。

TeamViewer Management Consoleは、インターネット経由でWebブラウザを介してアクセスできるため、オペレーティングシステムやプラットフォームに依存せずに呼び出すことができます。ローカルデータベースやMicrosoft SQL Serverは不要です。

注：TeamViewerはInternet Explorer 8 (またはそれ以降)、またはそれ以外のよく使用されている最新バージョンのブラウザに対応しています。

TeamViewer Management Consoleおよびその機能についての詳細は、『*TeamViewerマニュアル-Management Console*』を参照してください。



TeamViewer Management Consoleは、プラットフォームに依存せずにWebブラウザで開きます。

11.9 モバイルデバイスでのTeamViewer

TeamViewerは、モバイルデバイスでも使用できます。

iOS、Android、Windows Phone 8、またはBlackBerryデバイスを使用して、リモートコントロールセッションを開始できます。このプロセスでは、リモートコンピュータを簡単に制御することができます。

ただし、Windowsバージョンと比較して、使用できる機能の数に制限があります。コンピュータからモバイル機器への着信接続は、TeamViewerQuickSupportアプリを使用して行うことができます。

このアプリは、Android用はGoogle Playから、iOS用はAppleのAppStoreから、Windows Phone 8用はWindows Phoneストアから、BlackBerry用はBlackBerry Worldからダウンロードできます。

このアプリケーションの詳細については、アプリケーション自体または弊社Webサイト <https://www.teamviewer.com/download/mobile-apps/>を参照してください。

11.10 カスタマイズ可能なモジュール

TeamViewerの一部のモジュールは、ニーズに合わせて変更できます。このオプションは、**QuickSupport**、**QuickJoin**、**Host**の各モジュールで使用できます。

1つまたは複数のQuickSupportのカスタムモジュールを作成することができます。これにより機能を追加できます(会社のロゴやカラースキームを追加してデザインを変更する機能や、パートナーを[コンピュータ&パートナー]リストに自動的に表示する機能など)。

TeamViewerのカスタムモジュールの作成方法についての詳細は、『TeamViewerマニュアル—Management Console』またはTeamViewer Management Console内の[\[カスタマイズ&配布\]Webサイト](#)を参照してください。



12 インストールと設定

ここでは、**TeamViewerフルバージョン**のインストールおよび設定の手順について説明します。ソフトウェアをインストールする前に、弊社のWebサイトからフルバージョンをダウンロードする必要があります。

これを行うには、<https://www.teamviewer.com/download/>にアクセスして、セットアップファイルをコンピュータに保存します。

セクション「11」の94ページの説明に従い、他のモジュールを使用する場合は、このセクションを読む必要はありません。

12.1 TeamViewerフルバージョンのインストール

ダウンロードしたセットアップファイルを実行します。インストールウィザードの指示に従い、インストール処理を行います。

TeamViewerへようこそ

1. インストールの種類を決定します。
 - TeamViewerを常に手動で起動する必要がある場合は、**[インストール]**オプションボタンを選択します。
 - TeamViewerをシステムサービスとしてインストールする場合は、**[インストール後、このコンピュータをリモート制御]**オプションボタンを選択します。このオプションを選択した場合は、指示に従ってTeamViewerをシステムサービスとしてセットアップします。これに関する詳細は、セクション「12.2」の102ページを参照してください。
 - TeamViewerを一度だけ実行したい場合は、**[実行のみ]**オプションボタンを選択します。
2. 用途を選択します。
 - TeamViewerを商用で使用する場合(サポート、プレゼンテーション、ホームオフィス、同僚とのデスクトップ共有など)、**[企業/商用]**オプションボタンを選択します。
 - TeamViewerを商用で使わない場合(友人、親戚、または自身のコンピュータとの接続など)、**[個人/商用以外]**オプションボタンを選択します。
 - 両方に該当する場合、**[上記の両方]**オプションボタンを選択します。



3. インストール中にその他の調整を行う場合 ([セクション「12.1.1」の102ページ](#))、**[詳細設定の表示]**チェックボックスにチェックを入れます。そうでない場合、TeamViewerは自動的にデフォルト設定でインストールされます。
4. **[同意]**ボタンをクリックします。
5. TeamViewerのインストールが完了します。

12.1.1 詳細設定

インストールの指示で**[詳細オプションを表示]**チェックボックスを選択した場合、ここでインストールのその他の設定を行なうことができます。

詳細設定を構成するには、次の手順に従います。

1. **[ターゲットディレクトリ]**: TeamViewerのインストール先フォルダを選択します。
2. **[TeamViewerリモート印刷の使用]**: このオプションを有効にした場合は、(TeamViewerがインストールされているコンピュータ)当該コンピュータに接続されている間、リモート印刷機能を使用できます ([セクション「10.7」の89ページ](#))。照してください。
3. **[TeamViewer VPNの使用]**: TeamViewer VPNを使用する場合は、このチェックボックスを選択します ([セクション「6」の33ページ](#))。
4. **[Outlook用 TeamViewer Meeting Add-Inの使用]**: このオプションを有効にした場合は、Outlook カレンダーでTeamViewer会議をスケジュールするためのOutlook Add-Inがインストールされます。詳細については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を参照してください。
5. **[完了]**ボタンをクリックします。
6. TeamViewerのインストールが完了します。

注: 一部のオプションは、Windowsの管理者権限がないと使用できません。

12.2 WindowsシステムサービスとしてのTeamViewer

12.2.1 WindowsアプリケーションとWindowsシステムサービスとの相違点

インストールプロセス中に、または後からオプションで、TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定することができます。このセクションでは、TeamViewerを通常のアプリケーションとして実行する場合とWindowsシステムサービスとして実行する場合の相違点について説明します。

TeamViewerをWindowsアプリケーションとしてインストールする場合

- リモートコントロールセッションや会議を開始するために、TeamViewerを手動で起動する必要があります。
- TeamViewerウィンドウを閉じると、TeamViewerを介してコンピュータにアクセスできなくなります。



- TeamViewerを起動するたびに、仮のパスワードが新しく生成されます。つまり、TeamViewer IDおよびこのセッションパスワードを知るパートナーしかコンピュータにアクセスできません。起動のたびにパスワードが変更されるため、以前にコンピュータに接続したことのあるパートナーでも、こちらから新しいパスワードを通知するまでは接続できません。したがって、どのパートナーでもコンピュータを永続的に操作することはできません。



TeamViewerをWindowsシステムサービスとしてインストールする場合

- TeamViewerはWindowsと一緒に自動的に起動します。
- TeamViewerは、Windowsセッション全体を通して実行されます。
- Windowsログイン前でも、TeamViewerを介してコンピュータにアクセスできます。
- コンピュータの電源が入っていれば、いつでもそのコンピュータにアクセスできます。ただし、コンピュータがスタンバイモードまたはアイドル状態の場合を除きます。
- コンピュータへの継続的なアクセスおよび発信接続の確立が可能になります。

12.2.2 TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定する方法

インストールプロセスでTeamViewerをWindowsと一緒に(システムサービスとして)自動的に起動するように設定しなかった場合、以下の手順を実行することで、後からいつでもWindowsシステムサービスとして設定できます。

TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定するには、以下の手順を実行します。

1. TeamViewerを開きます。
2. メニューバーで[その他|オプション]をクリックします。
 [TeamViewerのオプション]ダイアログが開きます。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [Windowsと同時にTeamViewerを起動]オプションを選択します。
 ウィンドウが開き、パスワードの入力を求められます。
5. [パスワード]フィールドにセキュアなパスワードを入力し、確定します。
6. [OK]ボタンをクリックします。
7. [パーマネントアクセスを有効にする]ダイアログボックスで[OK]をクリックします。
8. これでTeamViewerはWindowsと同時に自動的に起動するように設定されました。

注意: TeamViewerをWindows起動時に同時に起動するように設定すると、TeamViewerサービスは常に起動しています。このサービスを手動で停止しないでください!

注: TeamViewer Hostは、Windowsシステムサービスとしてインストールされます。




12.3 ターミナルサーバーでのTeamViewerの使用

このセクションでは、TeamViewerをターミナルサーバーで使用方法について説明します。これは主に会社のネットワーク管理者向けです。個人ユーザーの場合は、このセクションを読む必要はありません。

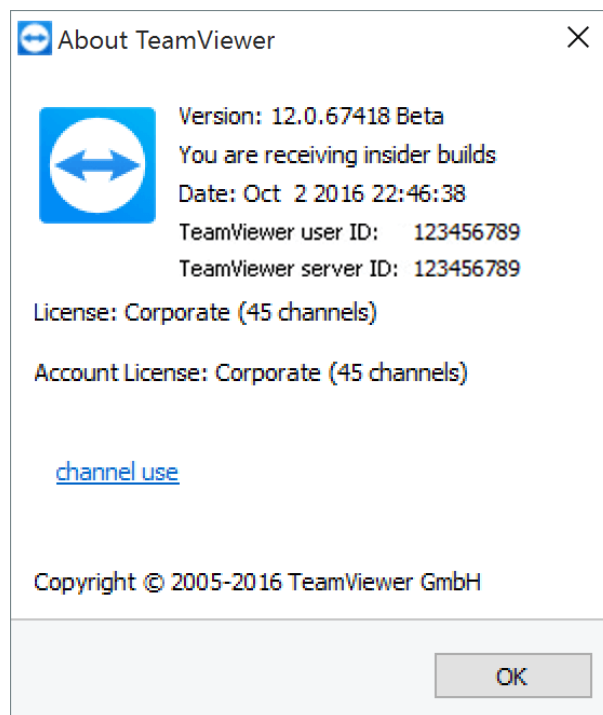
TeamViewerをターミナルサーバーで実行すると、すべてのユーザーが同じようにTeamViewerにアクセスできます。各ユーザーに個別のTeamViewer IDを割り当てることで、サーバー自体ならびに個々のユーザーがそれぞれ独立してTeamViewerを使用できます。これを行うには、TeamViewerをターミナルサーバーにインストールしてから、以下の手順を実行するだけです。

ターミナルサーバーでマルチユーザーサポートを有効化するには、以下の手順を実行します。

1. ターミナルサーバー(コンソール)でTeamViewerを起動します。
2. メニューバーで[その他|オプション]をクリックします。
 [TeamViewerのオプション]ダイアログが開きます。
3. [詳細]カテゴリを選択します。
4. [詳細オプションを表示]ボタンをクリックします。
5. [強化されたマルチユーザーサポート(ターミナルサーバー向け)]オプションを選択します。
6. [OK]ボタンをクリックします。

 各ユーザーは個別のTeamViewer IDを受け取ります。

これ以降は、ログインする場所に関係なく、個人のTeamViewer IDがTeamViewerのメインウィンドウに表示されます。メインウィンドウで[ヘルプ|バージョン情報]を選択すると、ユーザーIDの他にサーバーIDも表示されます。コンソールのサーバーIDは、いつでもアクセスすることができ、このサーバーに物理的にログオンしているユーザーに対応します。TeamViewer IDの詳細については、[セクション「2」の7ページ](#)してください。



[バージョン情報]ダイアログボックスに表示されるユーザーIDとサーバーID

注：TeamViewerは、ターミナルサーバーのすべてのユーザーアカウントを個別のワークステーションとして扱うことに注意してください。これは特にライセンス供与に関連します(セクション「12.4」の105ページ)。

12.3.1 ターミナルサーバーを使用する場合のTeamViewerの特別なライセンス条件

TeamViewerは、ターミナルサーバーの各ユーザーアカウントを個別のワークステーションとして管理するため、すべてのユーザーにライセンスを供与する必要があります。したがって、無制限のインストールライセンス(PremiumまたはCorporateライセンス)を推奨します。コンソールまたはユーザーセッションで下記の手順に従い、ライセンスを有効化できます。有効化すると、それ以降はすべてのユーザーアカウントおよびターミナルサーバー(コンソール)に対してライセンスが自動的に有効化されることに注意してください。そのため、ライセンスを有効化する必要があるのは1回のみです。ただし、ユーザーセッションでシングルユーザーライセンスを有効化することで、必要に応じて個別のライセンスを個々のユーザーに発行することもできます。


12.4 TeamViewerライセンスの有効化

個人ユーザーは、TeamViewerの無料版を使用できます。



TeamViewerを商業環境で使用するには、弊社のオンラインショップ <https://www.teamviewer.com/pricing/>でライセンスを購入し、注文確認メールに記載されたリンクに従って、ライセンスをお客様のアカウントで有効にする必要があります。

TeamViewerライセンスを有効化するには、以下の手順を実行します。

1. 注文確認メールのリンクをクリックします。
 TeamViewer Management Consoleに転送されます。
2. TeamViewer Management Consoleの指示に従って、ライセンスをTeamViewerアカウントに対して有効にします。
3. これで、TeamViewerライセンスが有効になります。アカウントでTeamViewerにログインするとすぐに、TeamViewerの商用機能を使用できるようになります。

注：ライセンスは特定のデバイスで有効になるのではなく、TeamViewerアカウントにリンクされます。ライセンスを使用するには、必ずログインしてください。



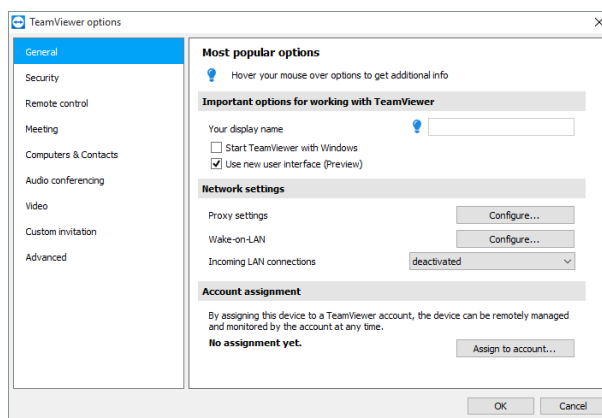
13 オプション

オプションにアクセスするには、TeamViewerのメインウィンドウで[その他|オプション]をクリックします。
[TeamViewerのオプション]ダイアログボックスが開きます。ここでは左側に表示されるカテゴリについて説明します。

注：TeamViewer設定のポリシーを使用して設定を行っている場合（セクション「13.10」の128ページ）、特定のオプションを使用できないことがあります。

13.1 [全般]カテゴリ

[全般]カテゴリには、よく使用する設定が含まれます。



[全般]カテゴリでは、基本的なオプションを設定します。

TeamViewerの重要な操作オプション

表示名	ここには氏名または会社名を入力します。このテキストは、リモートコンピュータのリモートコントロールウィンドウおよびチャットウィンドウのタイトルバーに表示されます。TeamViewerアカウントにログインした場合は、この代わりにアカウントの表示名が使用されます。
------------	---



TeamViewerの重要な操作オプション

Windowsと同時にTeamViewerを起動 インストールプロセスでTeamViewerをWindowsと一緒に起動するように設定しなかった場合、このチェックボックスをオンにすると、TeamViewerをWindowsシステムサービスとして設定できます。TeamViewerはWindowsと一緒に自動的に起動します。TeamViewerはWindowsと一緒に自動的に起動します。これにより、Windowsにログインする前にTeamViewerが起動します。

新しいユーザーインターフェース(プレビュー)を使用 TeamViewerの新しい代替インターフェースを使用する場合は、このチェックボックスを有効にします。
オプションを無効化してTeamViewerを再起動することで、いつでも通常のユーザーインターフェースに戻ることができます。

注：このインターフェースはコンスタントに開発が進められており、問題が発生することのあるプレビューとしてのみ提供されています。

ネットワーク設定

プロキシ設定 [設定...]ボタンをクリックすると、[プロキシ設定]ダイアログボックスが開きます。

Wake-on-LAN [設定...]ボタンをクリックすると、[Wake-on-LAN]ダイアログが開きます。ここでTeamViewer Wake-on-LANの設定を構成できます。これらの設定を構成することで、このコンピュータの電源がオフの場合でも、接続を確立する前にリモートで起動して操作できます。

TeamViewer Wake-on-LANの設定に関する詳細は、『TeamViewerマニュアル—Wake-on-LAN』を参照してください。

受信LAN接続

以下のオプションから選択できます。

- **[非アクティブ化済み]**: LAN接続を禁止します。
- **[同意]**: ポート5938経由で着信LAN接続を受け入れます([セクション「7.1」の35ページ](#))。
- **[同意のみ]**: TeamViewerサーバーへの接続を確立せず、TeamViewerはIPアドレスまたは対応するコンピュータ名を介してのみ使用できます。
このオプションを選択した場合、会議をホストまたは会議に参加することはできません。



アカウント割り当て

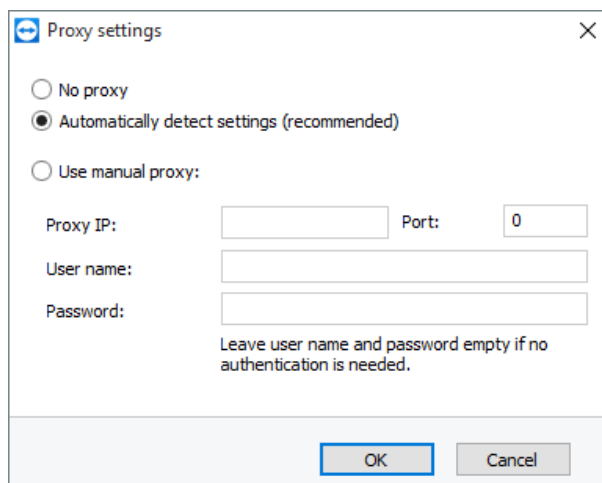
アカウントに割り当て... クリックすると、コンピュータがTeamViewerアカウントにリンクされます。[アカウントに割り当て]ダイアログボックスが開きます。

これは組み込みのシステム正常性チェック、ITbrain、またはWake-on-LANに必要です。

[プロキシ設定]ダイアログボックス

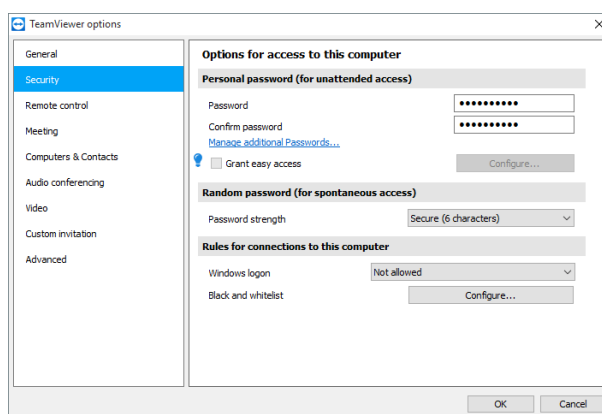
ほとんどの場合は、デフォルト設定 (Webブラウザのプロキシ設定を使用) で十分です。ブラウザからインターネットを利用できない場合などには、カスタム設定を使用できます。

- **[プロキシなし]:** インターネットに直接接続する場合は、この設定を使用します。
- **[設定の自動的な検出 (推奨)]:** TeamViewerがインストールされたプロキシを自動的に検索して使用する場合はこの設定を使用します。
- **[手動プロキシの使用]:** プロキシサーバー情報を手動で入力する場合は、この設定を使用します。



[プロキシ設定]ダイアログボックスでは、プロキシサーバーを経由したインターネットへのアクセスを設定できます。

13.2 [セキュリティ]カテゴリ



セキュリティ設定

個人的なパスワード(無人アクセス用)

パスワード

パスワードを入力すると、コンピュータへのアクセス用にランダムに生成される仮のパスワードの代わりとして、そのパスワードをいつでも使用できます。

追加のパスワードの管理...

リンクをクリックして追加の個人的なパスワードを定義します。これは、たとえば複数のサービスプロバイダが、このコンピュータへの永久アクセスを必要とする場合などに役立ちます。

<自分のアカウント名>、 <自分の会社名>簡易 アクセスを許可

簡易アクセスを使用して、このコンピュータへの接続を確立できます(セクション「7.4」の38ページ)。



ランダムパスワード(簡単なアクセス用)

パスワードのセキュリティレベル ここでは、TeamViewerを起動するたびにランダムに生成される仮のパスワードの安全性(複雑さ)を選択できます。

- **[標準(4桁)]**: パスワードは4桁の数字で構成されます。
- **[安全(6文字)]**: パスワードは6個の英数字で構成されます。
- **[セキュア(8文字)]**: パスワードは8個の英数字で構成されます。
- **[非常に安全(10文字)]**: パスワードは10個の英数字(特殊文字を含む)で構成されます。
- **[無効化されました(ランダムパスワードなし)]**: ランダムパスワードは生成されません。

注: 注: ランダムパスワードオプションを無効化した場合、個人的なパスワードを定義しないと、TeamViewerに接続できなくなります。

注: [全般]カテゴリで[Windowsと同時にTeamViewerを起動]ボックスをオンにした場合、ランダムパスワードのセキュリティレベルは自動的に[安全(6文字)]に設定されます。

このパソコンへの接続ルール

Windows ログオン このドロップダウンリストでは、リモートTeamViewerからこちらのコンピュータへの接続に、TeamViewerのパスワードの代わりにWindowsログイン情報を使用することを許可するかどうかを選択できます。

- **[禁止]**: デフォルト設定。認証は、ランダムパスワードまたは個人的なパスワードのいずれかを使用して行います。
- **[管理者のみ許可]**: コンピュータに接続するパートナーは、認証のためにコンピュータのWindows管理者のログイン情報を入力する必要があります。
- **[すべてのユーザーで許可]**: コンピュータに接続するパートナーは、コンピュータのWindowsアカウントのログイン情報を入力する必要があります。

注: 安全なパスワードを使用してWindowsへのすべてのログインを保護してください。



このパソコンへの接続ルール

ブロックリストと許可リスト このコンピュータへのアクセスを許可するパートナー、またはこのコンピュータへのアクセスを拒否するパートナーを指定します。

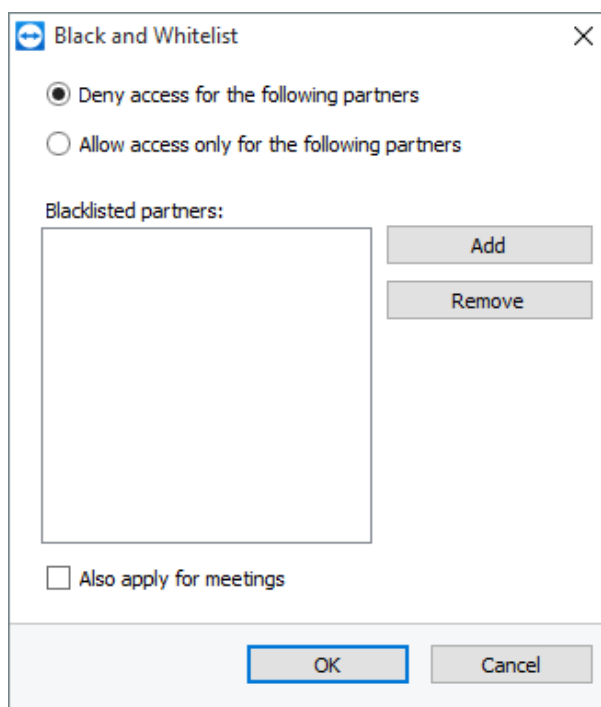
許可リスト [ブロックリストと許可リスト]ダイアログボックスを開くには、**設定...**ボタンをクリックします。を参照してください [セクション「13.2.1」の112ページ](#)。

注： 拒否リストに登録されたパートナーに対してでも、TeamViewerの発信セッションは確立することができます。

13.2.1 [ブロックリストと許可リスト]ダイアログボックス

このダイアログで、ローカルコンピュータへのアクセスを受け入れる(許可リスト)またはブロックする(拒否リスト)TeamViewerアカウントを明示的に保存できます。

[追加...]ボタンをクリックして、TeamViewerアカウントへのアクセスを許可または拒否します。



[ブロックリストと許可リスト]ダイアログボックス

[会議も申し込む]チェックボックスを有効にすると、これらの設定が会議にも適用されます。これにより、許可リストにあるパートナーのみが会議に参加できるか、拒否リストにあるパートナーが会議に参加できないように除外されます。



許可リスト – 次のパートナーに対してアクセスを許可

TeamViewer IDを許可リストに追加すると、これらのIDのみがコンピュータに接続できます。他のTeamViewerアカウントまたはTeamViewer IDがコンピュータに接続する可能性はなくなります。つまり、どのコンピュータからTeamViewerアカウントにログインした場合でも、そのアカウントが許可リストに登録されているコンピュータには、いつでもアクセスできます。

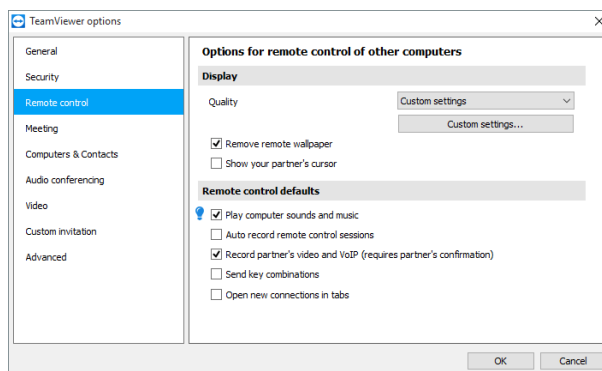
TeamViewerアカウントで会社プロフィールに参加している場合は、会社プロフィール全体を許可リストに入れることもできます。このようにすると、会社プロフィールに属するTeamViewerアカウントのみがこのデバイスにアクセスできるようになります。

拒否リスト – 次のパートナーに対してアクセスを拒否

拒否リストを使用すると、特定のパートナーによるローカルコンピュータへの接続を防止できます。拒否リストに含まれるTeamViewerアカウントは、自分のコンピュータに接続できません。

13.3 [リモートコントロール]カテゴリ

[リモートコントロール]カテゴリでは、リモートコントロールセッションの事前設定を行うことができます。このダイアログボックスの設定は、以降のすべてのリモートサポートセッションに適用されます。このダイアログボックスの設定は、以降のすべてのリモートサポートセッションに適用されます。



[リモートコントロール]カテゴリでは、リモートコントロールセッションの事前設定を行うことができます。

ディスプレイ

画質 以下から選択できます。

- **[自動選択]:** 使用可能な帯域幅に応じて画質と転送速度を最適化します。
- **[画質の最適化]:** 接続速度を低下させることで画質を最適化します。
- **[速度の最適化]:** 画質を低下させることで接続速度を最適化します。また、画質をリモートコントロールに最適なレベルまで低下させます。
- **[カスタム設定]:** これを選択すると、**[カスタム設定...]**ボタンが有効化されます。このボタンをクリックすると、**[カスタム設定]**ダイアログボックスが開きます。

壁紙の削除 TeamViewerセッション中は、リモートコンピュータの壁紙が表示されなくなります。これにより、データ転送量が減少し、接続速度が最適化されます。TeamViewerセッション中にリモートコントロールウィンドウで、このオプションをオンにすることもできます。

パートナーのカーソルを表示 パートナーのマウスの動作がデスクトップ上にグラフィカルに表示されます。TeamViewerセッション中にリモートコントロールウィンドウで、このオプションをオンにすることもできます。

リモートコントロールのデフォルト

コンピュータでの音声と音楽の再生 有効にした場合、リモートコンピュータからのサウンドがローカルコンピュータに転送されます([セクション「9.7」の76ページ](#))。

リモートコントロールセッションの自動記録 すべてのTeamViewerセッションが自動的に記録されます。

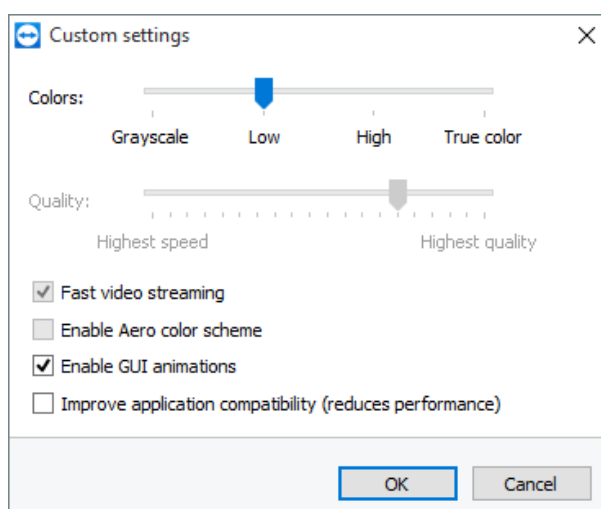


リモートコントロールのデフォルト

パートナーの動画とVoIPを記録します (パートナーの確認が必要)	<p>接続パートナーのWebカメラ動画とVoIPを記録してよいかどうかを接続パートナーが決定できます。</p> <p>無効にすると、リモート画面と自分のWebカメラ動画とVoIPのみが記録されます。</p>
キーコンビネーションの送信	キーの組み合わせ(ALT+TABなど)をデフォルトでリモートコンピュータに送信します。この場合、ローカルでは実行されません。
タブで新しい接続を開く	有効にすると、リモートコントロールセッションとリモートコンピュータのモニターが1つのリモートコントロールウィンドウに表示されます。このオプションを有効にしない場合、これらは個別のウィンドウに表示されます。

[カスタム設定]ダイアログボックス

[カスタム設定]ダイアログボックスを開くには、[画質]ドロップダウンリストから[カスタム設定]を選択し、[カスタム設定...]ボタンをクリックします。



[カスタム設定]ダイアログボックスでは、画質のオプションを設定できます。

以下のオプションを使用できます。

- **[色]:** 目的の色深度を設定します。色が多くなるほど、必要な帯域幅が多くなります。色深度を減らすことで、パフォーマンスを高めることができます。
- **[画質]:** 画質を設定します。**[高]**または**[Trueカラー]**の色モードを使用し、画質のコントロールスライダーを左端まで移動すると、最高速度の圧縮が実行されてデータ量が最小限に抑えられます。
- **[高速ビデオストリーミング]:** ビデオ送信を最適化します。可能な最高品質の送信を実現するには、ローカルネットワークまたは高帯域幅の接続にする必要があります。



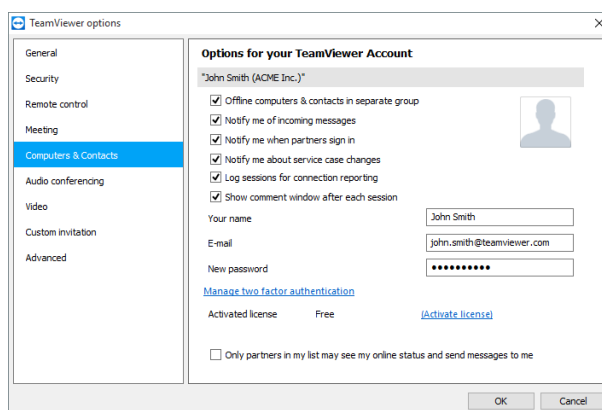
- **[Aeroカレースキームの有効化]:** リモートのWindows Vista / Windows 7オペレーティングシステムでAero Glassを有効にします。
- **[GUIアニメーションの有効化]:** アニメーションを(たとえば、ウィンドウを閉じているときに)表示します。
- **[アプリケーションの互換性を高めます(パフォーマンスは低下します)]:** 旧式のWindowsアプリケーションとの互換性が向上しますが、パフォーマンスは低下します。

13.4 [会議]カテゴリ

[会議]カテゴリでは、TeamViewerの会議モード用の事前設定を行うことができます。このダイアログボックスの設定は、すべての会議に適用されます。詳細については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を参照してください。

13.5 [コンピュータ&パートナー]カテゴリ

ここでは、TeamViewerアカウントの管理と[コンピュータ&パートナー]の追加設定を行うことができます。



TeamViewerのアカウント管理で、追加オプションが提供されます。

アカウント設定(グローバル設定)

別のグループのオフラインコンピュータ すべてのオフラインコンピュータが個別のグループに編成されます。

着信メッセージの通知を受ける パートナーから着信チャットメッセージが届いた場合に簡単な通知を受け取ります。この通知は、画面の右下隅にポップアップウィンドウとして表示されます。



アカウント設定(グローバル設定)

パートナーのサインイン時に通知を受ける	いずれかのパートナーがTeamViewerアカウントにログインするたびに、簡単な通知を受け取ります。この通知は、画面の右下隅にポップアップウィンドウとして表示されます。
サポート案件の変更を通知する	有効にした場合は、サポート案件が作成または割り当てられるとすぐに簡単な通知を受け取ります。
接続報告処理用のログセッション	すべてのリモートコントロールセッションのログがTeamViewer Management Consoleに記録されます。の詳細については、『TeamViewerマニュアル— Management Console』を参照してください。
各セッション後のコメントウィンドウの表示	リモートコントロールセッションの終了後に、各セッションにコメントを追加できます。TeamViewer Management Consoleで対応するセッションにコメントが追加されます。の詳細については、『TeamViewerマニュアル— Management Console』を参照してください。
<p>注: この機能を使用するには、TeamViewerアカウントにログインして会社プロフィールのメンバーになる必要があります。</p>	
名前	TeamViewerセッションでパートナーに表示する名前を入力します。この名前は、TeamViewerアカウントにログインするたびに表示されます。この名前は、チャットウィンドウおよびリモートコントロールウィンドウに表示されます。
メール	メールアドレスを変更する場合に、新しいメールアドレスを入力します。現在のメールアドレスを変更する場合にのみ入力してください。
新しいパスワード	TeamViewerアカウントの現在のパスワードを変更する場合に、新しいパスワードを入力します。
有効なライセンス	PremiumライセンスまたはCorporateライセンスを所持している場合、それをTeamViewerアカウントにリンクすることができます。これを行うには、 [ライセンスを有効にする] リンクをクリックし、ライセンスキーを入力します。次に、 [ライセンスを有効にする] をクリックします。ライセンス供与されていないTeamViewerインストールを操作する場合でも、アカウントにログインすると常にこのライセンスが有効になります。
リスト内のパートナーのみオンラインステータスを確認したり、メッセージを送信できます	[コンピュータ&パートナー]リスト内のパートナーにのみ、こちらの オンライン 状態を表示します。さらに、これらのパートナーだけがこちらにメッセージを送信できます。



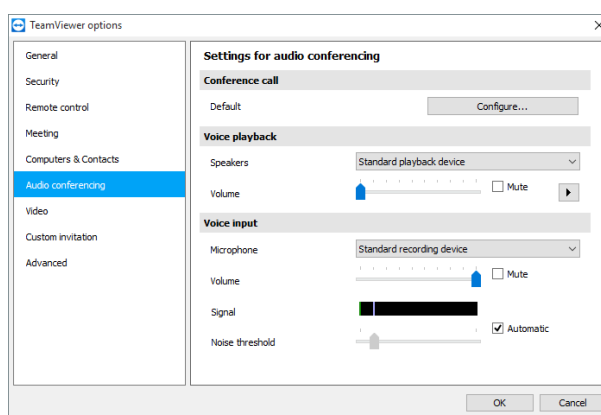
アカウント設定(グローバル設定)

アカウントの削除(Webブラウザでのみ使用可能) TeamViewerアカウントを完全に削除する場合は、**[アカウントの削除]**をクリックします。本当にアカウントを削除するかどうかを、もう一度たずねられます。

注：アカウントを削除すると、[コンピュータ&パートナー]リストも完全に削除されます。

13.6 [音声会議]カテゴリ

[音声会議]カテゴリでは、VoIP接続および電話会議接続の設定とテストを行うことができます。



音声会議の設定

電話会議のオプション

電話会議 電話会議用の独自のデータを保存するには、**[設定...]**ボタンをクリックします。

音声再生オプション

スピーカー ドロップダウンリストから、VoIP接続時に音声を出力するデバイスまたはスピーカーを選択します。

音量 スピーカーの音量を調整できます。再生ボタンをクリックして音声を再生し、音量の設定を確認できます。

ミュート(スピーカー) スピーカーを消音状態(ミュート)に設定します。



マイクのオプション

マイク ドロップダウンリストから、VoIP接続時に使用する録音用のデバイスまたはマイクを選択します。

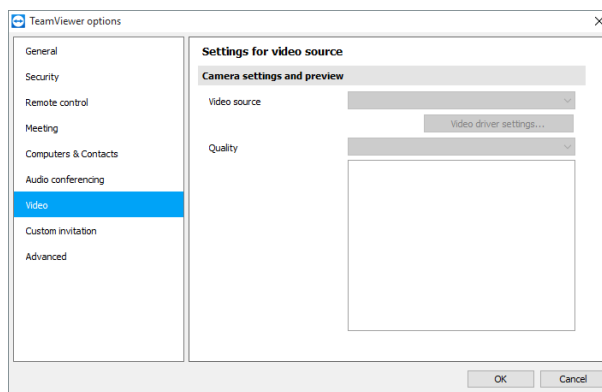
マイクレベル マイクの音量を調整できます。

ミュート(マイク) マイクを消音状態(ミュート)に設定します。

ノイズ閾値 あらゆるレベルのバックグラウンドノイズを除去できます。バックグラウンドノイズを除去しない場合は、スライダを左に移動します。大部分のバックグラウンドノイズを除去する場合は、スライダを右に移動します。

13.7 [動画]カテゴリ

[動画]カテゴリでは、Webカメラを選択してその画質をテストできます。また、ビデオドライバの設定を行うこともできます。



動画設定

カメラ設定とプレビュー

動画ソース ドロップダウンリストから、ビデオ会議で使用する動画ソースを選択します。カメラは320x240ピクセル以上の解像度をサポートし、DirectShowドライバを実装している必要があります。スムーズな動画機能を実現するには、Webカメラの使用をお勧めします。あるいは、動画の代わりに静止画をビデオ会議に使用することもできます。これを行うには、ドロップダウンリストから**[静的な画像]**オプションを選択し、**[画像の選択...]**ボタンをクリックします。

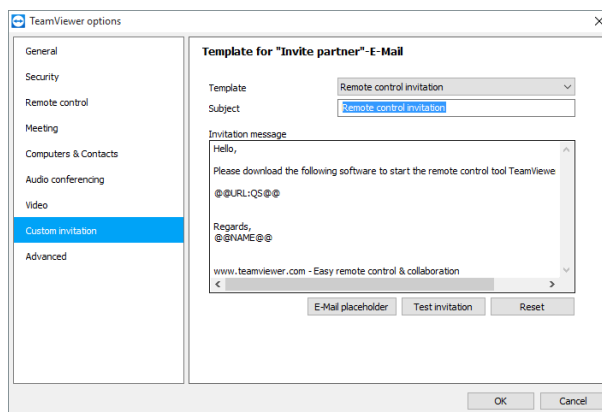
動画の詳細設定 Webカメラを選択すると、ここで特定のモデルの設定を調整できます。

画質 以下のオプションから選択できます。

- 自動(画質と速度を自動的に最適なバランスに設定します)
- 画質の最適化
- 速度の最適化

13.8 [カスタム招待]カテゴリ

ニーズに合わせて、会議およびリモートコントロールへの招待メッセージを作成します。以下のオプションを使用できます。



[カスタム招待]の設定

オプションの説明

テンプレート ドロップダウンリストから、リモートコントロールセッションまたは会議用の標準の招待メッセージを選択します。

件名 招待メールに使用する件名を入力します。

招待メッセージ 招待メールのテンプレートテキストをカスタマイズします。招待メールを送信する前に確認するには、**[招待のテスト]**ボタンをクリックします。招待メールは、デフォルトのメールプログラムで開かれます。このアプリケーションから直接、電子メールを送信することができます。デフォルトのテンプレートテキストに戻す場合は、**[リセット]**ボタンをクリックします。

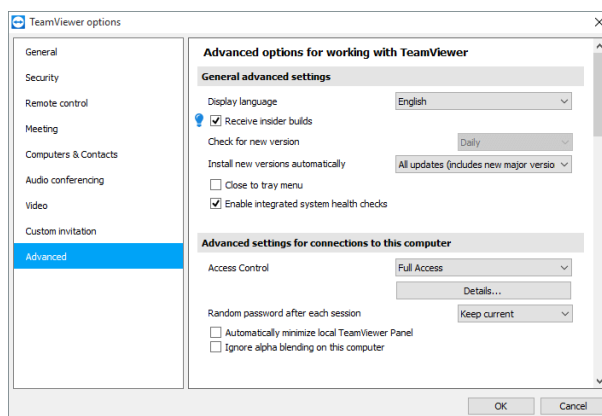
注： テンプレートテキストにはプレースホルダが含まれます。必要に応じて、プレースホルダを独自のテキストに置き換えることができます。招待メールを送信する前に確認するには、**[招待のテスト]**ボタンをクリックします。

注： TeamViewerから招待メールを生成できるのは、デフォルトのメールクライアントがコンピュータ上に設定されている場合のみです。



13.9 [詳細]カテゴリ

[詳細]には、追加オプションが表示されます。[詳細]カテゴリでは、TeamViewerの詳細設定を行うことができます。



これを行うには、**[詳細オプションを表示]**ボタンをクリックします。

詳細な全般設定

表示言語	TeamViewerの表示言語を選択します。新しい言語設定を適用するには、TeamViewerを再起動する必要があります。
インサイダービルドの受信	<p>有効の場合、TeamViewerの最新のプレリリースバージョンを自動的に受信します。有効の場合、TeamViewerは毎日、更新を探します。</p> <p>[新しいバージョンを自動的にインストール]で、現在のメジャーバージョンのインサイダービルドをインストールするか、更新に新しいメジャーバージョンを含ませるかを選択します。</p>
新しいバージョンの確認	<p>ドロップダウンリストから、TeamViewerで自動的に更新を確認する間隔を選択します。</p> <p>以下の間隔を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週 毎月 行わない



詳細な全般設定

自動的な新しいバージョンのインストール	<p>ドロップダウンリストで、TeamViewerの新しいバージョンを自動的にインストールするかどうかを選択します。</p> <p>以下のオプションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [すべての更新(新しいメジャーバージョンを含む)]: 新しいメジャーバージョンへの更新を含めて、更新を常にインストールします。• [このメジャーバージョン内の更新]: 現在インストールされているメジャーバージョン内の更新のみをインストールします。• [このメジャーバージョン内のセキュリティ更新]: 現在インストールされているメジャーバージョン内の、セキュリティを改善するために必要な更新のみをインストールします。• [自動的な更新なし]: 更新を自動的にインストールしません。
トレイメニューへの最小化	<p>TeamViewerを閉じると、TeamViewerがトレイメニュー(Windowsタスクバーの通知領域)に最小化されます。その後、システムトレイのTeamViewerアイコンを右クリックして、TeamViewerをシャットダウンすることができます。</p>
組み込みのシステム正常性チェックを有効にする	<p>有効にした場合は、コンピュータをモニターして、その資産を組み込み型システムチェックおよびITbrain (セクション「8.4」の66ページ)を介して追跡することができます。を参照してください。</p>

このコンピュータとの詳細接続設定

アクセスコントロール	<p>パートナーがローカルコンピュータに接続するときのアクセスタイプを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• フルアクセス• すべての確認• 表示• カスタム設定• 受信のリモートコントロールセッションの拒否
------------	---



このコンピュータとの詳細接続設定

各セッション終了後のランダムパスワード ドロップダウンリストから、TeamViewerで着信セッション用に新しいランダムパスワードを生成するかどうかを選択します。

以下のオプションを使用できます。

- **[現在のパスワードを保持]:** TeamViewerが再起動されるまで、新しいパスワードを生成しません。
- **[新規に生成]:** 各セッションの終了後に新しいパスワードを生成します。
- **[無効化]:** ランダムパスワードを一度だけ生成します。
- **[構成の表示]:** 各セッションの終了後に新しいパスワードを生成するかどうかを確認します。

ローカルのTeamViewerパネルを自動的に最小化する

ローカルのTeamViewerパネル(不要な場合)を10秒後に画面の端に自動的に最小化します。

このパソコンではアルファブレンディングは無視する

リモートコンピュータの半透明のウィンドウは通常のウィンドウとして転送されます。

パートナーがWindowsのログオン画面に接続しているときのフルアクセスコントロール

Windowsログオン画面に接続するパートナーには、ローカルコンピュータへのフルアクセス権限が自動的に付与されます。

他のパソコンとの詳細な接続設定

モバイルデバイスに接続中にリモートコントロールを自動的に開始

有効になると、モバイルデバイスに接続中にリモートコントロールセッションが自動的に開始されます。無効になると、モバイルデバイスに接続中にデバイスに関する情報が既定でダッシュボードに表示されます。

パートナー入力が無効な場合にブラックスクリーンを有効にする

パートナーの入力を無効化すると、リモートコンピュータの画面が自動的に無効化されます。

接続パスワードを一時保存

すぐに再接続できるように、デフォルト設定でパスワードが保存されます。TeamViewerのシャットダウン後は、パスワードは保存されません。

クリップボードの同期

クリップボードにコピーしたテキストをパートナーも使用できるようになります。



他のパソコンとの詳細な接続設定

リモートコンピュータのロック リモートコントロールセッションの完了後にリモートコンピュータがロックされるかどうかを指定します。

以下のオプションから選択します。

- **[常に]:** 接続後、リモートコンピュータは常にロックされます。
- **[行わない]:** リモートコンピュータはロックされません。
- **[自動]:** リモートコンピュータが接続の開始時にロックされていた場合は、ロックされます。

アクセスコントロール こちらからパートナーのコンピュータに接続するときのアクセス許可を設定します。

- フルアクセス
- すべての確認
- 表示
- カスタム設定
- 発信のリモートコントロールセッションの拒否

アイドル状態のセッションのタイムアウト セッションのタイムアウト時間を選択します。この期間に対話がない場合、発信リモートコントロールセッションを自動的に終了します。

会議の詳細設定

アクセスコントロール 会議の参加者のデフォルトの権限を設定します。

- フルアクセス
- 表示
- カスタム設定
- 会議の拒否

詳細については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を参照してください。

コンピュータとパートナーの詳細設定

クイック接続ボタン **[クイック表示の設定]**ダイアログボックスを開くには、**[設定 ...]**ボタンをクリックします(このダイアログボックスについてはこのセクションの最後に説明します)。



コンピュータとパートナーの詳細設定

ブロックするアカウントのリストを消去	ここでは、チャット中にブロックしていたすべてのTeamViewerアカウントをブロック解除できます。ブロックしていたすべてのアカウントをブロック解除するには、 [消去...] ボタンをクリックします。
このTeamViewer IDのオンラインステータスを非表示にする	TeamViewer ID(コンピュータ)のオンラインステータスが、 [コンピュータ&パートナー] リストに表示されなくなります。
信頼できるアカウントからのメッセージを受信	以前に接続したことのあるアカウントからのチャットメッセージのみが承認または表示されます。
起動時にコンピュータ&パートナーを表示	TeamViewerの起動時に、 [コンピュータ&パートナー] リストを自動的に開きます。

詳細なネットワーク設定

TeamViewerサーバー	[TeamViewerサーバー] ダイアログを開くには、 [設定...] ボタンをクリックします。このダイアログには常駐サーバーを入力できます。
----------------	--

注意: TeamViewerのサポートチームから入力を求められた場合を除いては、ここにサーバー名を入力しないでください。

VPNドライバのインストール	VPNドライバをインストールする場合は、 [VPNのインストール] ボタンをクリックします。TeamViewerでVPN接続を確立するには、VPNドライバが必要です。同じボタンを使用して、VPNドライバをアンインストールできます。
モニタードライバのインストール	TeamViewerのモニタードライバをインストールする場合は、 [モニタードライバのインストール] ボタンをクリックします。 [ブラックスクリーンを表示] オプションが有効な場合、ブラックスクリーンを問題なく表示するために、モニタードライバをインストールすることを推奨します (セクション「4.1」の13ページ)。
リモート印刷のインストール	TeamViewerプリンタドライバをインストールするには、 [インストール...] ボタンをクリックします。 詳細は、 セクション「10.7 "リモート印刷"」の89ページ を参照してください。
UDPの使用(推奨)	TeamViewerで高速のUDP接続の確立が試行されます。接続が定期的には中断される場合のみ、この機能を無効にしてください。



ログファイル

ロギングを有効にする TeamViewerはすべてのイベントとエラーをログファイルに記録します。

外部接続ログ TeamViewerはすべての発信接続に関する情報をログファイルに記録します。TeamViewer Managerを使用する場合は、常にこのオプションをオンにする必要があります
(C:\Users\USER_NAME\AppData\Roaming\TeamViewerの下
のConnections.txt)。

内部接続ログ TeamViewerはすべての着信接続に関する情報をログファイルに記録します
(Connections_incoming.txt)。

詳細

ドラッグ&ドロップ統合の無効化 ドラッグ&ドロップ機能が完全に無効化されます。この場合、ドラッグ&ドロップを使用してファイルを転送することはできません。

TeamViewerのシャットダウンを無効にする TeamViewerをシャットダウンできないように設定します。これは、管理者として常にコンピュータにアクセスできる状態を確保する必要がある場合などに便利です。

Outlook用TeamViewer Meeting Add-Inの使用 Microsoft Outlookでボタンを使用して直接ミーティングのスケジュールを作成できます。

TeamViewerのオプション

TeamViewerオプションの変更は管理者権限が必要 管理者権限を持つWindowsユーザーアカウントのみが、TeamViewerのオプションを変更できるようになります。

セッション記録ディレクトリ セクション「13.3」の113ページに記載される自動記録オプションを有効化した場合、セッションの記録を保存するディレクトリを入力できます。



TeamViewerのオプション

オプションをパスワードで保護する	設定したTeamViewerのオプションをパスワードで保護する場合、入力フィールドにユーザー定義パスワードを入力します。これ以降は、そのパスワードを入力しないと設定を変更することはできません。
オプションを*.regファイルにエクスポート	TeamViewerでは、オプションの設定をレジストリファイルに保存することができます。これにより、設定をその他のTeamViewerインストールに簡単に転送できます。すべてのオプションを*.regファイルとしてエクスポートするには、 [エクスポート...] ボタンをクリックします。
▲*.regファイルからオプションをインポートする	保存したTeamViewerのオプションをインポートするには、 [インポート...] ボタンをクリックします。 注： *.regファイルをダブルクリックして、以前にエクスポートしたオプションをインポートしないでください。64ビットシステムでは、この操作によりエラーが発生する可能性があります。
TeamViewerポータブルのエクスポート設定	TeamViewer Portableの設定を指定するには、インストール済みのフルバージョンのTeamViewerで設定を行い、TeamViewer Portableにエクスポートします。 [エクスポート...] ボタンをクリックします。TeamViewer Portableフォルダにファイルをtv.iniとして保存します。PortableフォルダからTeamViewer.iniを開き、importsettings=1であることを確認します。アプリケーションが起動されると、フルバージョンのTeamViewerで設定されたオプションがTeamViewer Portableに適用されます。

[クイック表示の設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、クイック接続ボタンに関する各種設定を行うことができます。このボタンはアプリケーションの表示に使用できます。詳細については、『TeamViewerマニュアル- 会議』を参照してください。

13.10 TeamViewerの設定のポリシー

ポリシーを利用して、TeamViewer設定を自分のすべてのデバイスに同時に適用することができます。TeamViewer Management Consoleを使用してデバイス用の一括設定を定義し、それを特定のデバイスに割り当てます。ポリシーの変更は、割り当てられたすべてのデバイスに自動的に適用されます。

特定のデバイスまたは[コンピュータ&パートナー]リストのグループ全体に対して設定を定義することができます。デバイスに直接アクセスする必要はありません。

の詳細については、『TeamViewerマニュアル- Management Console』を参照してください。



注：設定ポリシーを使用して設定を行った場合、TeamViewerのオプション内の**[全般]**にそのことが記載されます。